



EVC900/EVC300シリーズ

簡易ユーザーマニュアル

目次

内容	
はじめに	3
特徴.....	3
パッケージの内容.....	4
インストール	5
AVer EVC900/EVC300 シリーズをお使いになる前に.....	5
メインシステム.....	5
マイク.....	6
カメラ.....	7
リモコン.....	8
接続.....	11
モニターの接続 (VGA 出力/HDMI 出力).....	11
カメラの接続 (カメラ入力).....	13
マイクの接続 (マイク入力).....	13
LAN の接続 (RJ-45).....	14
電源の接続 (DC 12V).....	14
PC の接続 (VGA 入力).....	15
オーディオの接続 (オーディオ入力/出力).....	15
USB ストレージ (USB ポート).....	17
インストールの前に	17
カメラの使用.....	17
赤外線センサー (IR).....	18
マイクの配置.....	18
AVER EVC ウィザードセットアップ	20
起動.....	20
言語.....	20
サイト名.....	21
ネットワーク設定.....	21
パブリック IP 設定 (ファイアウォールの外側):.....	21
プライベート IP 設定 (ファイアウォール外部とポート転送):.....	23
SIP 設定.....	26
AVER EVC の操作	29
始める前に.....	29
ホーム画面.....	30
設定アイコン.....	30
カメラアイコンとマイクアイコン.....	30
WAN アドレス.....	31
リアルタイムクロック.....	31
ダイヤル.....	32
電話帳.....	34
グループ化.....	34

新しいサイト（電話帳内の連絡先）	39
連絡先リスト	43
お気に入り	43
通話履歴	44
一般設定	46
通話設定	46
システム設定	48
管理者	49
モニター	52
日付と時刻	53
システムのリセット	55
ビデオ/オーディオ	56
カメラ	57
マイク	58
ビデオ/オーディオコーデック	59
ネットワーク	61
LAN 構成	61
IPv6	63
ファイアウォール	65
SIP	66
SIP SERVER (sip サーバー)	69
ゲートキーパー	73
WEB 設定	75
WebTool の使用	75
電話帳の管理	77
編集と保存	77
電話帳エントリのダウンロード	78
電話帳エントリのアップロード	78
システムのアップデート	79
電話をかける	80
電話帳の使用	80
ダイヤルの使用	81
通話履歴の使用	82
LAN 接続のシナリオ	83
パブリック IP 設定（ファイアウォール外部）	83
プライベート IP 設定（ファイアウォール外部とポート転送）	85
H. 460 ゲートキーパーとファイアウォールトラバース	87
仕様	89
トラブルシューティング	91
オーディオ	91
ビデオ/表示	91
ネットワーク	92
その他	95

はじめに

今までにないコスト パフォーマンスでプロフェッショナルなビデオ会議を提供する EVC900/EVC300 シリーズをご購入いただきありがとうございます。

EVC900/EVC300 シリーズは、ほとんどのビデオ会議の設置環境に、最新のテクノロジー、薄型コンパクトなデザイン、柔軟な統合オプション、優れた互換性を提供します。あらゆるビジネスでの会議やイベントが、これまでよりも大幅に安定的で効率的に行えます。

特徴

- ▶ 他の H.323 または SIP ビデオ会議システムとダイレクトに通話
- ▶ 30fps でのコンテンツ共有をフルサポート。コンテンツを DVI (HDMI 変換アダプター付属)、VGA または ネットワーク で送信
- ▶ HDMI および VGA 経由でのデュアル モニター サポート
- ▶ CIF (352x240) からフル HD (1920x1080 30fps) までのビデオ通話 をサポート
- ▶ 2 メガピクセル光学 16 倍パンチルトズームカメラ搭載
- ▶ マイク アレイ 1 個を装備。優れたオーディオ品質
- ▶ 10/100Mbps および ギガビットイーサネット。128Kbps から 4Mbps のビデオ帯域幅
- ▶ IPv4 / IPv6 および Wake-on-LAN (WOL) をサポート
- ▶ ユーザーフレンドリーな画面操作、22 言語をサポート
- ▶ 電話帳のダウンロード、アップロード、編集をサポート
- ▶ 着信、通話、不在着信の履歴閲覧を、お気に入り連絡先リストに直接保存可能
- ▶ NAT およびファイアウォール トラバーサルのための H.460 ゲートキーパー をサポート
- ▶ G.722.1 広帯域サポート
- ▶ 赤外線 (IR) リモコンに電源ボタンを搭載。システムは AV 統合用にリモート API をサポート
- ▶ AES 128 ビット暗号化を使用した安全な通信をサポート

パッケージの内容



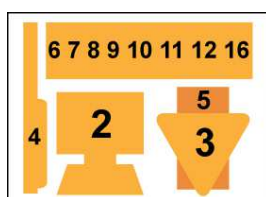
- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. メインシステム | 9. マイクケーブル |
| 2. カメラ | 10. HDMI ケーブル x 2 |
| 3. マイク | 11. カメラケーブル |
| 4. リモコン | 12. RJ-45 ケーブル |
| 5. 電源アダプタ | 13. 保証書 |
| 6. 電源コード | 14. クイック設定ガイド |
| 7. VGA ケーブル | 15. 背面ラベル |
| 8. DVI⇄HDMI 変換コネクタ | 16. 単4乾電池 |

1 段目



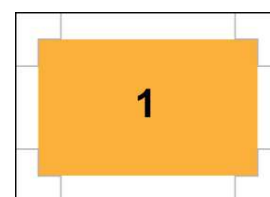
アクセサリ

2 段目



カメラ, マイク, リモコン,
電源アダプタ, ケーブル, 電池

3 段目



メインシステム/装置

インストール

AVer EVC900/EVC300 シリーズをお使いになる前に

EVC900/EVC300 シリーズは、メインシステム、マイク、カメラ、リモコンで構成されます。

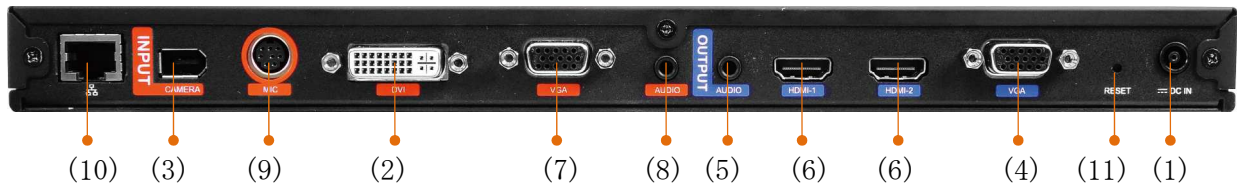
メインシステム

フロントパネル:



名称	機能
(1) LED インジケータ	LAN 接続のステータスを示します。 緑の点灯:正常に LAN 接続されています。 赤の点灯:LAN 接続されていません。 緑の点滅:LAN 接続を通してデータが転送されています。
(2) 電源ボタン	このボタンを押してメイン システムの電源をオンまたはオフにします。赤: 電源オフ、青: 電源オン
(3) USB ポート	システム ログの保存と ファームウェアアップグレードのために USB フラッシュドライブを接続するために使用します。

背面パネル:

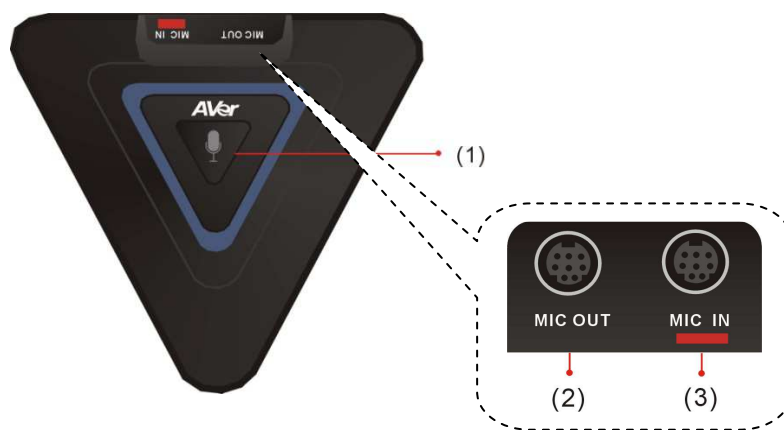


名称	機能
(1) 電源ポート	電源コードとアダプターを背面にある電源ポートに接続します。電源コードのもう一方の端を適切な電源出力に接続します。
(2) DVI 入力ポート	DVI ケーブル、または付属 HDMI 変換コネクタを使用して HDMI ケーブルにより DVI/HDMI 映像出力デバイスをこのポートに接続します。デュアル画面構成では、このポートに接続された出力画面が自動的にセカンドモニター画面として設定されます。
(3) カメラ入力	カメラとメインシステムをカメラケーブルで接続します。
(4) VGA 出力ポート	VGA ケーブルを背面パネルにある VGA 出力ポートに接続して、VGA ケーブルのもう一方の端をビデオ信号を出力するための表示デバイスに接続します。デュアル画面構成では、このポートに接続された出力画面が自

動的にセカンドモニター画面として設定されます。

- | | |
|----------------|--|
| (5) オーディオ出力ポート | このポートを使用して、メインシステムをオーディオ信号出力用の外部スピーカーまたはアンプに接続します。 |
| (6) HDMI 出力ポート | HDMI ケーブルを HDMI モニターと背面パネルにある HDMI 出力ポートに接続します。HDMI インターフェイスでは、1本のHDMIケーブルでオーディオとビデオの両方の信号を送信できます。デュアル画面構成では、このポートに接続されている出力画面が自動的にメインモニター画面として設定されます。 |
| (7) VGA 入力ポート | VGA ケーブルを背面パネルにある VGA 入力ポートに接続して、VGA ケーブルのもう一方の端をビデオ信号を入力するための VGA 入力ソース (例: ドキュメントカメラ、ノート PC、デスクトップ PC) に接続します。 |
| (8) オーディオ入力ポート | RCA の左右のオーディオ接続を通して外部オーディオソースからオーディオ信号を受信します。 |
| (9) マイク入力 | ミニ DIN8 ピン MIC ケーブル経由で MIC デバイスからオーディオ信号を受信します。 |
| (10) LAN ポート | RJ-45 イーサネットケーブルを使用して IP ベースネットワークを LAN ポートに接続します。 |
| (11) リセットボタン | リセットを行います。 |

マイク



名称	機能
(1) マイクミュート	マイクのミュートをオンまたはオフにします。青:マイクミュートオフ、赤:マイクミュートオン
(2) マイク出力	マイクからメイン システムにオーディオ信号を出力します。

(3) マイク入力

セカンド マイクからオーディオ信号を受信して、マイク出力経由でメイン システムに中継します。

カメラ







名称	機能
(1) 赤外線 (IR) センサー	システム操作のためにリモコンから IR 信号を受信します。リモコンから信号を受信すると橙色のライトが点滅します。
(2) カメラ出力ポート	ビデオ転送のため、カメラケーブルをカメラの背面にあるカメラ出力ポートとメインシステムの背面パネルにあるカメラ入力ポートに接続します。

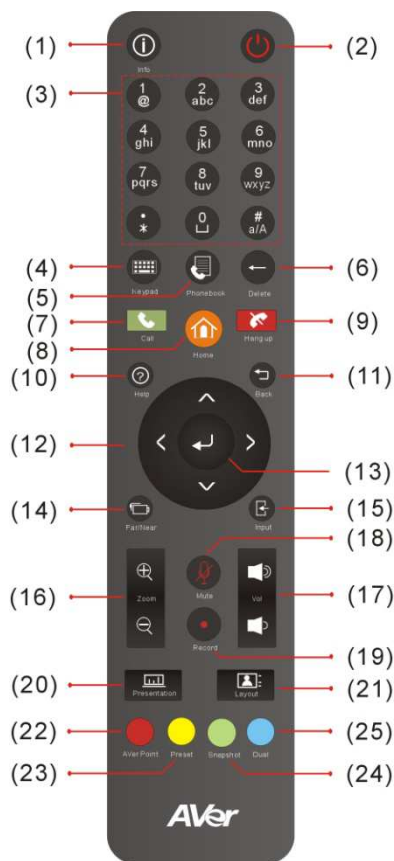
リモコン

リモコンには付属の単4電池が2つ必要です。リモコンを使用する前に、電池が正しく挿入されていることを確認してください。装置をリモコンで操作するには、リモコンをAVerEVCカメラの赤外線センサーに向けてください。

☞ 付属のリモコンはEVCシリーズにのみ利用できます。



名称	機能
(1) Info (情報)	このボタンを押すと、通話統計情報が表示されます。
(2) 電源	このボタンを押すと、メインシステムの電源がオンまたはオフになります。
(3) 数字パッド	数字を入力するときに使用します。
(4) キーパッド	このボタンを押すと、画面キーボードが表示されます。
(5) 電話帳	a. 通話の連絡先を検索します。 b. グループ連絡先エントリを追加、編集、削除、作成できます。
(6) 削除	このボタンを押すと、前の文字を一度に1つずつ削除できます。
(7) 発信	電話をかけます。
(8) ホーム	メイン画面を表示します。
(9) 切断	通話を切断します。
(10) ヘルプ	オプション機能。
(11) 戻る	前のOSDメニューに戻ります。
(12) ナビゲーションボタン ( ,  ,  , )	a. これらのボタンを使用して、OSDメニューの選択項目または画面キーボードを操作します。 b. カメラをパンおよびチルトして視野角を



調節します。

- c. 拡大したカメラ画像または撮影した画像をパンまたはチルトします。

(13) 入力

- a. OSD メニューで項目を選択します。
- b. 着信を受け入れます。
- c. 会議中にサイト名とアイコンを表示します。

名称

機能

(14) Far (遠隔拠点)/Near (自拠点)

自拠点カメラまたは遠隔拠点カメラの制御を選択します。カメラコントロールアイコンが画面に現れ、どちらのカメラを制御しているのかが示されます。カメラコントロールアイコンは、遠隔拠点/自拠点キーを5秒間押しと消えます。

(15) 入力

メイン画面に表示する入力機器をカメラからVGA入力機器に切り替えます。またはカメラに戻します。

(16) ズーム

カメラのズームまたは撮影した画像の表示サイズを調節します。

(17) 音量

スピーカーの音量を調節します。

(18) マイクミュート

マイクのミュートをオンまたはオフにします。マイクをミュートにすると、マイクミュートアイコンが表示されます。マイクミュートアイコンは、5秒間表示されたあとに透明になります。

(19) 録画

ビデオ録画を開始/停止します。ビデオ録画はUSBフラッシュドライブにのみ保存できます。ビデオ会議通話中であるかに関わりなく、ビデオ録画を実行することができます。

(20) プレゼンテーション

VGA入力ポートソースまたは最後に撮影した画像の内容を共有します。プレゼンテーション機能が有効になると、プレゼンテーションアイコンが画面に表示されます。アイコンは5秒後に消えます。

(21) レイアウト

画面レイアウトを変更します。

(22) AVer Point

いくつかの特殊機能用に用意されています。たとえば、EVCアプリケーションの電話帳設定画面でこのボタンを押すと、新しいグループ

を作成できます。

- (23) プリセット
- a. 3 秒間長押しすると、0 から 9 までのプリセットにカメラの位置を設定できます。
 - b. これを押して、選択されたプリセットポイント番号にカメラを移動します。
-

(24) スナップショット

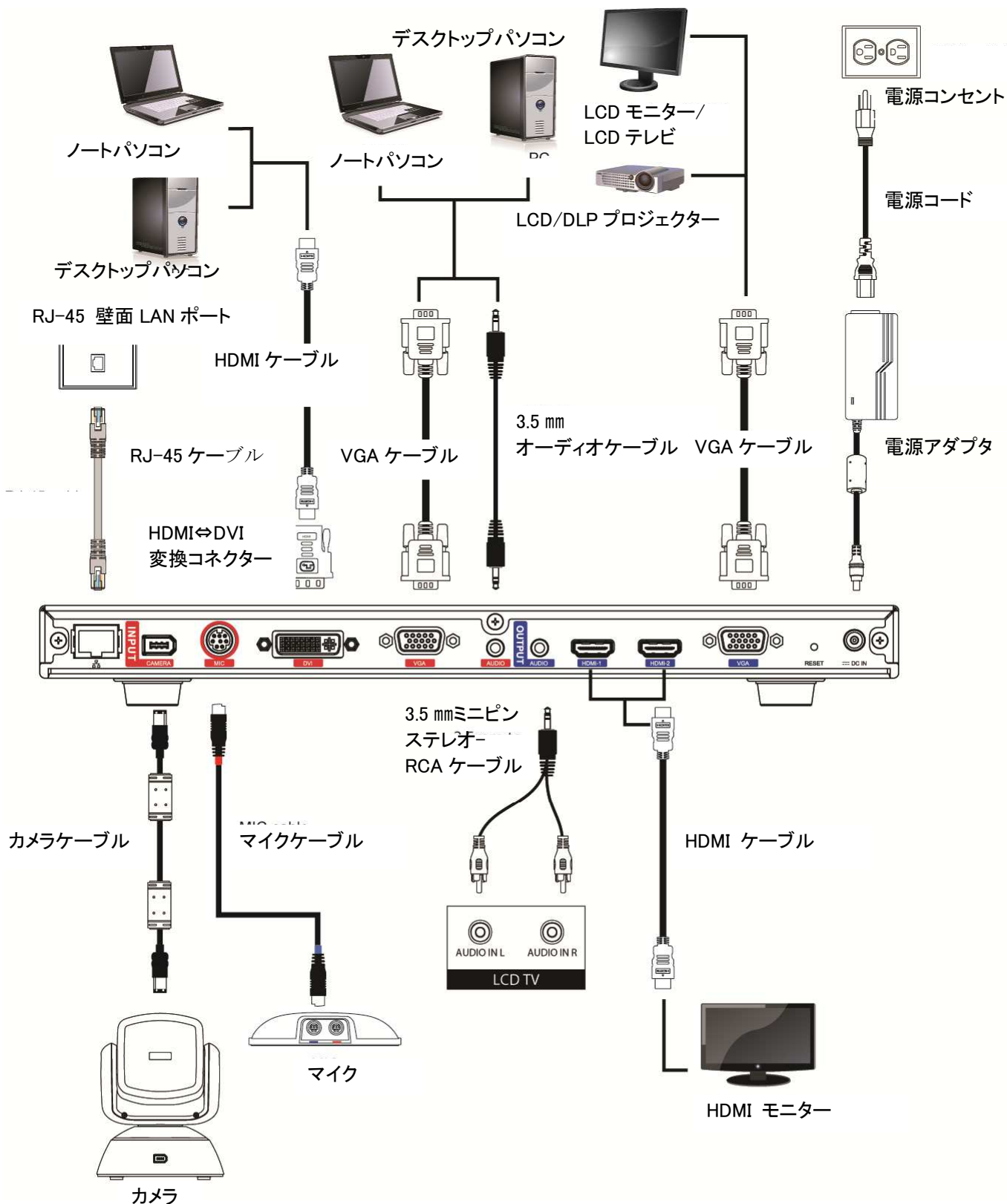
カメラの画像を撮影します。撮影された画像を表示するには、プレゼンテーションボタンを押します。(開発中)

(25) デュアル

デュアル画面モードに切り替えます。これにより、ビデオ会議画面とプレゼンテーション画面を 2 つの別々のモニターに分割できます(この機能を使用するには、2 つのモニターが HDMI と VGA で接続されている必要があります)。長押しにより UI メニュー表示を HDMI 出力から VGA 出力に切り替えます。または VGA 出力から HDMI 出力に戻します。

接続

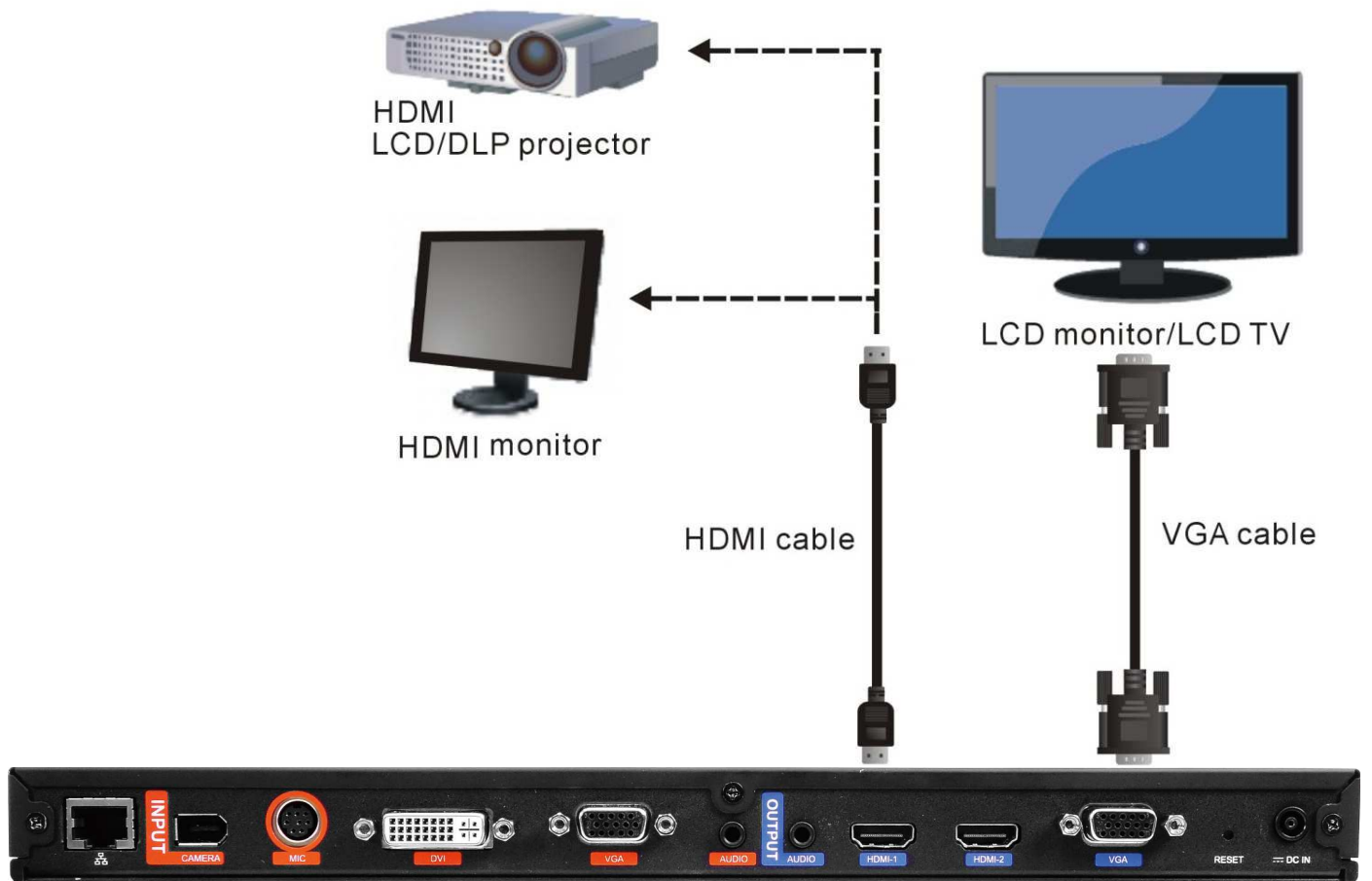
接続する前に、すべてのデバイスの電源がオフになっていることを確認してください。接続に関して以下の図と、AVer EVC900/EVC300 シリーズシステムに接続するデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。



☞ システムの電源を入れる前に、すべての接続が正常に行われたことを確認してください。

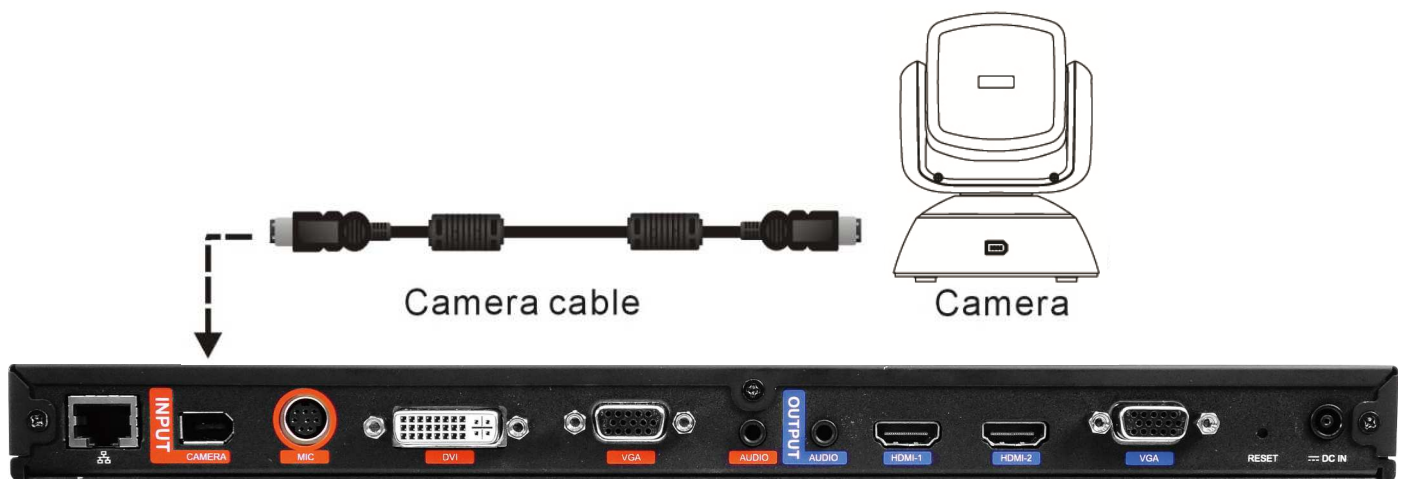
モニターの接続 (VGA 出力/HDMI 出力)

グラフィックスディスプレイ機器の VGA/HDMI 入力ポートを付属の VGA/HDMI ケーブルで AVer EVC900/EVC300 シリーズの VGA 出力/HDMI 出力ポートに接続します。デュアル画面構成では VGA 出力ポートと HDMI 出力ポートのうち 2 ポートへ同時に出力できます。



カメラの接続 (カメラ入力)

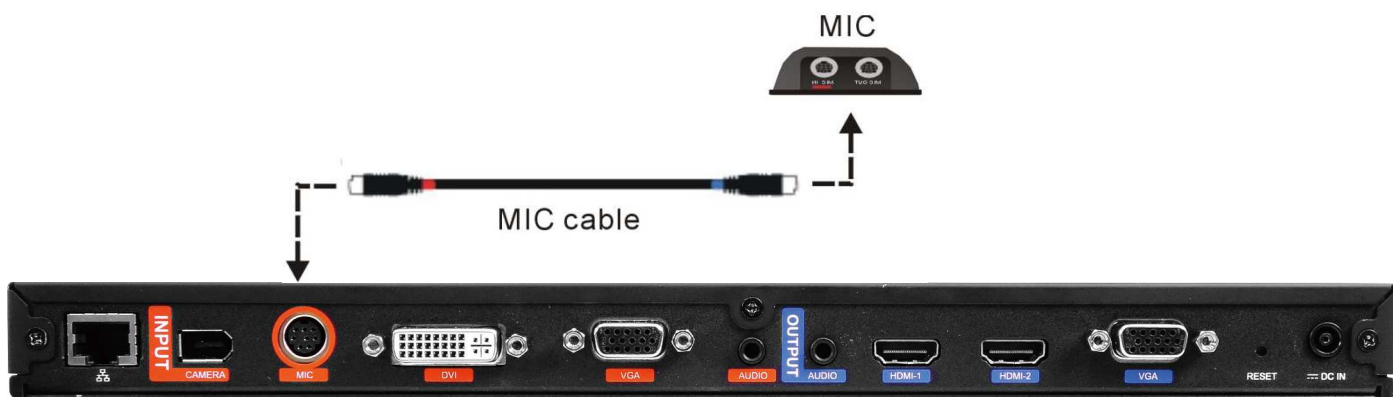
カメラの背面ポートを付属のカメラ ケーブルで EVC のカメラ入力ポートに接続します。



マイクの接続 (マイク入力)

付属のマイク ケーブルを使用して、赤いタグの付いたコネクタを EVC のマイク入力ポートに接続します。次に、青いタグの付いたマイク ケーブルのもう一方の端をマイク出力ポートに接続します。

🔊 マイクのミュートをオンまたはオフにするには、AVer EVC マイクの上部のボタンを押します。



LAN の接続 (RJ-45)

付属の RJ-45 ケーブルで、AVer EVC の LAN ポートを RJ-45 ウォールジャックまたはイーサネットハブに接続します。

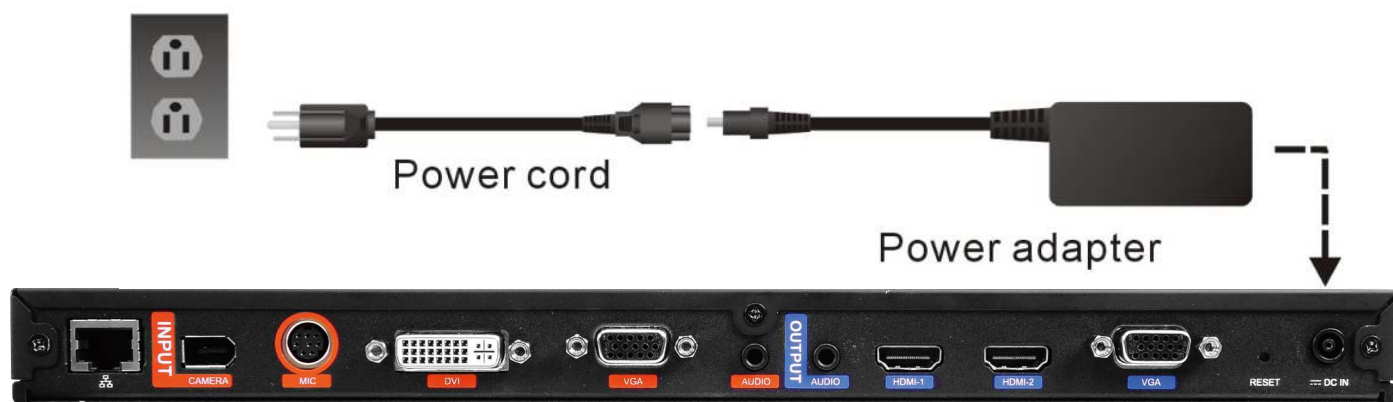
☞ LAN 接続には IP ネットワークが必要です。



電源の接続 (DC 12V)

付属の電源アダプターと電源コードで、電源アダプターを標準の 100V～240V AC 電源コンセントに接続します。

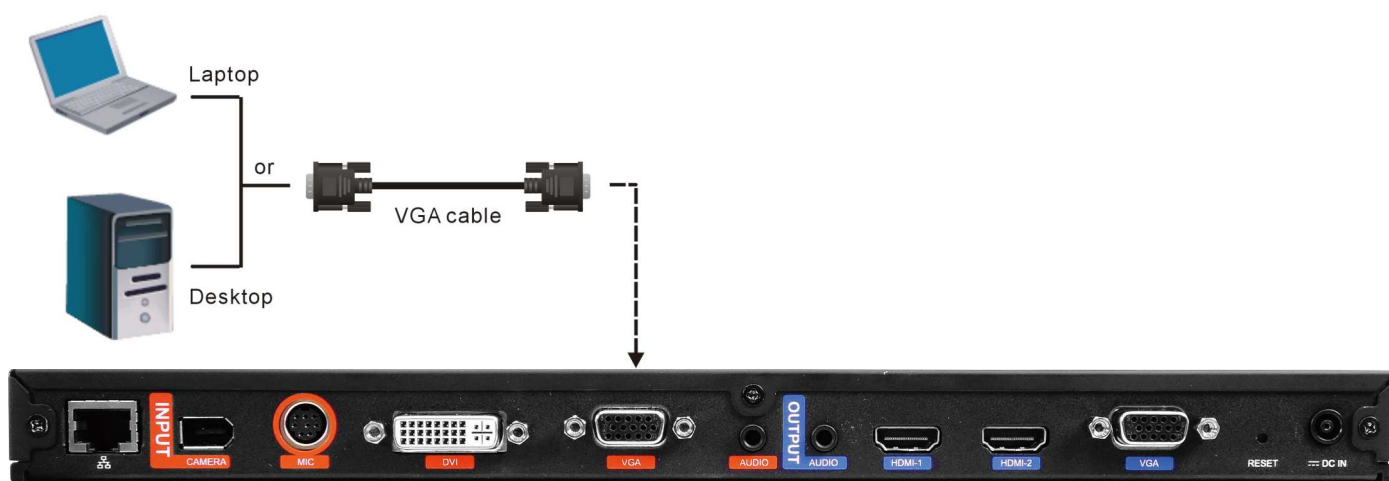
-
- ☞ (1) 感電を防ぐため、メイン システム上のすべての接続が正常に完了していることを確認してから、電源ケーブルを接続して電源を入れてください。
 - (2) 必ず付属の電源アダプターを使用してください。
-



PC の接続 (VGA 入力)

画像表示のため、ノート PC またはデスクトップ PC の VGA 出力ポートを付属の VGA ケーブルで EVC の VGA 入力ポートに接続します。

-
- ☞ コンピューターからのビデオ信号を共有するには、PRESENT を押して [VGA] を選択します。
-



オーディオの接続 (オーディオ入力/出力)

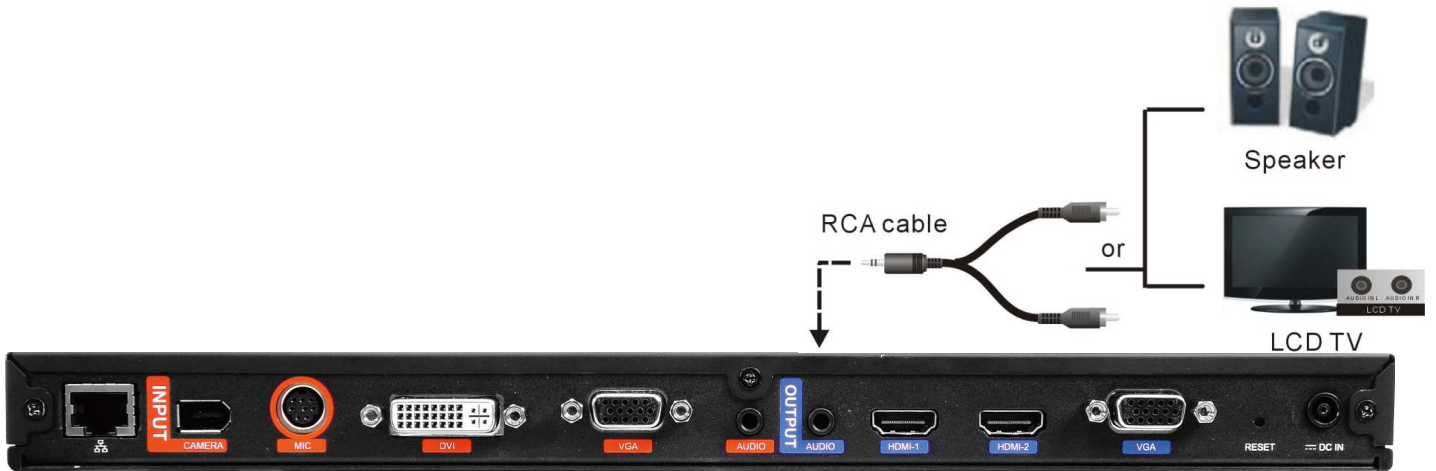
オーディオ入力:

ノートPCまたはデスクトップPCのオーディオ出力ポートを付属の3.5mmオーディオケーブルでAVer EVCのオーディオ入力ポートに接続します。



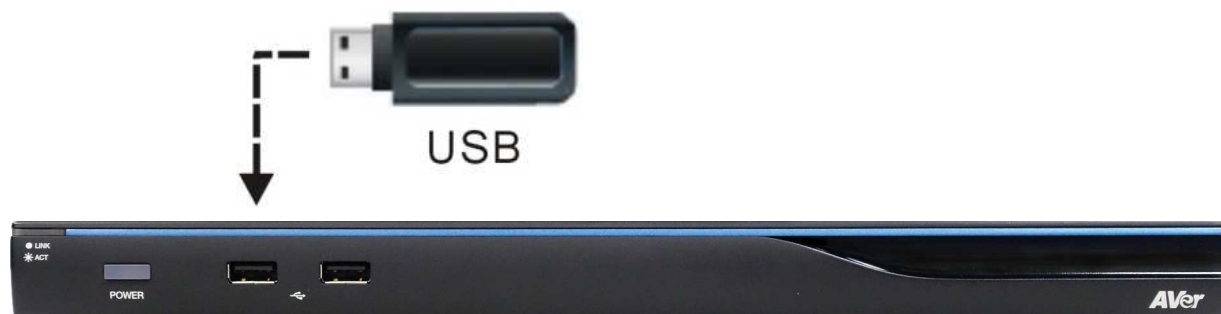
オーディオ出力:

LCD TV スピーカーまたは標準のスピーカーのオーディオ入力ポートをRCAケーブルでAVer EVCのオーディオ出力ポートに接続します。



USBストレージ (USB ポート)

EVCメインシステムは、前面パネルにデータ保存用に2つのUSB2.0インターフェイスをサポートしています。



インストールの前に

本章では、会議室でEVC900/EVC300シリーズを適切に配置する方法を説明します。

カメラの使用

EVCシリーズには、別個のカメラが付属しており、リモコンの▲、▼、◀、▶、およびズームボタンを使用して、パン(0°±100度の範囲)、チルト(0°±25度の範囲)、ズーム(16 X光学)を行うことができます。



☞ システムの電源が入っている状態でカメラを手動で回転させないでください。モーターやギアが壊れて修理不可になり、保証が無効になります。カメラをパンまたはチルトさせるときには必ずリモコンを使用してください。

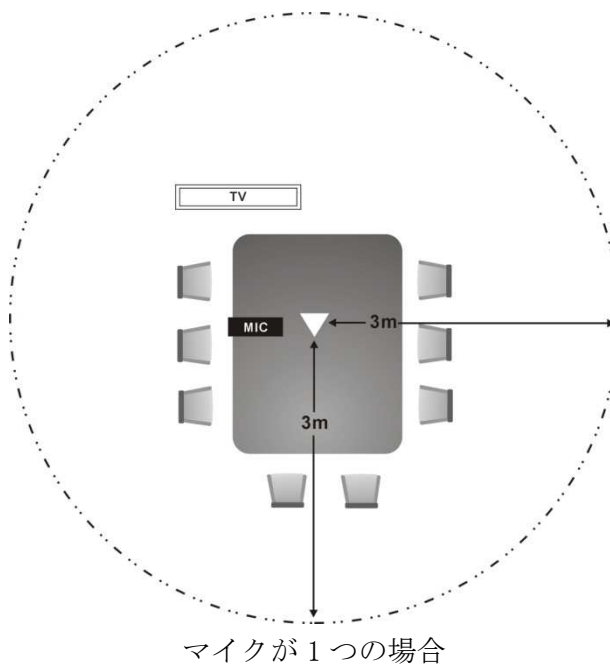
赤外線センサー (IR)

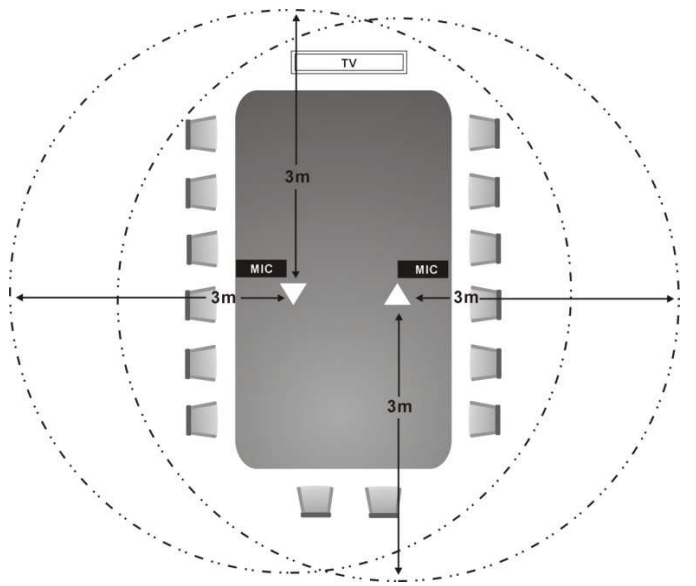
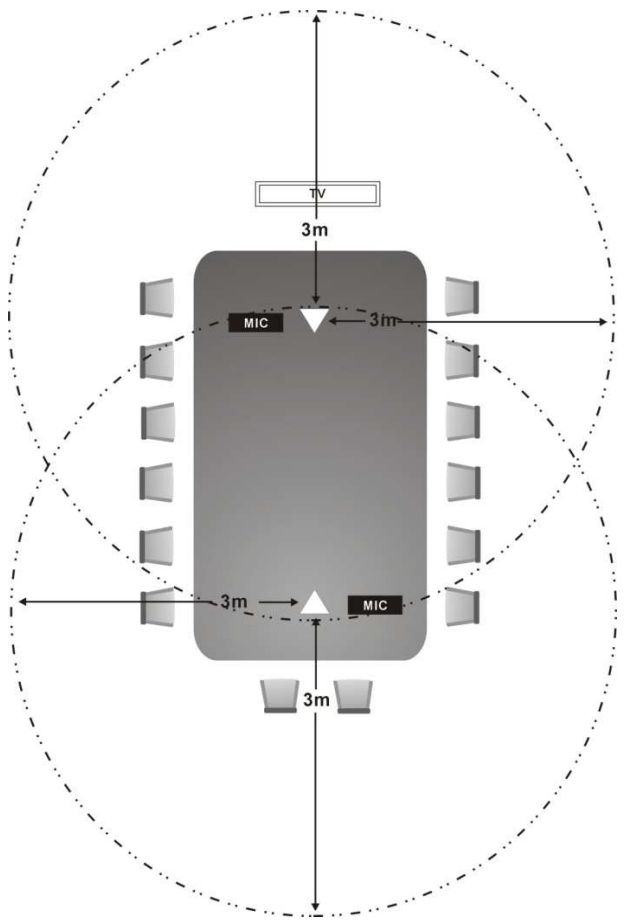
装置を操作するには、カメラの赤外線センサーにリモコンを向けてください。



マイクの配置

EVC マイクが音声信号を受信するための最適な距離は 3m 以内です。






マイクが2つの場合


Aver EVC ウィザードセットアップ


AVer EVC システムを初めて使用する場合は、インストールウィザードの指示に従って順を追って EVC システムをセットアップします。ウィザードセットアップが完了すると、EVC システムの使用を開始できます。

インストールウィザードでは、リモコンにある以下のボタンを使用して、項目間を移動したり、選択項目を確定したりできます。

: ドロップダウンリストを開くには、選択項目を確定します。


 / : カーソルを上下に動かします。

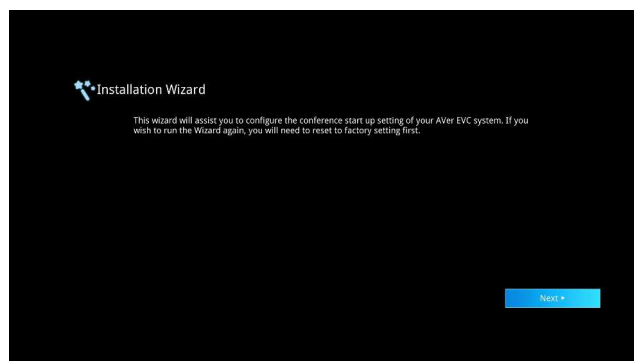
: カーソルを右方向または [次へ] ボタン上に動かします。

: カーソルを左方向または [戻る] ボタン上に動かします。

起動


次の説明に従ってウィザードセットアップを行ってください。




EVC システムの接続を完了し、電源をオンにします。EVC システムが起動すると、インストールウィザード画面が表示されます。 を押して、インストールウィザードセットアップを開始します。





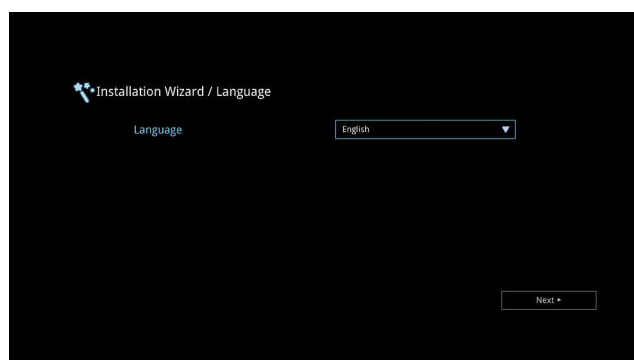
言語

EVC システムの言語を選択します。

 を押してドロップダウンリストを開きます。

 または  ボタンを使用して項目間を移動し、 を押して選択を確定します。選択したら、

 を押して [次へ] オプションに移動し、 を押して次の手順に進みます。



サイト名

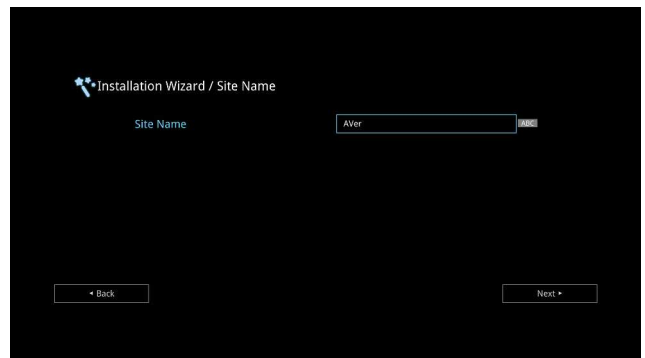
EVC システムのサイト名を設定します。リモコンの数字パッドを使用してサイト名を入力します。

サイト名を入力したら、**▶** を押して [次へ] ボタンに移動し、**↩** を押して次の手順に進みます。

前の手順に戻るには、**◀** を押して [戻る] オプションに移動し、**↩** を押して確定します。

[メモ]

- (1) 入力したい文字を選択するには、数字ボタンを繰り返し押してください。
- (2) サイト名には文字のみを使用できます。



ネットワーク設定

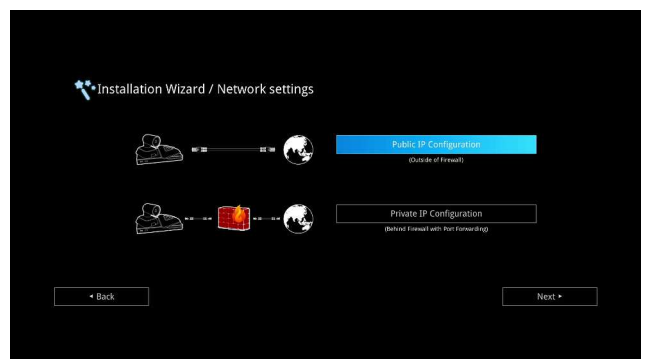
使用するネットワーク環境を選択します。

▲ または **▼** ボタンを使用して選択項目に移動し、**↩** を押して選択を確定します。

[メモ]

ネットワーク環境の説明については、「LAN 接続のシナリオ」の章を参照してください。

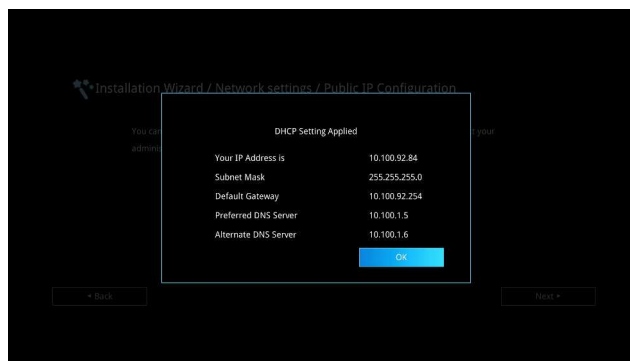
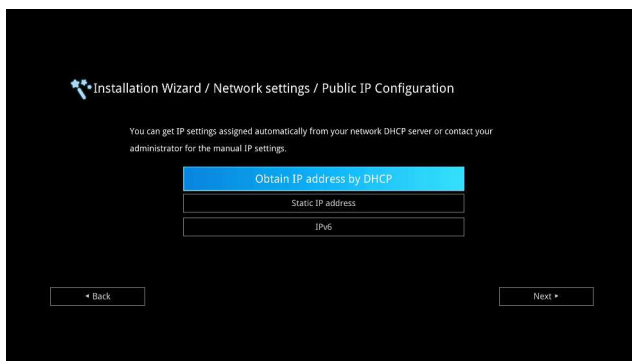
ネットワーク設定オプションを選択した後、ネットワークパラメーターを設定する必要があります。次の説明に従ってネットワーク設定を行います。



パブリック IP 設定 (ファイアウォールの外側):

お使いの EVC システムはインターネットに直接接続されています。IP モードを選択します。

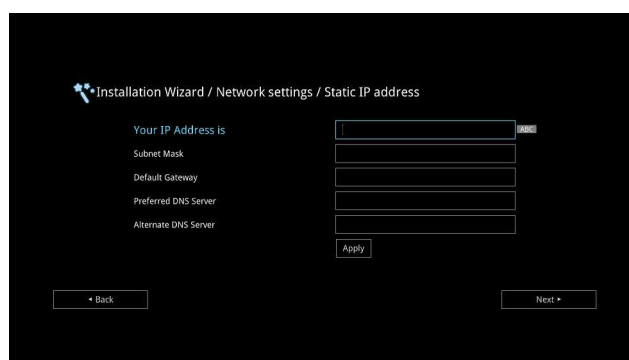
DHCP で IP アドレスを取得: DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するようにシステムを設定します。EVC システムは、LAN 上の DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを自動的に取得します。IP アドレスと関連情報が表示されます。[OK] をクリックして設定を完了します。



固定 IP:割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能なときはこれを選択します。

以下の情報を入力し、[適用] をクリックして設定を保存します。次の手順に進むには [次へ] をクリックします。[ネットワーク設定] ページに戻るには [戻る] をクリックします。

- 1. あなたの IP アドレス:** IP アドレスを手動で入力します。
- 2. サブネット マスク:** システムが自動的にサブネットマスクを取得しない場合は、サブネットマスクアドレスを入力します。
- 3. デフォルトゲートウェイ:** ゲートウェイとは、別のネットワークへの入口としての役割を果たすネットワーク ポイントです。システムが自動的にゲートウェイを取得しない場合は、ゲートウェイ アドレスを入力します。
- 4. 優先 DNS サーバー:** ドメインネームシステム (DNS) サーバーは、人間にわかりやすい名前 (例: www.example.com) を、ネットワーク上で機器を見つけやすくする IP アドレス (218.77.272.166) に変換します。優先 DNS サーバーは、お使いのコンピューターが最初に問い合わせるサーバーです。代替サーバーはバックアップです。優先および代替 DNS サーバーアドレスを入力します。
- 5. 代替 DNS サーバー:** 代わりにの選択として別のドメイン ネーム サーバーを入力します。

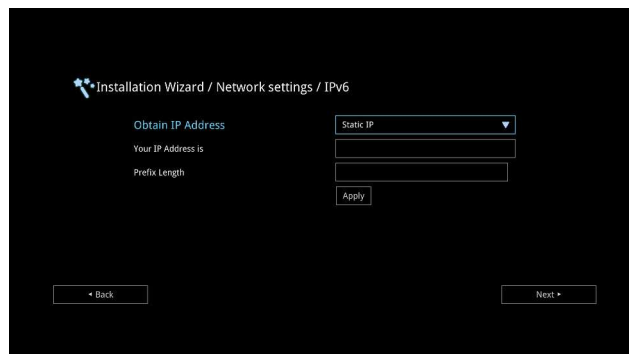


IPv6: IPv6 は、インターネットプロトコルの革命的なアップグレードです。IPv6 はしばらくは以前の IPv4 と共存します。IPv6 アドレスは、コロンで区切られた 16 進表記の 128 ビット IP アドレスです。

以下の情報を選択および入力し、[適用]をクリックして設定を保存します。次の手順に進むには [次へ] オプションをクリックします。[ネットワーク設定]の手順に戻るには[戻る]をクリックします。

1. アドレスの取得

- (1) 固定 IP:** 割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。
- (2) 自動:** 動的 IP アドレスを自動的に取得します。以下に IP アドレスとプレフィックス長を入力する必要があります。

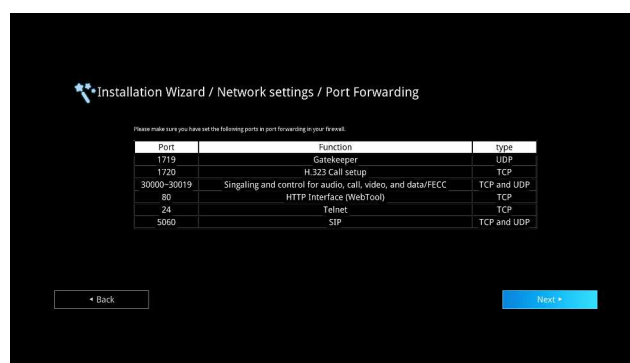
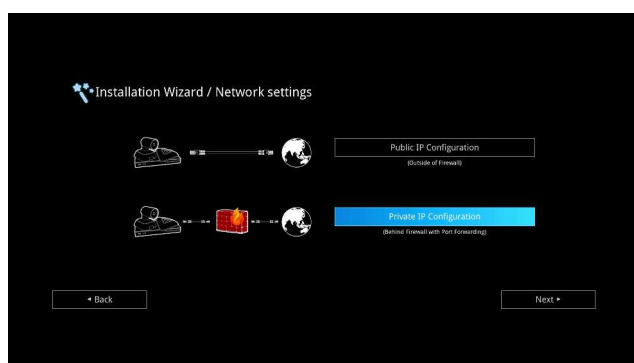


2. 使用する IP アドレス: IP アドレスを手動で入力します。

3. プレフィックス長: プレフィックス長により、基盤のネットワークメディアで許容される限りの IPv6 デバイスを配置できます。

プライベート IP 設定 (ファイアウォール外部とポート転送):

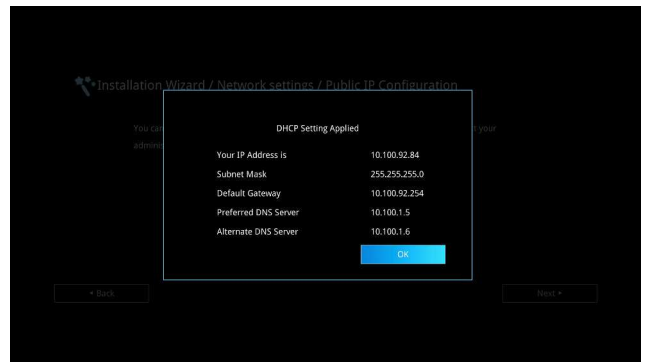
お使いの EVC システムはファイアウォール経由でインターネットに接続されています。



Port	Function	Type
1719	Gatekeeper	UDP
1720	H.323 Call setup	TCP
3000-30019	Signaling and control for audio, call, video, and data/ECC	TCP and UDP
80	HTTP Interface (WebTool)	TCP
24	Telnet	TCP
5060	SIP	TCP and UDP

👁️ ファイアウォールでのポート転送で以下のポートが設定されていることを確認してください。次に、[次へ] をクリックして、ネットワークの IP モードを選択します。

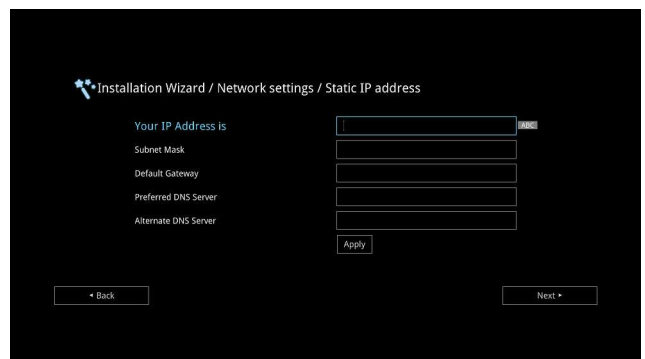
DHCP で IP アドレスを取得:DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するようにシステムを設定します。EVC システムは、LAN 上の DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを自動的に取得します。IP アドレスと関連情報が表示されます。[OK] をクリックして設定を完了します。



固定 IP:割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。

以下の情報を入力し、[適用] をクリックして設定を保存します。次の手順に進むには [次へ] をクリックします。[ネットワーク設定] ページに戻るには [戻る] をクリックします。

- 1. あなたの IP アドレス:**IP アドレスを手動で入力します。
- 2. サブネット マスク:**システムが自動的にサブネット マスクを取得しない場合は、サブネットマスクアドレスを入力します。
- 3. デフォルトゲートウェイ:**ゲートウェイとは、別のネットワークへの入口としての役割を果たすネットワーク ポイントです。システムが自動的にゲートウェイを取得しない場合は、ゲートウェイアドレスを入力します。
- 4. 優先 DNS サーバー:**ドメインネームシステム (DNS) サーバーは、人間にわかりやすい名前 (例: www.example.com) を、ネットワーク上で機器を識別できるようにする IP アドレス (218.77.272.166) に変換します。優先 DNS サーバーは、お使いのコンピューターが最初に問い合わせるサーバーです。代替サーバーはバックアップです。優先および代替 DNS サーバーアドレスを入力します。
- 5. 代替 DNS サーバー:**代わりの選択として別のドメインネームサーバーを入力します。



IPv6: IPv6 は、インターネットプロトコルの革命的なアップグレードです。IPv6 はしばらくは以前の IPv4 と共存します。IPv6 アドレスは、コロンで区切られた 16 進表記の 128 ビット IP アドレスです。

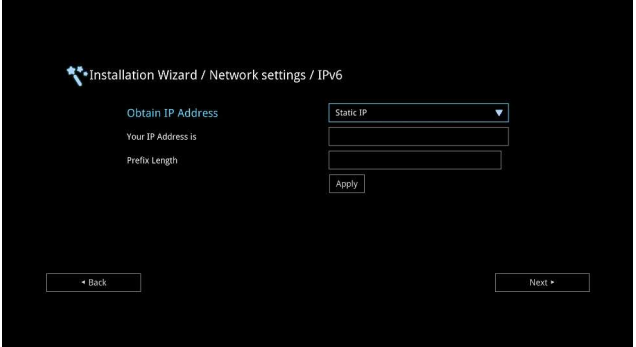
以下の情報を選択および入力し、**[適用]** をクリックして設定を保存します。次の手順に進むには **[次へ]** オプションをクリックします。**[ネットワーク設定]** の手順に戻るには **[戻る]** をクリックします。

1. 取得アドレス

- (1) 固定 IP:** 割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。
- (2) 自動:** 動的 IP アドレスを自動的に取得します。以下に IP アドレスとプレフィックス長を入力する必要があります。

2. 使用する IP アドレス: IP アドレスを手動で入力します。

3. プレフィックス長: プレフィックス長により、基盤のネットワークメディアで許容される限りの IPv6 デバイスを配置できます。



Installation Wizard / Network settings / IPv6

Obtain IP Address: Static IP

Your IP Address is: [Input Field]

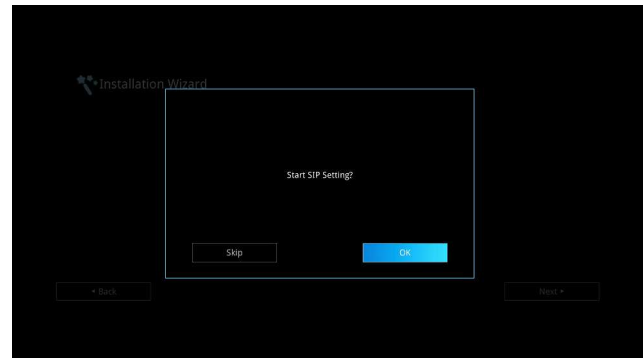
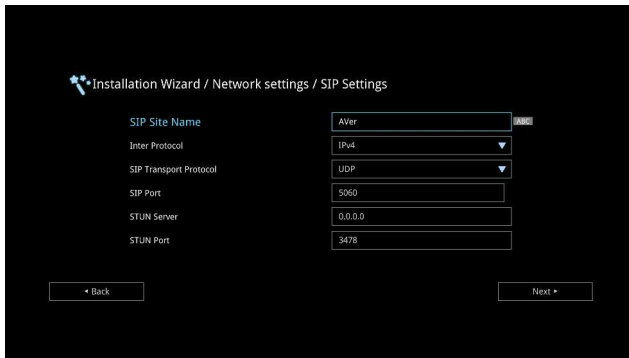
Prefix Length: [Input Field]

Apply

Back Next

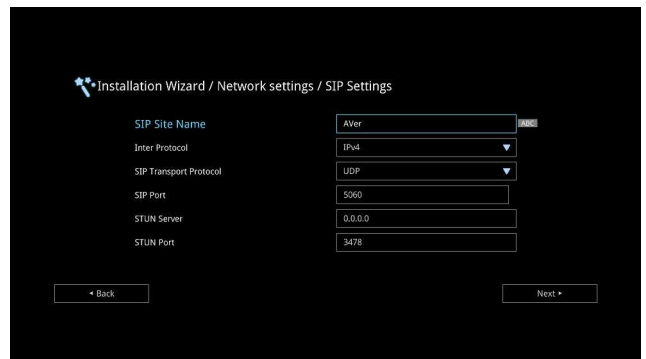
SIP 設定

セッション開始プロトコル(SIP)により、インターネットを介して対応デバイスを使用して世界中で通信を行うことができます。ネットワークを設定した後、SIP をセットアップできます。SIP 設定をスキップすることもできます。



SIP をセットアップするには、以下の情報を入力または選択します。

- 1. SIP サイト名:**他のユーザーが識別できるようにするための SIP サイト名を入力します。SIP サイト名はウェブアクティビティのドメインと同じものでも異なるものでも構いません。数字パッドを使用して、フィールドに SIP サイト名を入力します。
- 2. インターネットプロトコル:**IP プロトコルとして IPv4 または IPv6 を使用することを選択します。⬅️ を押してドロップダウンリストを開き、⬆️、⬆️ を使用して選択項目を移動します。⬅️ を押して選択を確定します。
- 3. SIP トランスポートプロトコル:**ドロップダウンリストから、使用する SIP トランスポートタイプを選択します。インターネットプロトコル(IP)トラフィックには2つのタイプがあります。伝送制御プロトコル (TCP)とユーザーデータグラムプロトコル (UDP) です。適切な接続を確保するために、通信を行う両者が同じトランスポートプロトコルを使用しているかどうか確認してください。デフォルトでは UDP に設定されています。
 - (1) TCP:**TCP はコネクション型のプロトコルです。接続が確立されると、データは双方向に送信できます。
- 4. SIP ポート:**この値は、お使いのネットワークシステムで特定の設定を使用する場合のみ変更してください。デフォルトでは、SIP ポートは 5060 に設定されます。
- 5. STUNServer:**STUN (NAT 向けセッショントラバーサルユーティリティ) は、標準化された一連のメソッドで、エンド ホストが NAT の外側にある場合にパブリック IP アドレスを検出できるようにするネットワーク プロトコルです。
- 6. STUNPort:**STUN サーバーのポート番号を入力します。

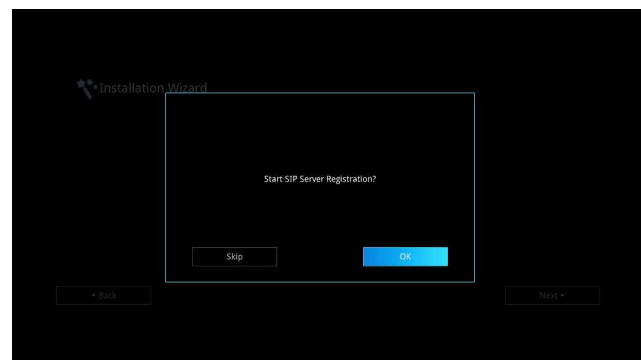
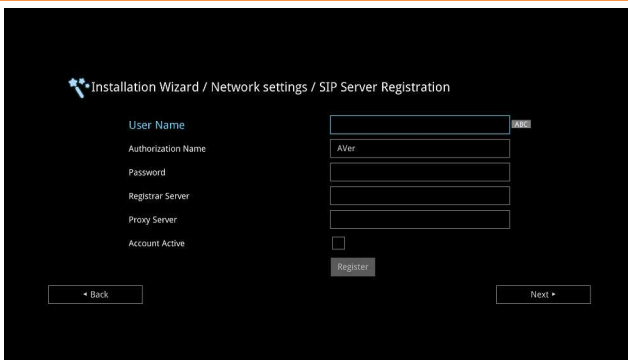


- (2) UDP:UDP の動作は TCP よりシンプルで、コネクションレス型のインターネット プロトコルです。複数のメッセージが、UDP を使用してパケットとしてまとめられて送信されます。

SIP サーバー登録

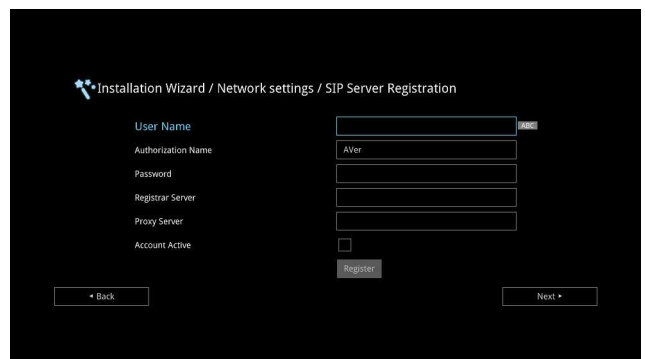
通常の SIP セッションでは、クライアントが SIP サーバーに対してセッションをリクエストします。リクエストを受信すると、SIP サーバーはユーザーにレスポンスを返し、セッションが利用可能であるかどうかを示します。

SIP を設定したら、**SIP サーバー登録**を行うか、**スキップ**できます。



SIP サーバー登録を行うには、以下の情報を入力し、[Register(登録)] をクリックして設定を保存します。完了したら、[次へ] をクリックして次の手順に進みます。

1. **ターミナル名:**ターミナル サーバー名を入力します。
2. **パスワード:**ターミナル サーバーのパスワードを入力します。
3. **レジストラ サーバー:**レジストラ サーバーはユーザーからの登録を受け入れ、ロケーションサービスとして知られるデータベースにこれらの登録情報（基本的にはロケーション情報）を入れます。使用するレジストラサーバー名



を入力します。

- 4. プロキシ サーバー:**プロキシ サーバーは、通信ネットワーク内においてデータ処理デバイスとその他のデバイスとの間のインターフェイスとなるコンピューティング デバイス（通常はサーバー）です。これらのデバイスは同一のローカル エリア ネットワーク上または外部ネットワークにあります。プロキシ サーバー名を入力します。

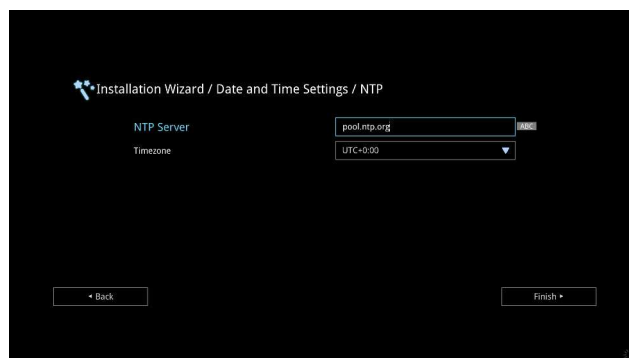
日時設定

EVC システムの日時を設定します。NTP サーバーを使用して日時を調整するか、現在の日時を手動で入力することができます。

ネットワークタイムプロトコル(NTP)

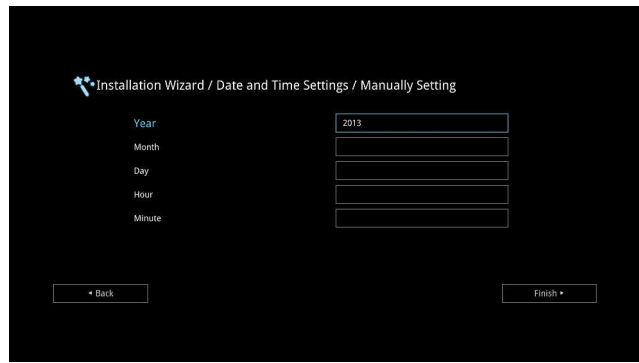
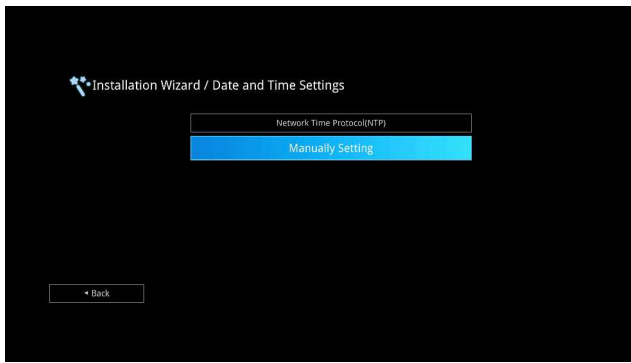
ネットワークタイムプロトコル(NTP) は、デバイスのネットワークでシステムクロック時刻を同期するために使用されるプロトコルです。

- 1. NTP Server(サーバー):**ネットワーク タイムプロトコル(NTP) により、管理者はすべてのネットワークコンピューターをメインサーバーと同期できます。これにより、すべてのネットワークマシンクロックを同じ時刻に保つことができます。使用する NTP サーバー名を入力します。
- 2. Timezone(タイム ゾーン):**別の国または地域にいるときに、タイムゾーンを利用して、元の地域と同じ時刻を保つように調整できます。大陸上のほとんどのタイムゾーンは、協定世界時(UTC) からのオフセットの整数時間 (UTC-12 から UTC+14) です。

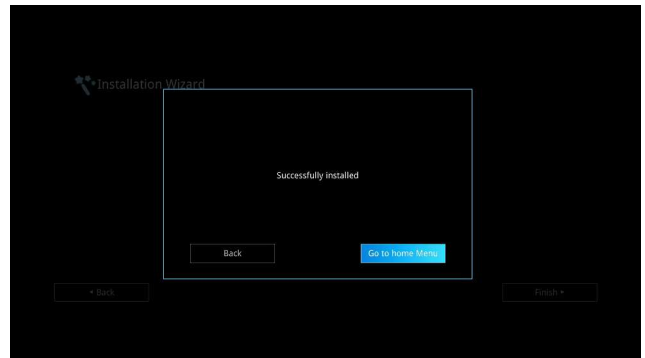


手動設定

現在の年、月、日、時、分、秒を手動で入力します。



日時のセットアップが完了したら、[Go to Home (終了)] をクリックしてインストール ウィザードのセットアップを完了してください。その前に、通信テストを行うか、ホームメニューに移動できます。通信を行うには、「**電話をかける**」の章を参照してください。



AVer EVC の操作

カメラ、マイク、メインシステム、ディスプレイ、電源を接続して、電源ボタンを押してEVCを起動します。電源ボタンが青く点滅し始め、AVer ロゴが表示された後、アニメーションと音楽が流れます。30 秒後に、カメラの画像とホーム画面が表示されます。リモコンをカメラに向け、AVer EVC の設定を開始します。

始める前に

基本操作

ナビゲーション ボタン: ▲、▼、◀、および ▶ ボタンを使用して、リモコン上の選択項目を移動します。


確定ボタン: ◀ を使用して、リモコン上の選択項目を確定します。

適用: 変更された値を有効にします。(AVer EVC アプリケーション向け)

保存: 作成された値をシステムに保存します。

キャンセル: 値の変更をキャンセルし、現在の画面を閉じます。

ホーム画面

ホーム画面には、[ダイヤル]、[電話帳]、[通話履歴]、および[設定]の4つの選択項目があります。ナビゲーションボタンを使用して選択項目間を移動し、 を押して選択を確定します。[ダイヤル]、[電話帳]、または[通話履歴]のいずれかからサイト連絡先を選択して簡単に電話をかけることができます。管理者は、セキュリティパスワードを設定して、システム設定やWebToolアクセスが変更されるのを防ぐことができます。

設定アイコン




ダイヤル、電話帳、および通話履歴





設定には、[一般設定]、[ビデオ/オーディオ]、[ネットワーク]があります。

カメラアイコンとマイクアイコン

ホーム画面の左上隅に、カメラとマイクのアイコンがあります。

カメラが正常に接続されている場合は、 がホーム画面の左上隅に表示されます。そうでない場合は、「カメラの接続が解除されました」という警告メッセージが表示され、画面が青くなります。

マイクが正常に接続されている場合は、 がホーム画面の左上隅に表示されます。そうでない場合は、 が表示され、マイクがミュートになっていることが示されます。マイクまたはリモコンのミュートボタンを押して、ミュートを解除してください（マイクのLEDインジケーターが青になります）。



WAN アドレス

ホーム画面の左下隅に、現在の WAN IP アドレスが表示されます




リアルタイムクロック

システムが正しくセットアップされると、ホーム画面の右下隅に、現在の日時が表示されます。



ダイヤル

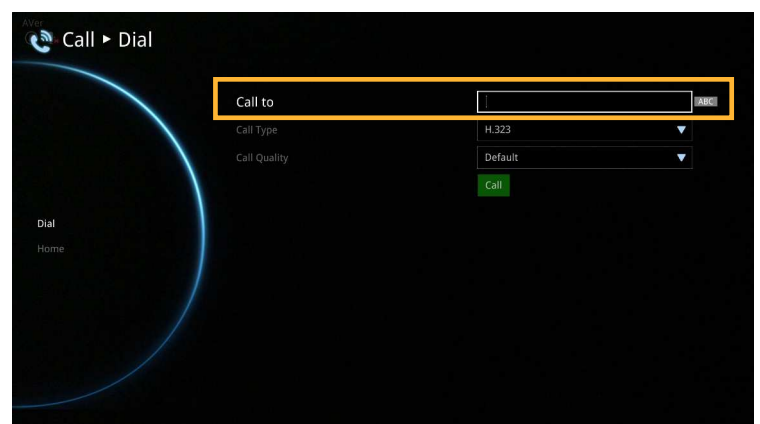
ダイヤル選択では、ダイヤル画面を開いて電話をかけることができます。リモコンの  ボタンを押しても同様の動作になります。





IP アドレス

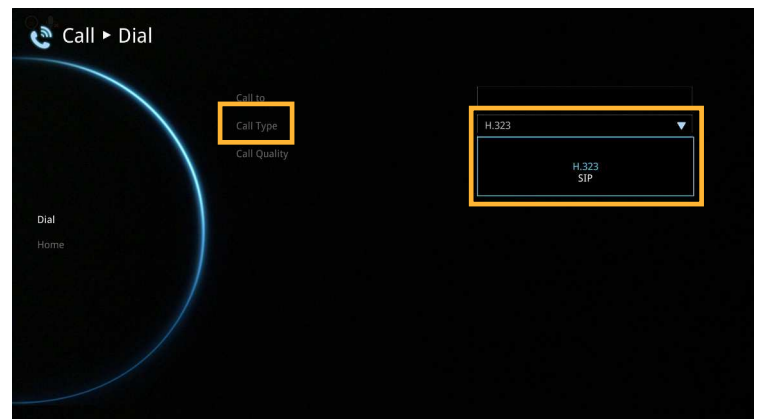
リモコン上の数字キーを使用して、通話相手の IP アドレスまたは SIP URI

(sip:username:password@host:port) を入力します。AVer リモコンは、英数字の操作をサポートしています。数字キーを数回押して、英字または記号を選択してください。



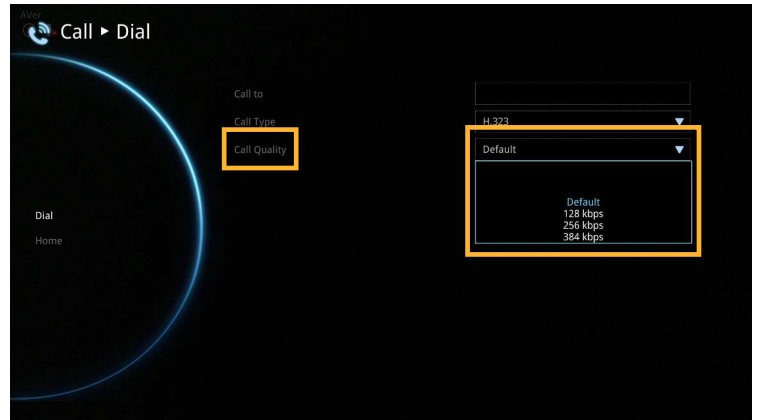
通話タイプ


AVer EVC は H. 323 および SIP の通話をサポートしています。H. 323 は、一般に他のビデオ会議室のシステムと通信するために使用されます。SIP は、一般に他の VoIP デバイスと通信するために使用されます。  ボタンを使用して、目的の通話タイプを選択し、  を押して確定します。



通話品質

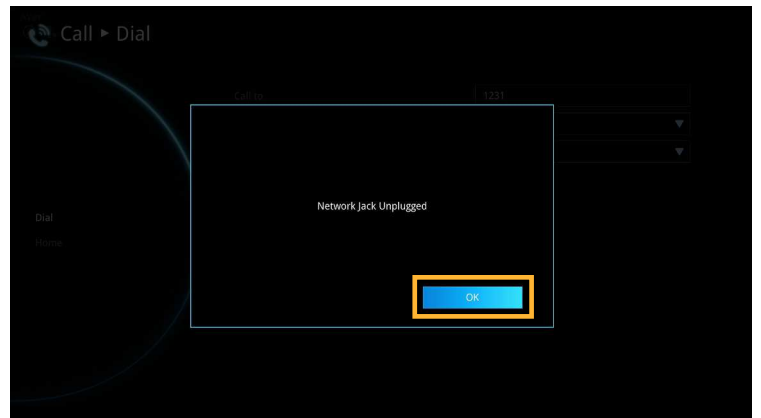
通話品質の選択で、ドロップダウンリストから目的の通話品質（またはネットワーク帯域幅）を選択します（デフォルト、または 128K から 4M bps まで）。



ダイヤル設定画面で「通話」を選択して、 を押して電話をかけます。



電話をかける前に、ネットワークジャックが接続されていて、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。問題があると「ネットワークジャックが外されました」という情報が表示されます。[OK] をクリックして、ネットワークに接続することを再度確定します。




電話帳

電話帳では、連絡先情報の作成および編集、カテゴリ別での連絡先のグループ化、連絡先の検索を行うことができ、そこから通話できます。グループと連絡先（サイト）名はディレクトリ内でアルファベット順に保存されます。WebTool を使用して電話帳のエントリを編集したりインポートしたりすることもできます。

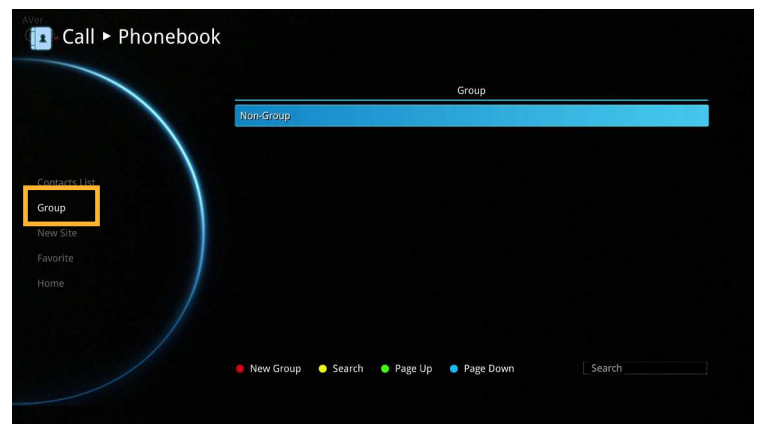


グループ


電話帳を選択して  を押します。

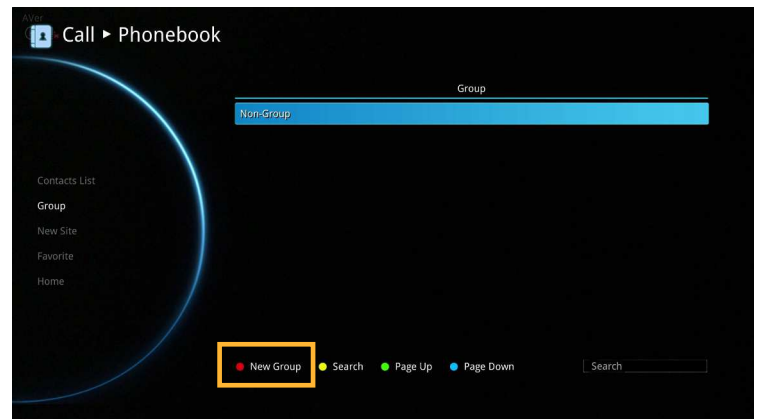
[グループ] を選択して  を押します。

連絡先がたくさん登録されている場合は、クライアント、ベンダー、会社、支社などのグループに分類して検索しやすくすることをお勧めします。

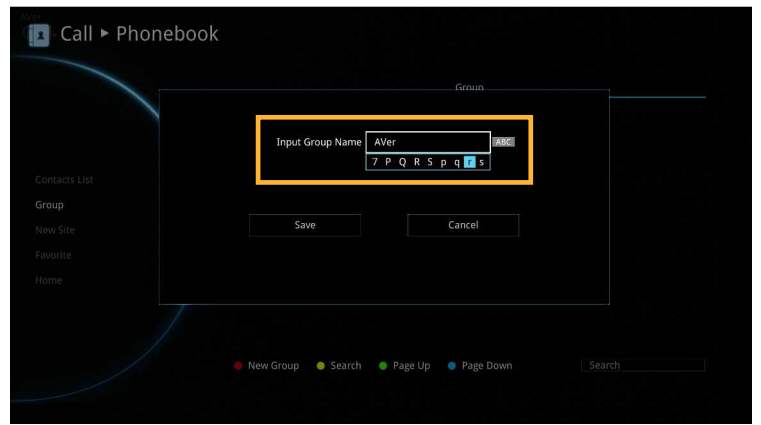


新しいグループの作成

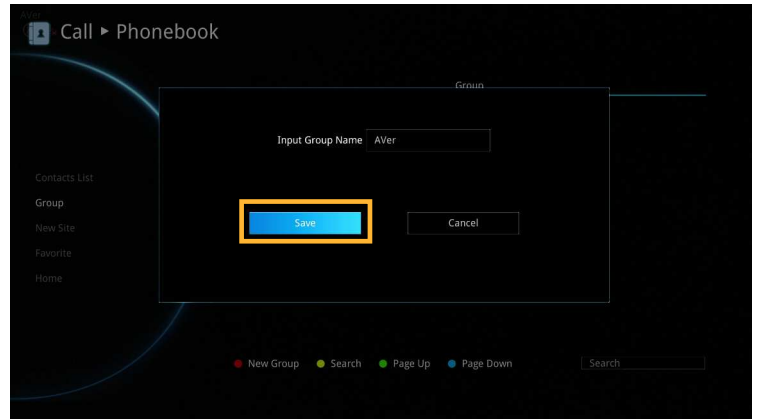
[グループ] 設定画面で、リモコンの赤  ボタンを押して、[グループ名を入力する] ダイアログ ボックスを表示します。



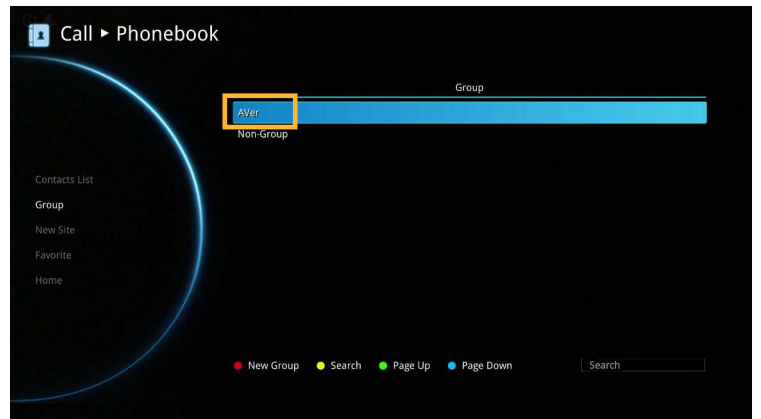
使用するグループ名を入力します。



[保存する] を選択して、新しいグループを保存します。または [キャンセル] を選択して [グループ名を入力する] ダイアログ ボックスを閉じます。

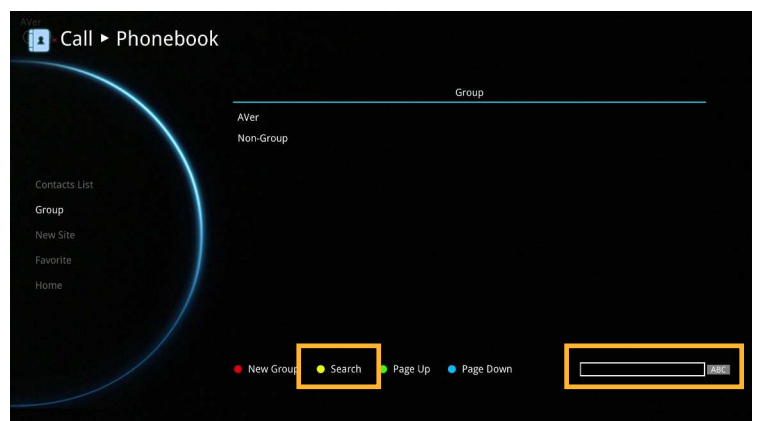


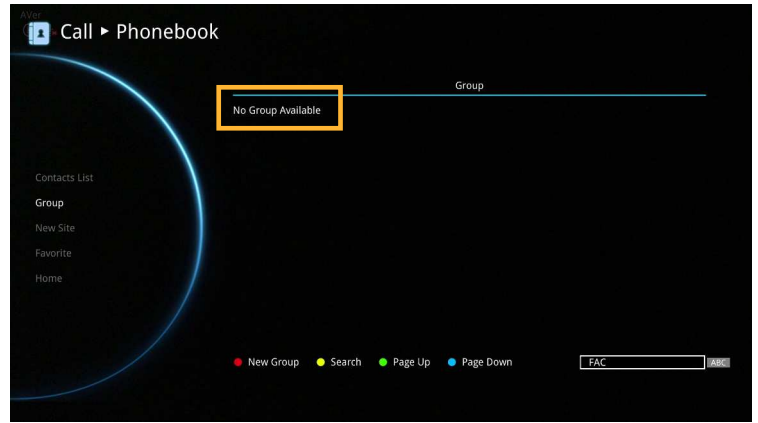
新しいグループ名は、グループ リストに保存および表示されます。



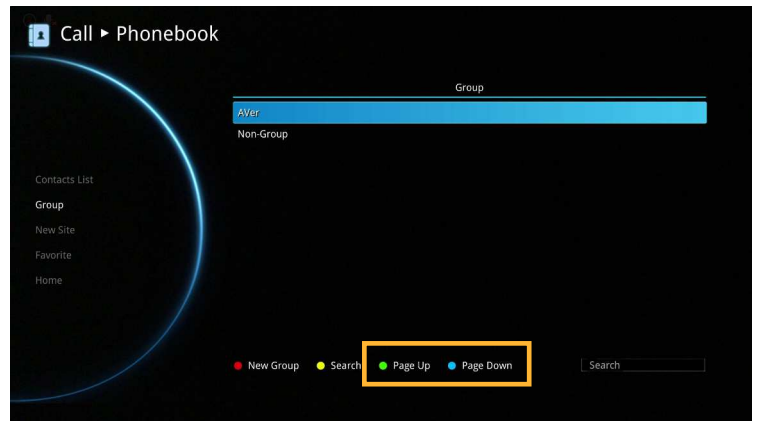
作成されたグループの検索

リモコンの黄色 ● ボタンを押して、検索するグループ名を入力します。





グループデータが 1 ページを超える場合は、緑 ● ボタンまたは青 ● ボタンを押してページを上下にスクロールできます。

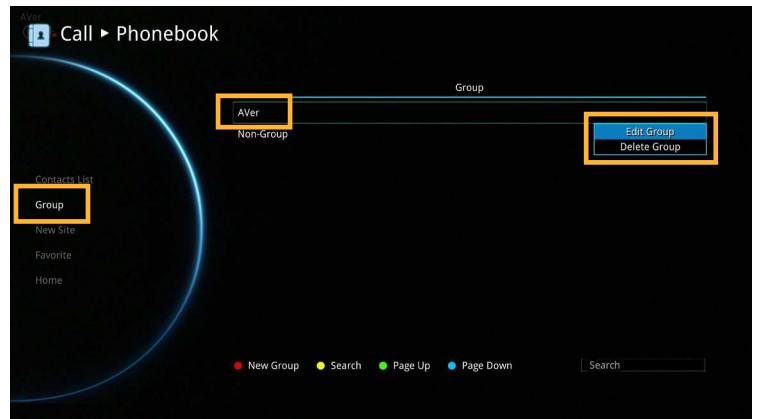


グループの編集

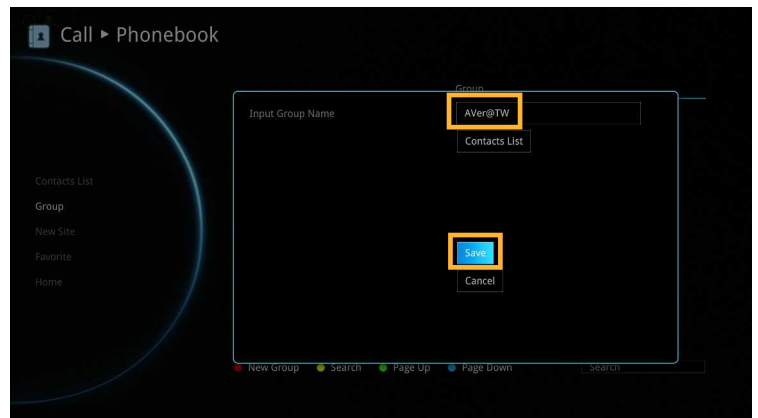
[電話帳] の [グループ] を選択して ● を押します。

グループリスト内で、変更する名前を選択します。

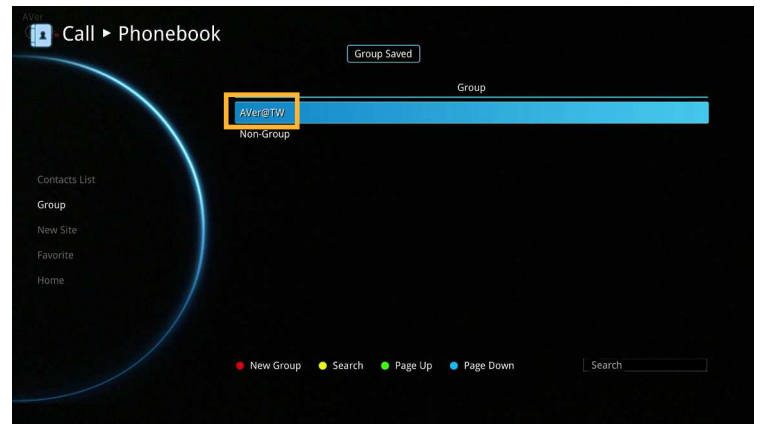
[グループの編集] を選択して ● を押します。



グループ名を変更して、[保存する] を選択し、変更されたグループ名を保存します。




変更されたグループ名は、グループリストに保存および表示されます。

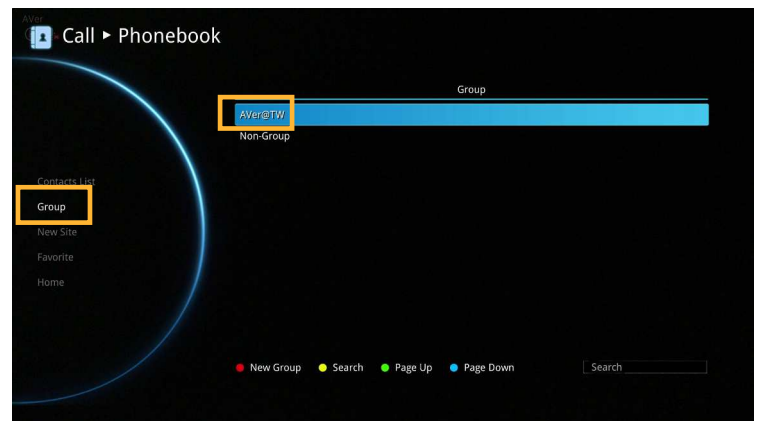



☞ 変更された名前が保存された名前と同じである場合、変更された名前は無視されます。

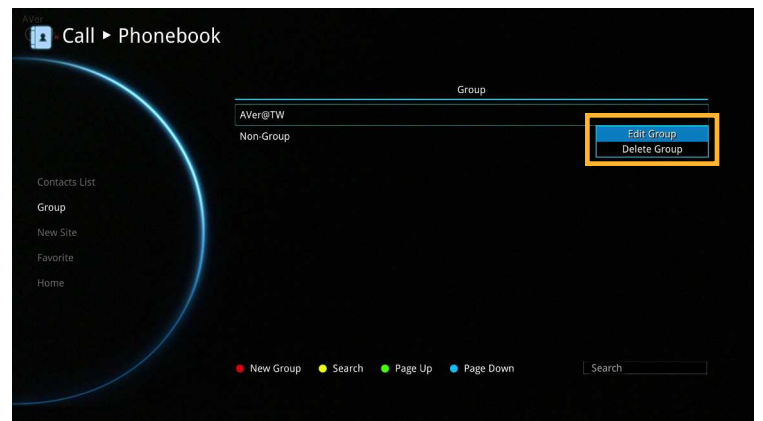
グループリストからの連絡先の追加

[電話帳] の [グループ] を選択して  を押します。

連絡先リストに追加するグループ名を選択します。



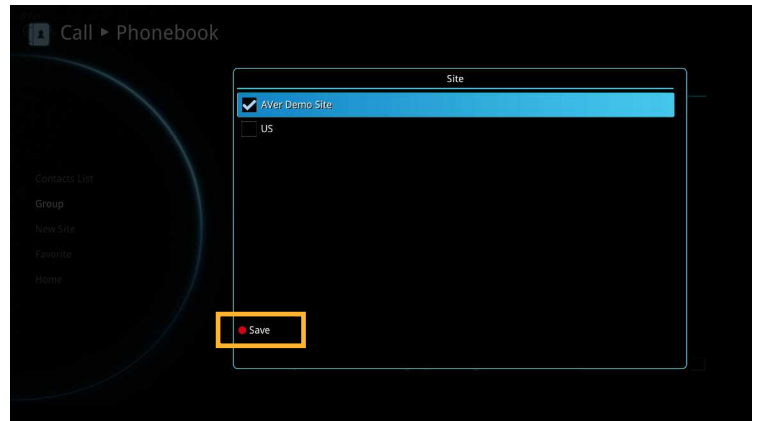
[グループの編集] を選択して  を押します。



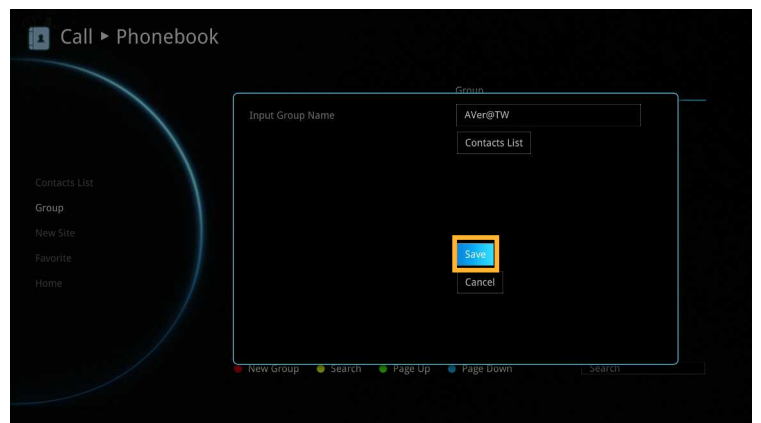
連絡先リストに追加するグループ名を確定して、[連絡先リスト]を選択します。



グループサイトリストで、連絡先リストに追加する項目を選択してリモコンの赤い ● ボタンを押して選択を保存します。




[保存する]を選択して、グループ名と追加されたサイトを連絡先リストに追加します。




選択されたグループ名と追加されたサイトは、連絡先リストに追加されます。

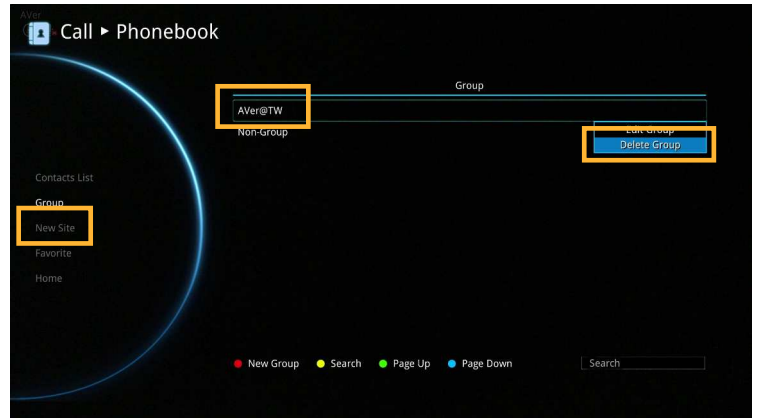


グループの削除

[電話帳] の [グループ] を選択して  を押します。

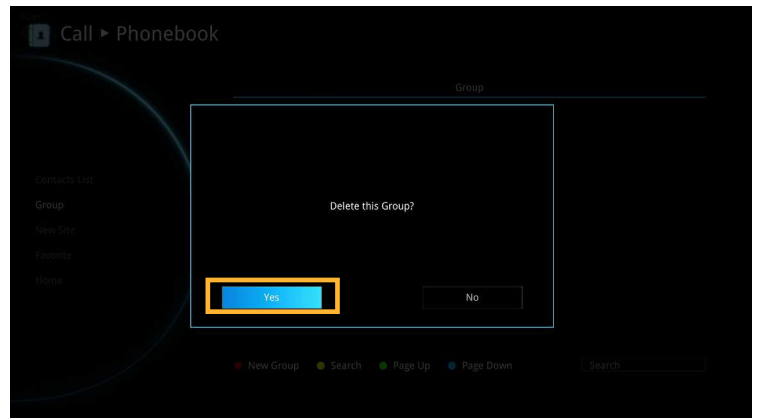
グループリスト内で、削除する名前を選択します。

[グループの削除] を選択して  を押します。



選択されたグループ名を削除する場合は [はい] を選択し、グループ名の削除をキャンセルする場合は [いいえ] を選択します。


選択されたグループ名は、削除されるとグループリストに表示されなくなります。



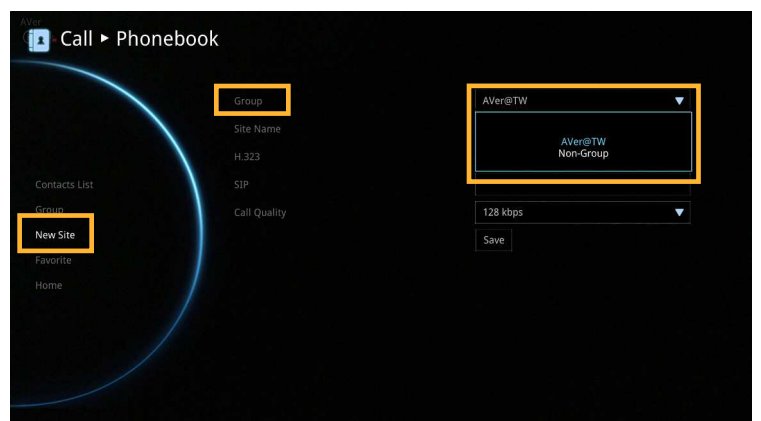
新しいサイト (電話帳内の連絡先)


[新しいサイト] では、各サイトについて、情報を作成および編集できます。

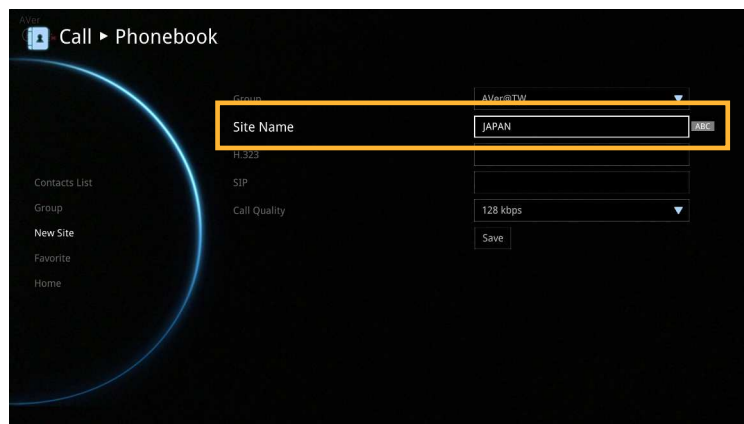
新しいサイトの追加

[電話帳] の [新しいサイト] を選択して  を押します。

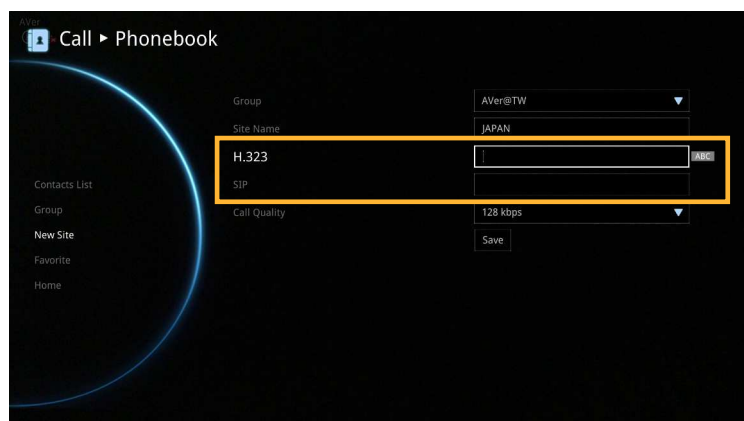
グループ名を選択して、エントリをグループに追加しない場合は、[非グループ] 項目を選択してください。



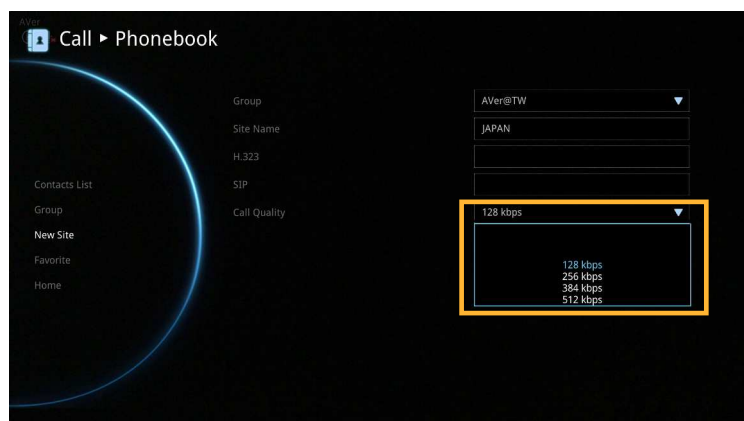
[サイト名] ボックスを選択します。リモコンでサイト名を入力して、 を押します。



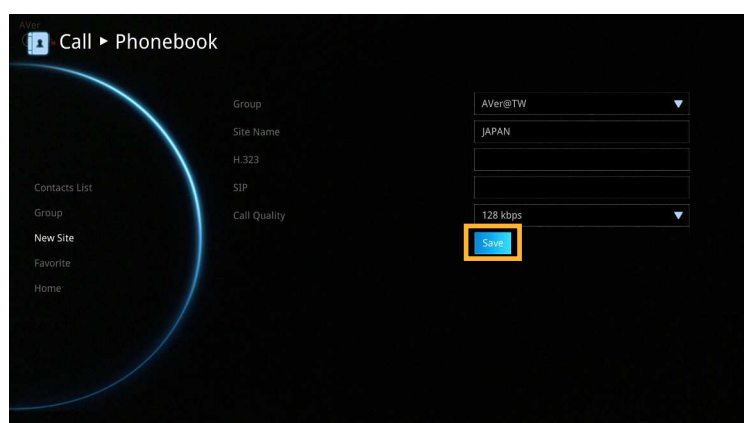
使用する通話タイプ情報として H.323 または SIP を入力します。



ドロップダウンリストで目的の通話品質の値を選択します。





[保存する] を選択して、新たに追加されたサイト連絡先を保存します。




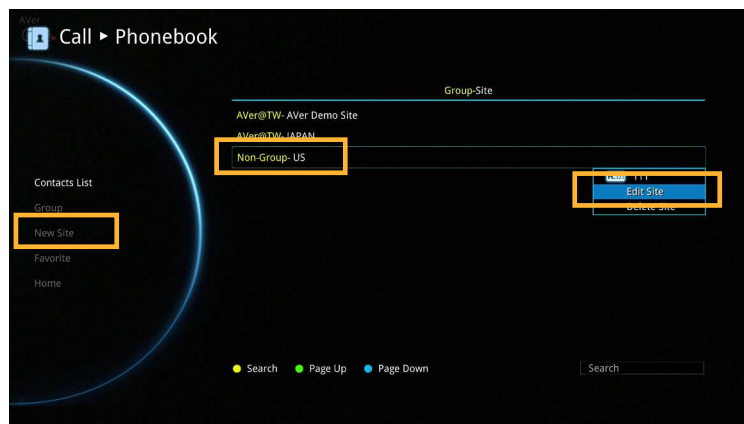
新しいサイトの編集

[電話帳] の [連絡先リスト] を選択して

 を押します。

編集する連絡先を選択して  を押します。

[サイトの編集] を選択して  を押します。

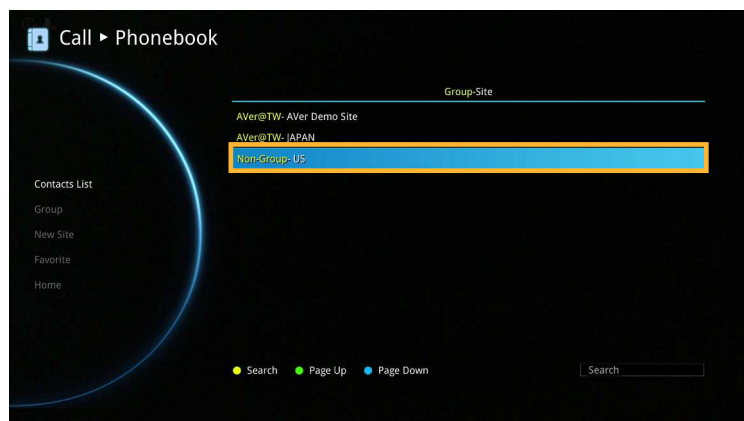


[サイトの編集] 画面で、グループ、サイト名、H. 323、SIP および通話品質を変更できます。

変更後、[保存する] を選択して新しい変更を適用するか、[キャンセル] を選択して元の設定に戻します。



保存された変更は、グループリストに表示されます。

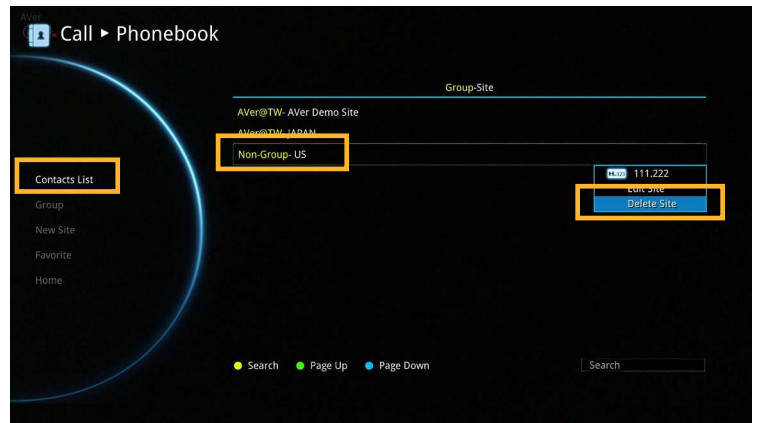


新しいサイトの削除

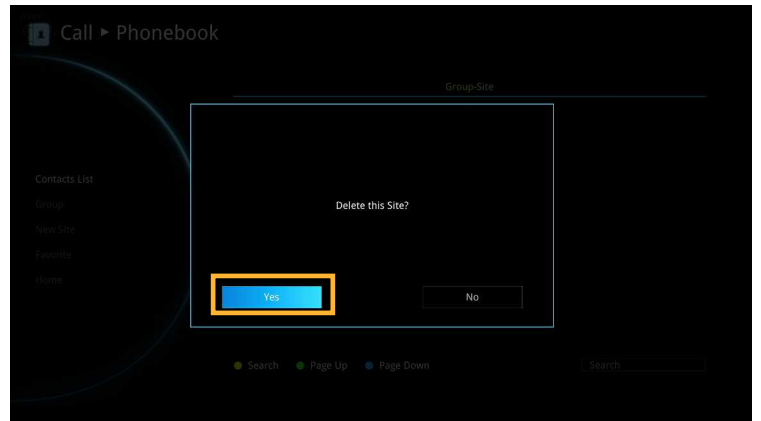
[電話帳] の [連絡先リスト] を選択して
[Enter] を押します。

削除する連絡先を選択して [Enter] を押しま
す。

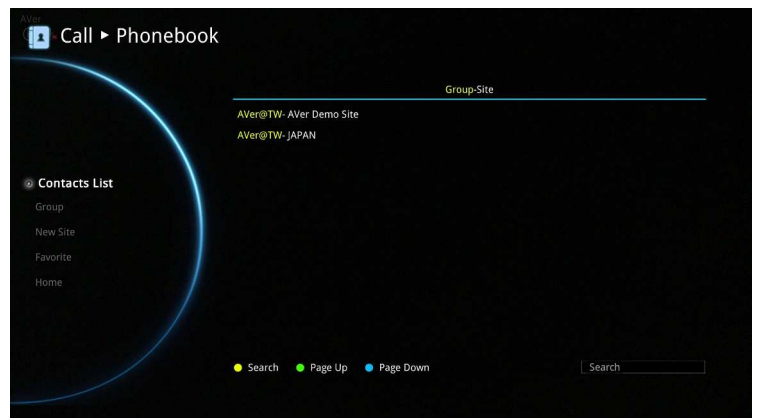
[サイトの削除] を選択して [Enter] を押しま
す。






選択された連絡先を削除する場合は [はい]
を選択し、連絡先の削除をキャンセルする場
合は [いいえ] を選択します。

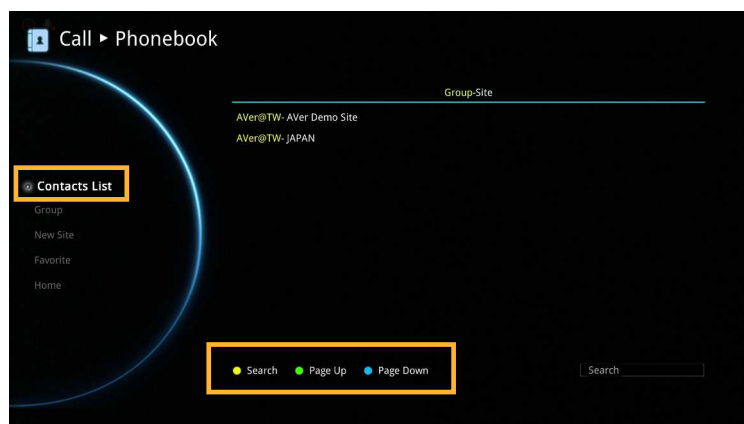


選択された連絡先は、削除されるとグルー
プリストに表示されなくなります。




連絡先リスト


連絡先リストには、作成および保存した連絡先がすべて表示されます。連絡先リストから連絡先を直接選択して編集または削除できます。連絡先リスト設定画面で、リモコンの黄色  ボタンを使用して、対象の連絡先を検索することもできます。グループ サイトが 1 ページを超える場合は、緑  ボタンまたは青  ボタンを押してページを上下にスクロールできます。

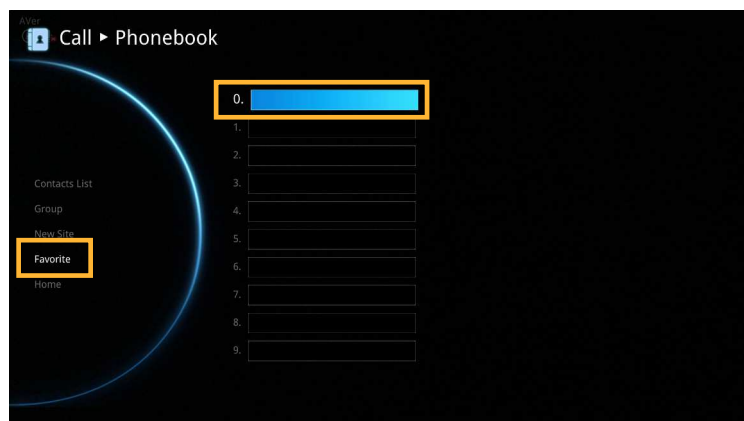



お気に入り

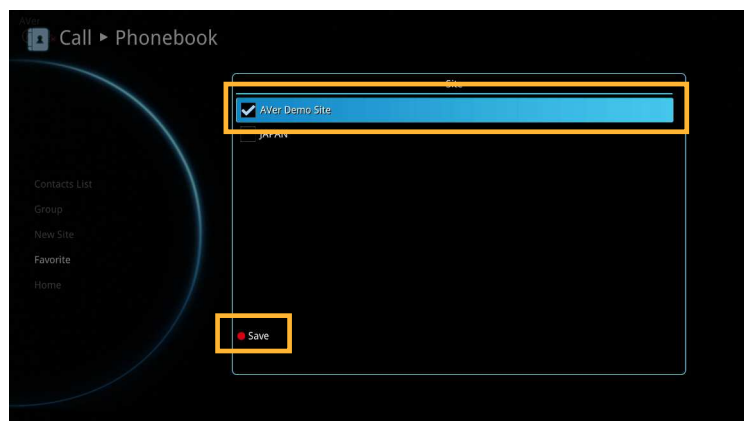
AVer EVC では、Favorite (お気に入り) リストに最大で 10 件の連絡先を保存できます。

[電話帳] の [Favorite (お気に入り)] を選択して  を押します。

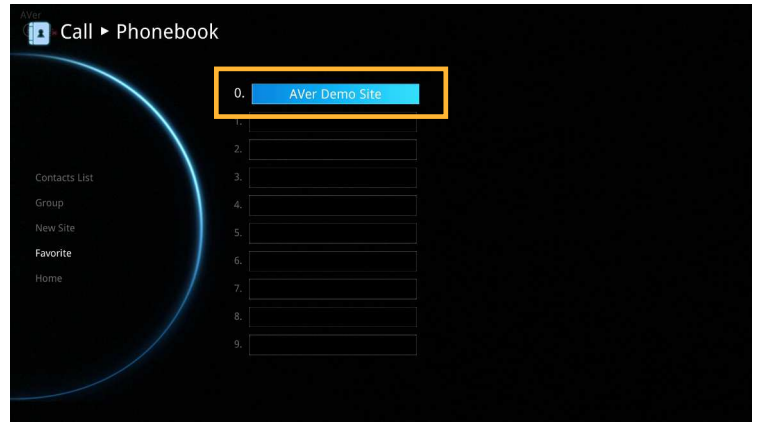
お気に入りの連絡先として保存する行 (0~9) を選択して  を押します。



ポップアップされるサイト リストから連絡先を選択して、リモコンの赤  ボタンを押して選択を保存します。



選択された項目がお気に入りリストに追加されます。



通話履歴

通話履歴では、過去の着信/発信とそのステータスを確認できます。通話履歴リストで項目を選択して発信することもできます。



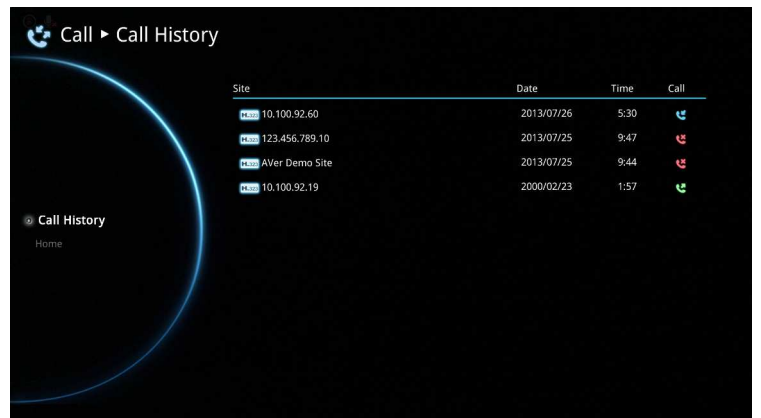
通話ステータス

[通話履歴] を選択して  を押します。



通話履歴に、IP アドレスまたはサイト名と通話タイプ、通話日時、通話ステータスが表示されます。通話ステータスについては、次の表を参照してください。


通話ステータス	通話した	不在だった
着信		
発信		

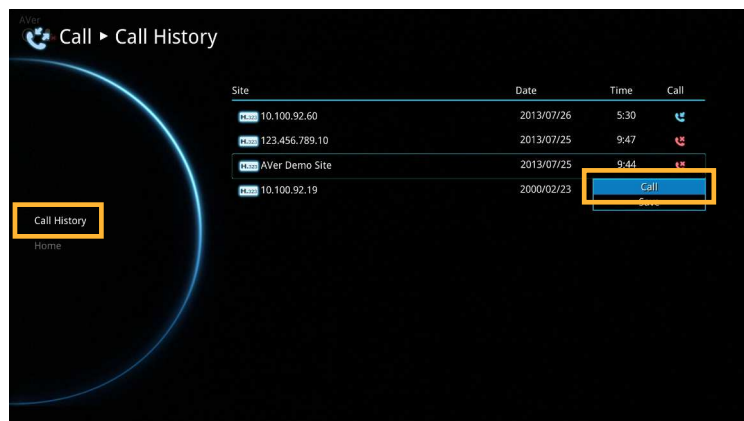
通話履歴から電話をかける



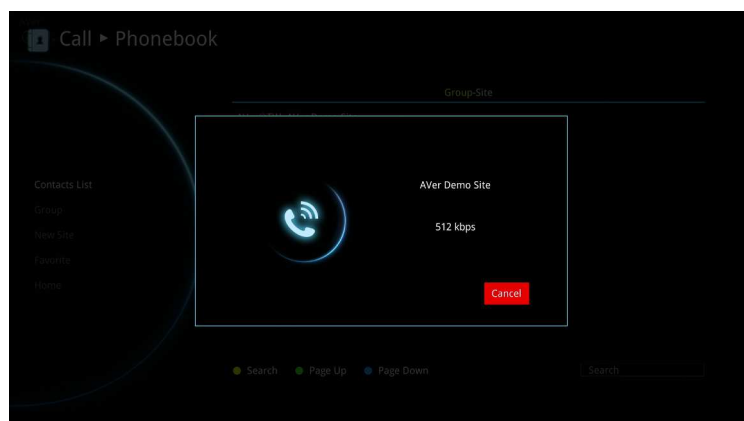
[通話履歴] を選択して  を押します。

 および  ボタンを使用して、選択項目を移動し、通話履歴リスト内で上下にスクロールします。

 を押して [通話] を選択して電話をかけます。





通話が接続されます。




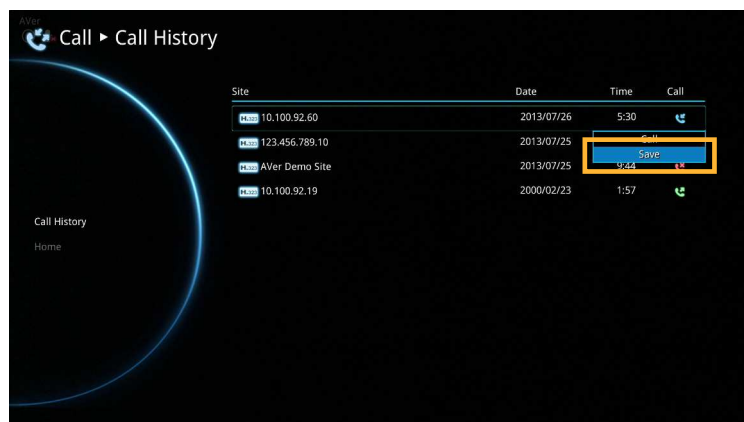
通話履歴から連絡先を作る

通話の着信/発信情報を連絡先リストに保存することもできます。

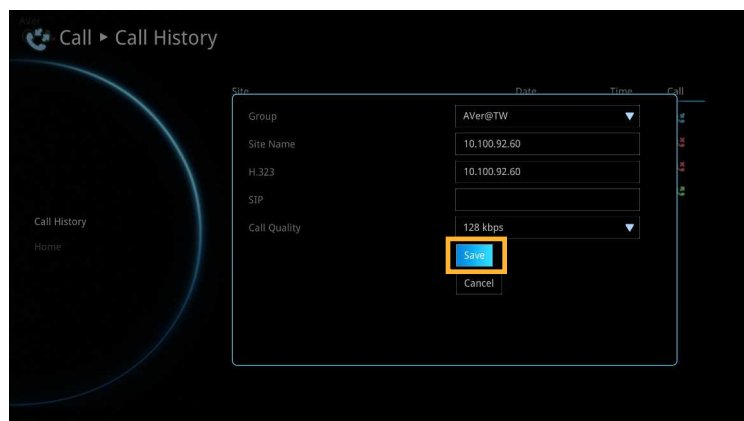
[通話履歴] を選択して  を押します。

 および  ボタンを使用して、選択項目を移動し、通話履歴リスト内で上下にスクロールします。

 を押して [保存する] を選択すると、連絡先編集フォームが表示されます。通話履歴で選択した通話エントリに基づいて、すでにすべての関連情報が連絡先フォームに入力されています。



グループの選択を確認して、[保存する] を選択し、通話エントリを連絡先に保存します。



一般設定


一般設定では、システム設定の変更、システムのテスト、録画された会議ファイルの視聴を行うことができます。




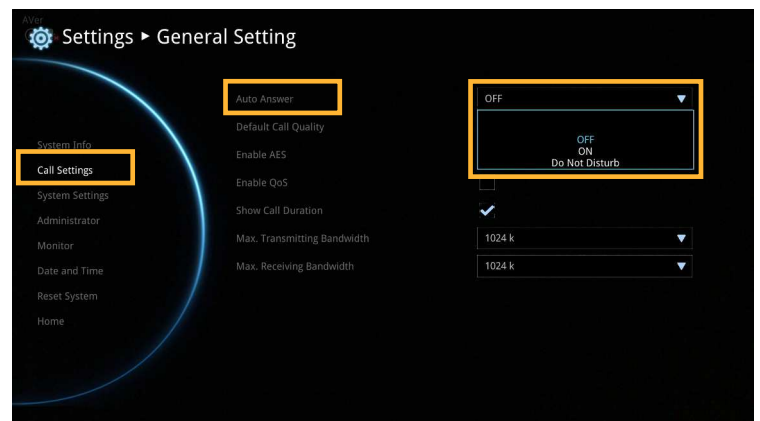
通話設定

通話設定では、通話セッション中に他の人がユーザーを識別できるようにする目的で画面に表示されるシステムのサイト名を入力または変更できます。自動応答を有効または無効に設定したり、デフォルトの通話品質を設定したり、未承認のデータアクセスを防ぐためにデータを暗号化する高度暗号化標準を有効または無効にします。

自動応答

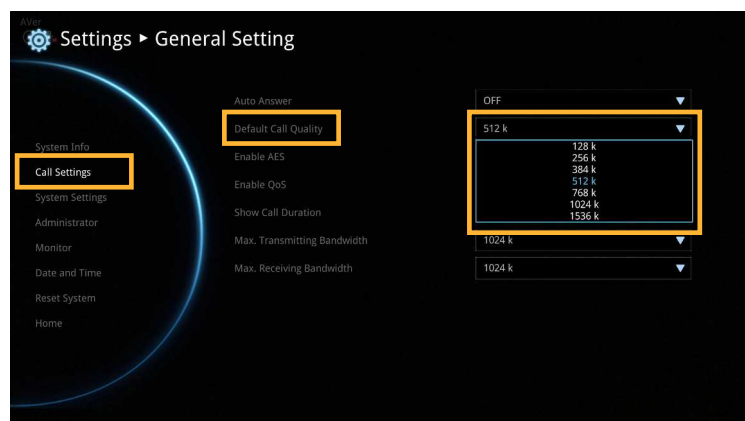
[一般設定] の [通話設定] を選択して  を押します。

[自動応答します] を選択して  を押します。自動応答をオフにするには、[自動応答します] ドロップダウンリストで [オフ] を選択します。自動的に電話に出るには [オン] にし、自動的に着信を拒否するには [ただいま取り込み中] を選択します。すでに会議中の場合は、自動応答がオンになっている場合でも、次の着信を手動で受ける必要があります。



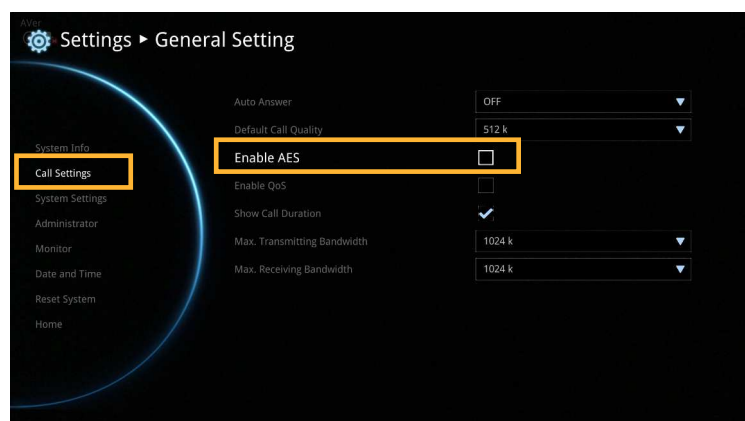
デフォルトの通話品質


EVC メインシステムは、128k、256k、384k、512k、768k、1024k、1536k、1920k、2048k、3072k、4096k の選択項目をデフォルトの通話品質としてサポートしています。デフォルトでは 512k に設定されています。



AES の有効化/無効化


高度暗号化標準 (AES) は、承認されていないデータ アクセスを防ぐためにビデオ会議中に転送されるデータを暗号化します。暗号化されたデータは同様に AES 標準をサポートするデバイスでしか読み取れません。この機能を使用するには通話する両者が AES をサポートしている必要があります。そうでない場合、データは暗号化されません。



[一般設定] の [通話設定] を選択して  を押します。[AES を有効にする] チェックボックスを選択して、この機能をアクティブにします。

☞ この機能は、一部の国では制限されていて使用できない場合があります。

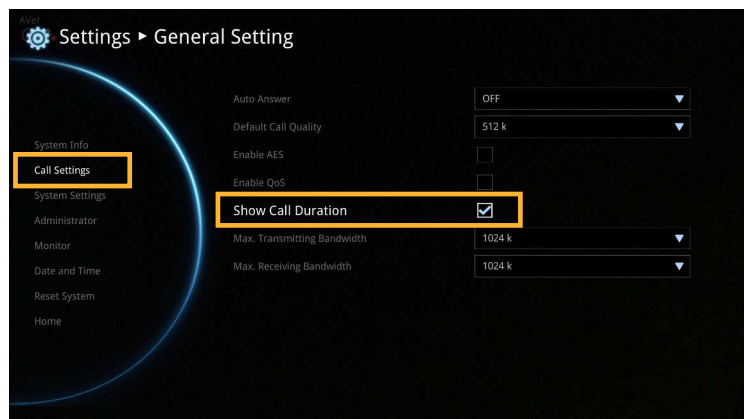
QoS の有効化/無効化

サービス品質 (QoS) は、ビデオ会議データフローで一定レベルのパフォーマンスを保証するために様々な優先データフローを提供します。QoS をアクティブにするには、[一般設定] の [通話設定] を選択して  を押します。[QoS を有効にする] チェックボックスを選択して、この機能をアクティブにします。デフォルトでは、この機能は無効になっています。



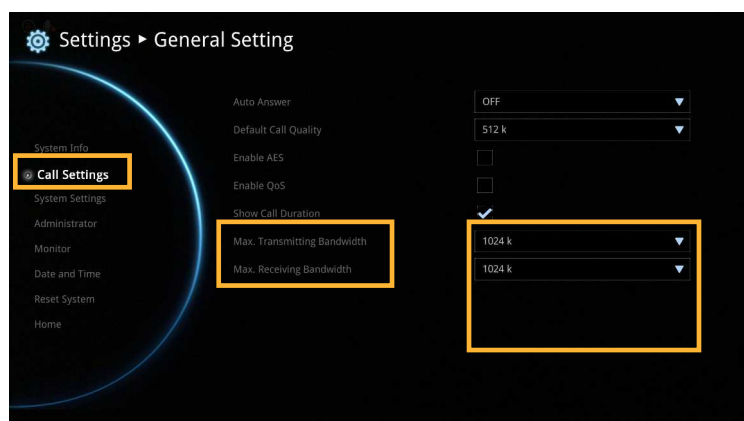
通話時間の表示

通話時間の表示を有効または無効にします。デフォルトでは、この機能は有効になっています。



最大送信/受信帯域幅


送信および受信の通話の最大帯域幅を指定できます。AVer EVC900/EVC300 システムは最大36MBまでサポートします。



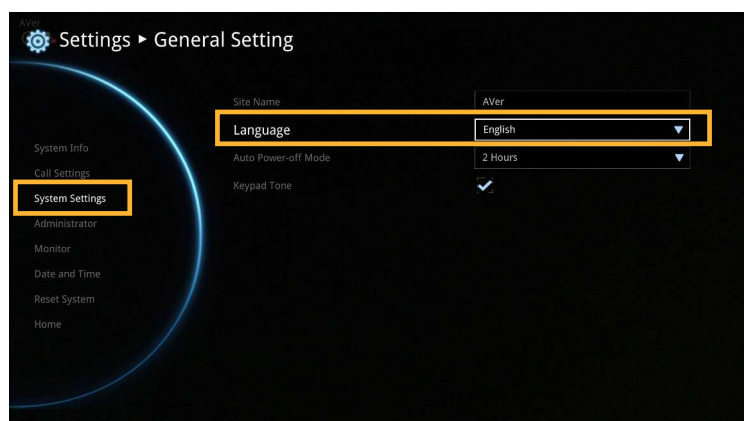
システム設定

システム設定では、メインシステムの言語、自動電源オフの時間、ダイヤル音機能の有効化/無効化を設定できます。

言語

[一般設定] の [システム設定] を選択して  を押します。


EVCメインシステムは22言語をサポートしており、この中から選択できます。ドロップダウンリストから直接言語を選択すると、システムの言語が自動的に、選択した言語に変わります。



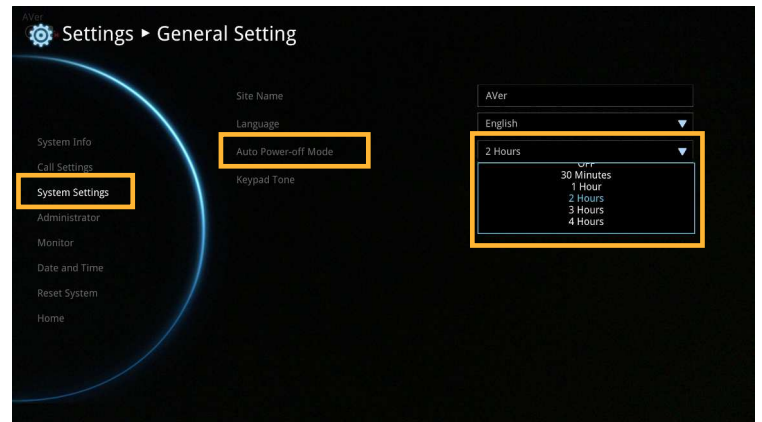
自動電源オフ モード

自動電源オフモードでは、アイドル状態になった後にシステムの電源を自動的にオフにする時間を設定できます。

[一般設定] の [システム設定] を選択して

 を押します。


[自動電源オフ モード] ドロップダウンリストから時間を選択します (オフ/30 分/1 時間/2 時間/3 時間/4 時間)。この機能を無効にするには、[オフ] を選択してください。自動電源オフ時間を設定すると、システムは完全にオフにされます。システムをオンにするには、デバイスの電源ボタンをもう一度押す必要があります。



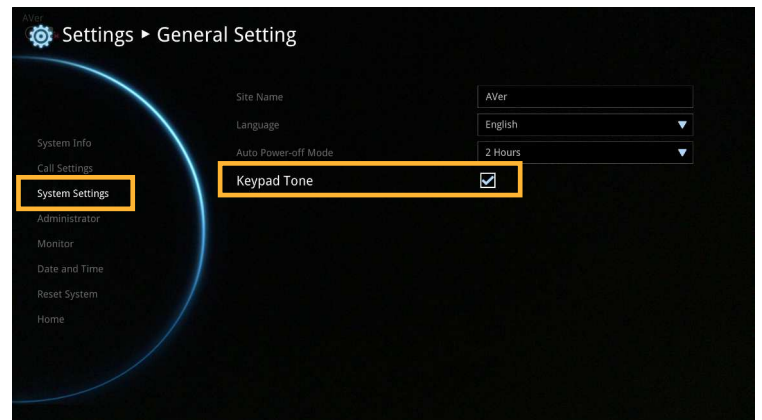
ダイヤル音

ダイヤル音設定では、リモコンを使用して数字をダイヤルするときのトーン音を有効または無効にできます。

[一般設定] の [システム設定] を選択して


 を押します。

トーン音を有効にするには、[ダイヤル音] チェックボックスをオンにします。デフォルトでは、この機能は有効になっています。

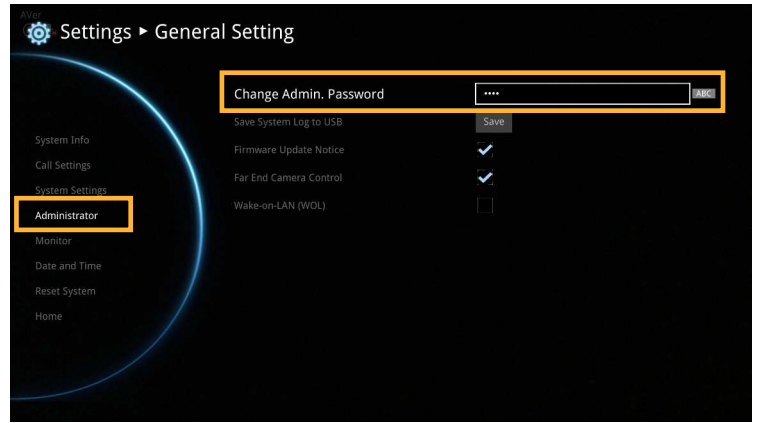


管理者

アドミン(管理者)パスワードの変更

[一般設定] の [アドミン(管理者)] を選択して  を押します。

ここでアドミン(管理者)パスワードを変更できます。



システムログの保存

不明な問題が発生した場合の、トラブルシューティングのためシステムログデータを保存することができます。

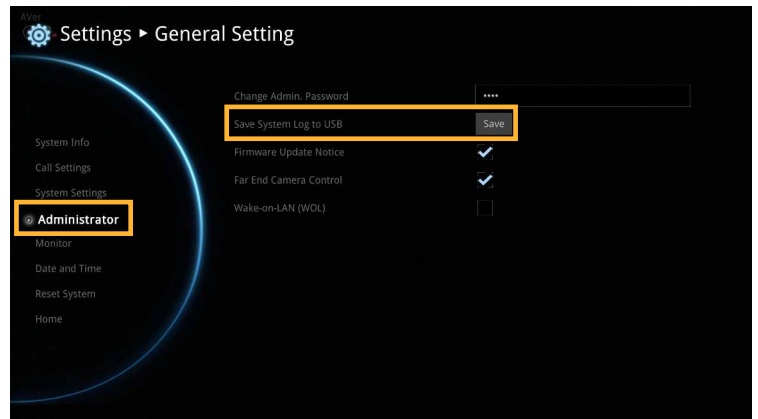
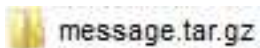
USB メモリーを EVC メインシステムの前面パネルにある USB ポートに挿入します。



[システムログを保存する] の横にある [保存する] を選択して、システムログを USB メモリーに保存します。

ファイルが保存されたら、[OK] を選択します。USB メモリーを取り外して、コンピューターの USB ポートに挿入します。

message.tar.gz ファイルが保存されてログファイルになります。



更新チェック (ファームウェアアップデート通知)

この機能のチェックボックスを選択して、ファームウェアアップデート通知機能を有効にします。デフォルトでは、この機能は有効になっています。



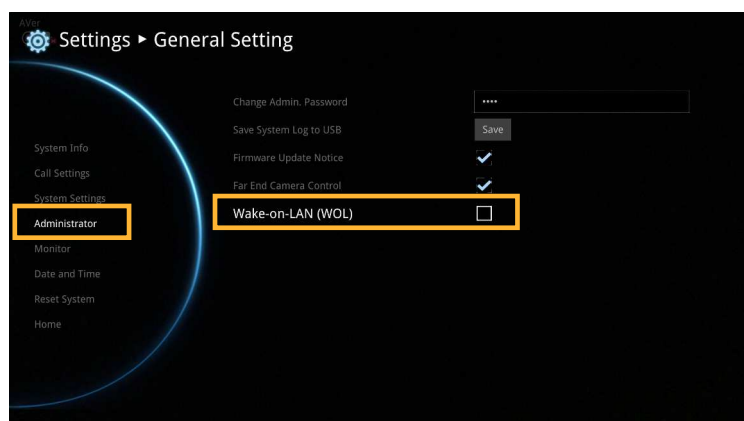
遠隔カメラ コントロール

[カメラの遠隔コントロール] チェックボックスを選択して、遠隔サイトを有効にしてカメラを制御します。デフォルトでは、この機能は有効になっています。




Wake-On-LAN (WOL)

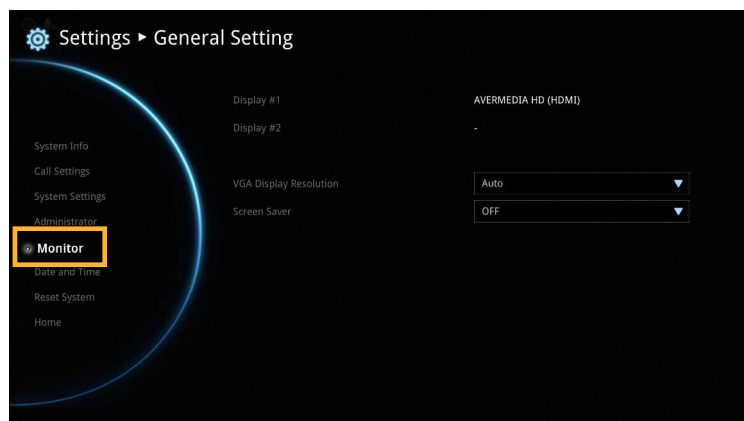
Wake-on-LAN は、ネットワーク メッセージによってコンピューターを起動またはスリープ解除できる、イーサネットコンピューターネットワーク標準です。デフォルトでは、この機能は無効になっています。




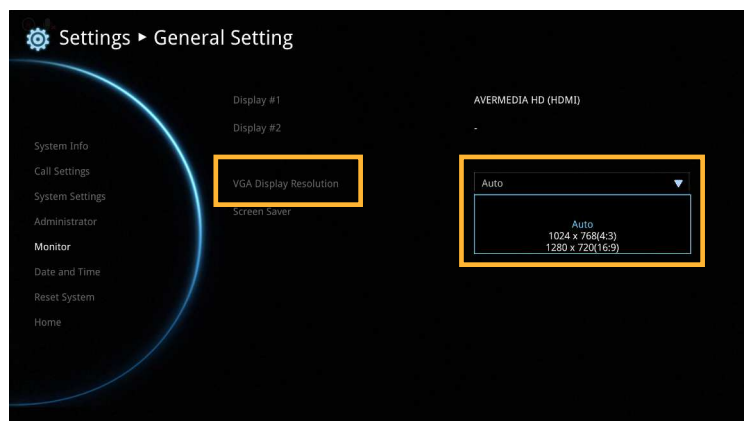
モニター


EVC メインシステムでは、デュアル モニターを接続できます。モニター設定画面では、各モニターに対して [VGA Display Resolution(縦横比)] と [スクリーン セーバー] を設定できます。

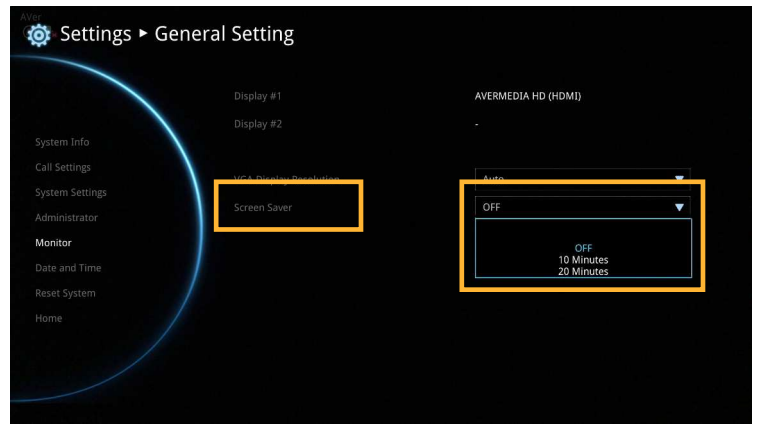
[一般設定] の [モニター] を選択して  を押します。



ドロップダウンリストから目的のモニター縦横比（自動/4:3/16:9）を選択して  を押します。システムが自動的に適切な設定を検出するようにする場合は、[自動] を選択してください。



ドロップダウンリストからスクリーンセーバー時間（オフ/10分/20分/30分/60分）を選択して、 を押します。[オフ] を選択してこの機能を無効にしたり、スタンバイモード時間を定義することもできます。




☞ システムがスタンバイモードに入ると、画面が黒になります。リモコンで任意のボタンを押して、システムをウェイクアップさせてください。

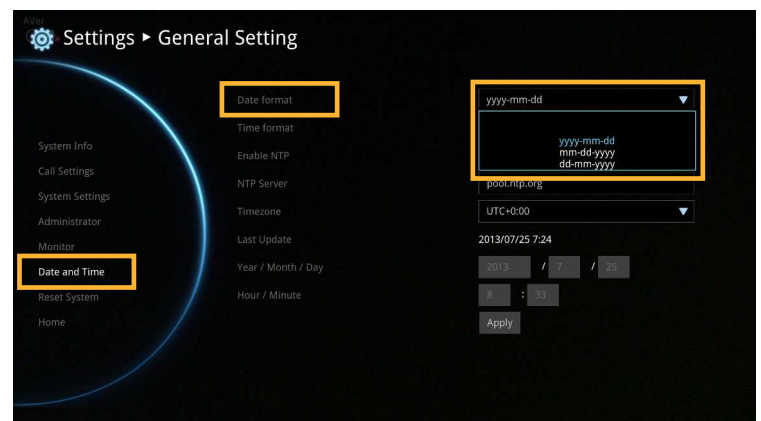
日付と時刻

日時設定では、日時形式の設定、時刻設定の調整、世界および国のタイムゾーンの設定を行うことができます。

日付の書式

[一般設定] の [日付と時刻] を選択して  を押します。

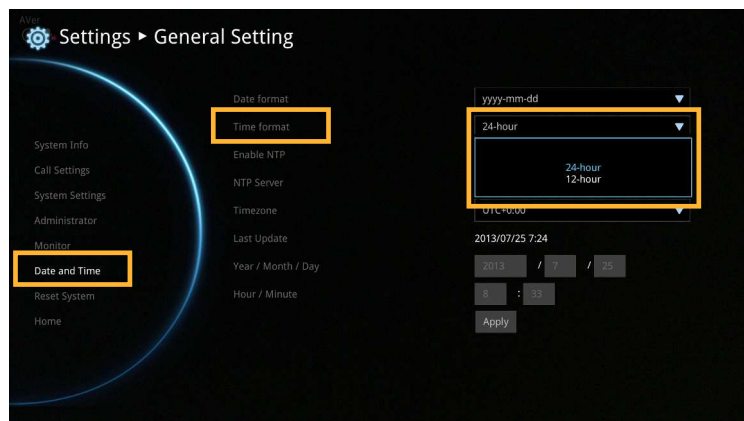
ドロップダウンリストから目的の日付形式（yyyy-mm-dd/ mm-dd-yyyy/dd-mm-yyyy）を選択します。



時刻の書式

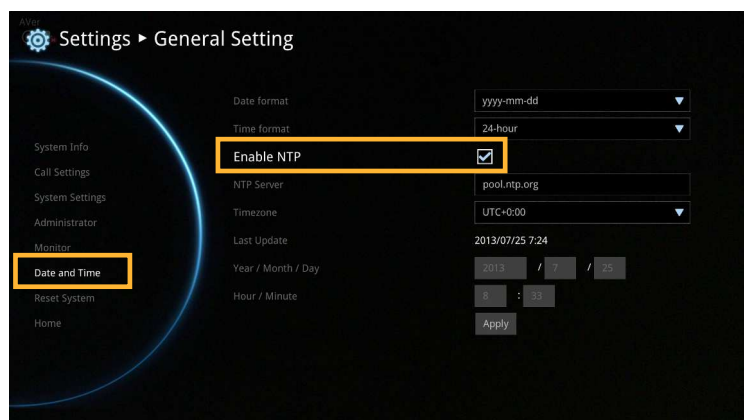
[一般設定] の [日付と時刻] を選択して
⏪ を押します。

ドロップダウンリストから目的の時刻の書式
(24 時間/12 時間) を選択します。



Enable NTP (NTP を有効にする)

ネットワークタイムプロトコル (NTP) は、コンピュータのネットワークでコンピュータクロック時刻を同期するために使用されるプロトコルです。[Enable NTP (NTP を有効にする)] チェックボックスを選択して、コンピュータ時刻をネットワーク時刻と同じにします。



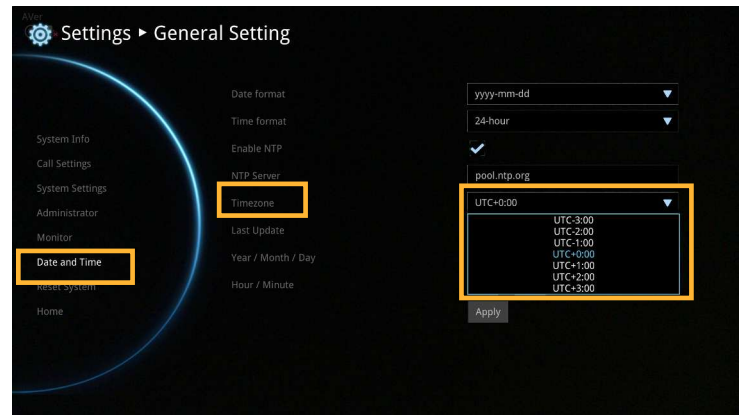
NTP Server (サーバー)

ネットワークタイムプロトコル (NTP) により、管理者はすべてのネットワーク コンピューターをメインサーバーと同期できます。これにより、すべてのネットワーク機器クロックを同じ時刻に保つことができます。使用する NTP サーバー名を入力します。



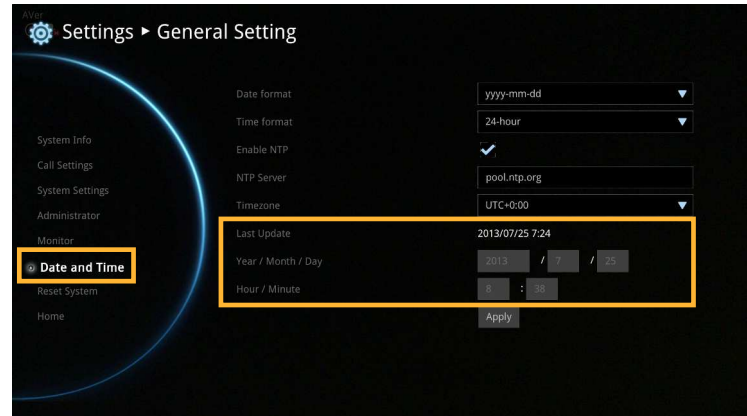
Timezone (タイムゾーン)

別の国または地域にいるときに、タイムゾーンを利用して、元の地域と同じ時刻を保つように調整できます。大陸上のほとんどのタイムゾーンは、協定世界時（UTC）からのオフセットの整数時間（UTC-12 から UTC+14）です。

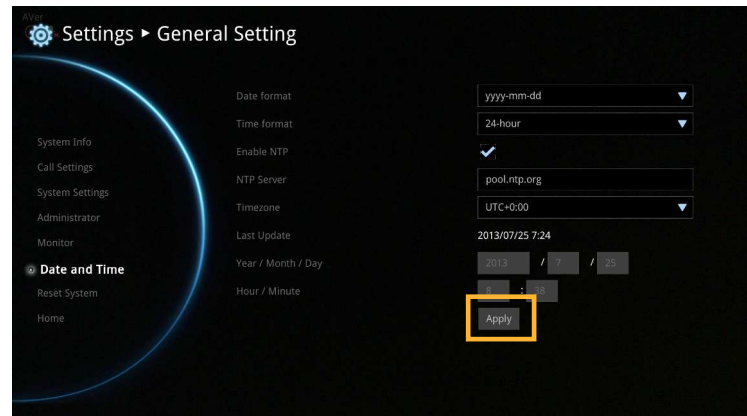


年/月/日

現在のシステムに表示させる年、月、日、時、分を含む日時を入力します。

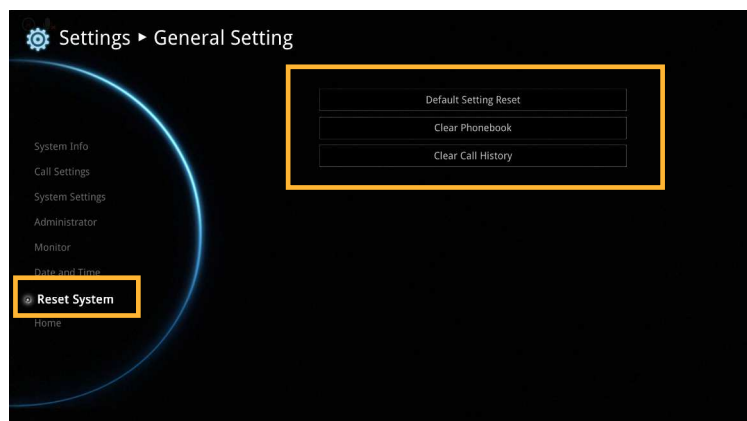


[適用] を選択して、設定をアクティブにします。

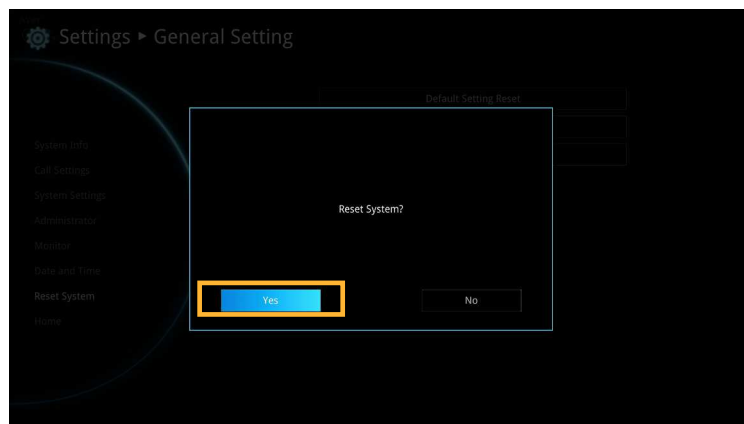


システムのリセット

システムのリセットでは、メインシステムを工場出荷時の設定にリセットできます。これにより、電話帳のエントリと通話履歴がクリアされます。システムをリセットする前に必ず情報をバックアップしてください。

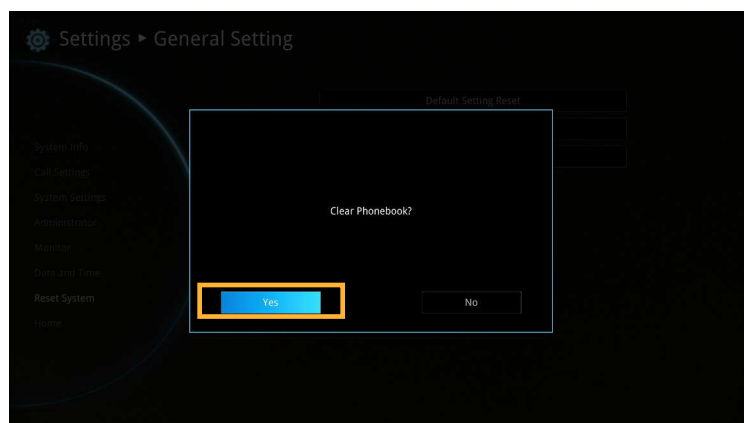


デフォルト設定へのリセット:LAN 設定、ビデオ/オーディオコーデック選択、通話設定などがリセットされます。[はい] をクリックして、システムを工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

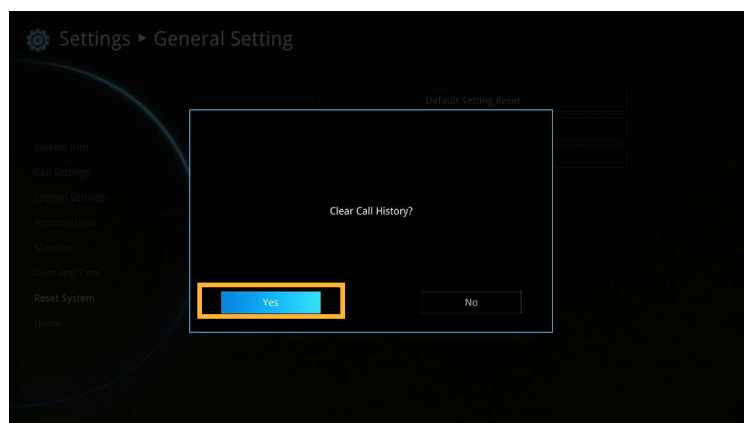


電話帳の削除:システムに保存されているすべての電話帳エントリが削除されます。

[はい] をクリックして、電話帳のすべての内容を削除します。



通話履歴の削除:すべての着信および発信の通話記録が削除されます。[はい] をクリックして、通話履歴のすべての通話情報を削除します。



ビデオ/オーディオ

ビデオ/オーディオ設定画面では、MIC ゲインレベルの設定、優先ビデオおよびオーディオコーデックの選択、カメラ機能の調整を行うことができます。




カメラ

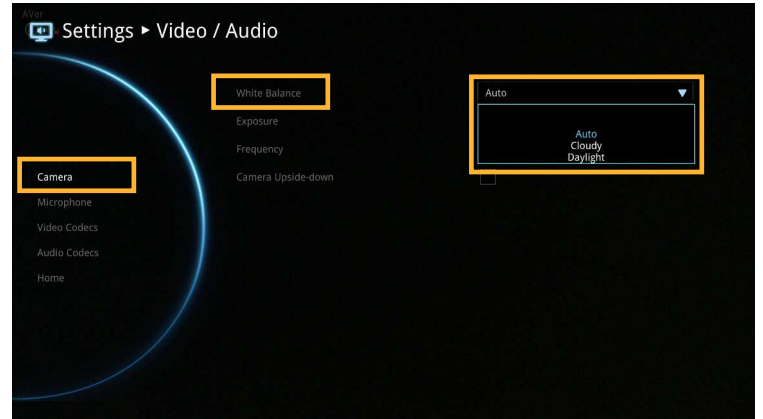
カメラ設定では、カメラのホワイトバランス、露出、周波数を設定できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスは、写真で白い対象物が白くなるように照明を調節するカメラ設定です。

[ビデオ/オーディオ] の [カメラ] を選択して  を押します。

ドロップダウンリストから [ホワイトバランス] を選択します。EVC メインシステムは 5 種類をサポートしており、この中から選択できます。



自動:ほとんどのカメラで、自動ホワイトバランスがデフォルトで設定されています。これは、白い対象物を明るい白にし、他のすべての色とマッチするように修正します。

曇天:曇っている日には、[自動] ではなく、[曇天] ホワイトバランス設定を使用できます。これにより、カメラが影の青みを補正し、実際に見える風景により近くなるように景色を調整します。

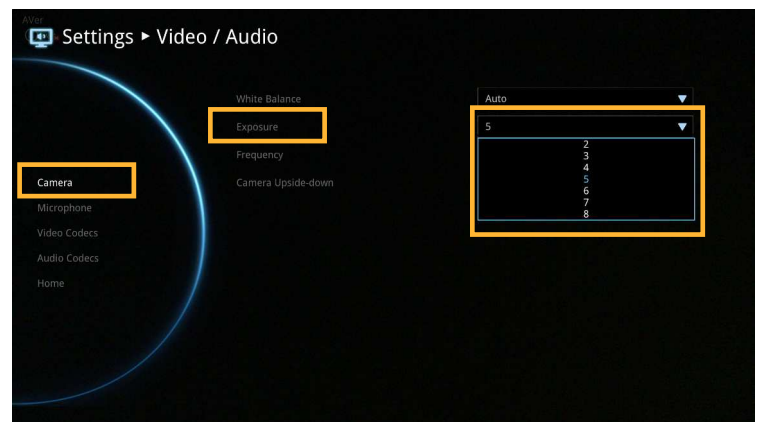
晴天:曇りの日には青みがかった画像になってしまうため、非常に明るい日差しの中で撮影するときのみ [晴天] 設定を使用できます。

蛍光灯:[蛍光灯] 設定を使用すると、緑または青の色合いがなくなります。人間の肌の色が青白くなる場合があります。

タングステン:この設定は、3,200k の色温度を想定し、通常黄色の光を放つほとんどのタングステン電球に最適です。これは、一般に、同じ色合いの修正に使用されます。

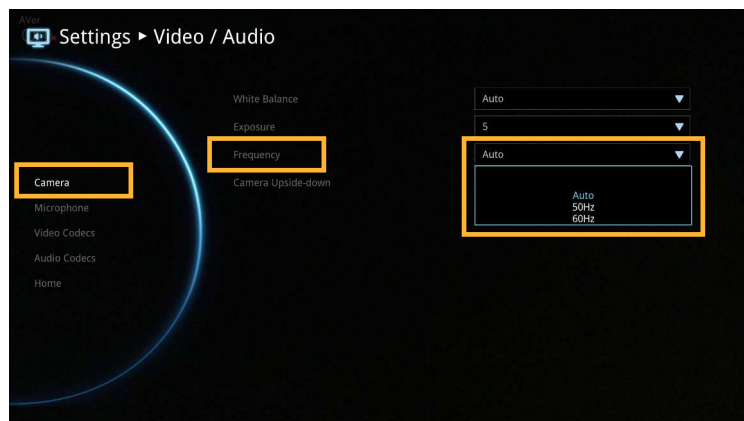
露出

写真の露出は、カメラで撮影したときに画像をどれくらい明るくまたは暗くするかを決定します。目的の露出レベルを 1~9 または [自動] から選択します。



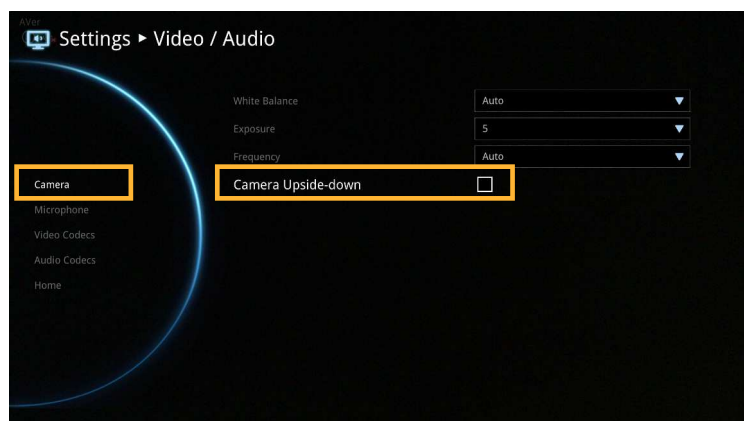
周波数

[周波数] ドロップダウン リストから、正しい周波数設定（自動/50Hz/60Hz/オフ）を選択します。



Camera Upside-down(カメラ上下反転)


[Camera Upside-down(カメラの上下反転)] を有効にして、カメラが逆さまの状態では設置されたときに画像の表示を反転させます。



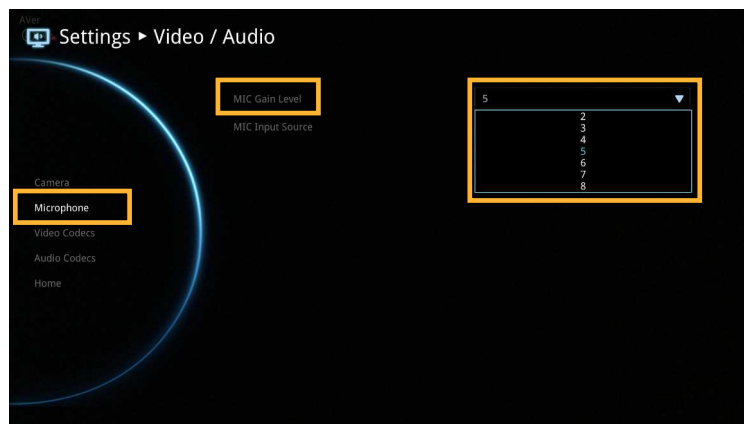
マイク

EVC メインシステムでは、マイクでのオーディオの受信を改善するために、適切なマイク音量として [マイクゲインレベル] を最大 9 までに設定できます。

マイクゲインレベル

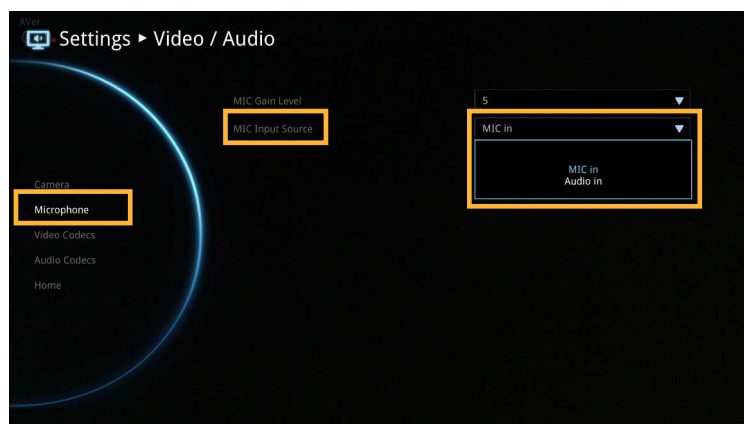
[ビデオ/オーディオ] の [マイク] を選択して  を押します。

ドロップダウンリストから [マイクゲインレベル] を選択します。




マイクスルー

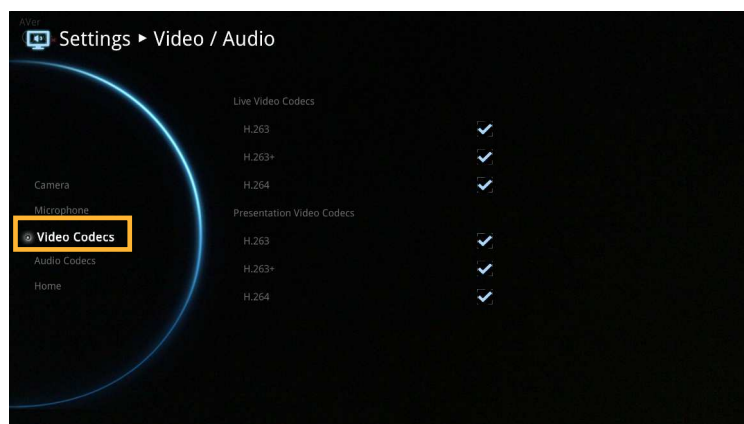
マイクのソースとしてマイク入力またはオーディオ入力を選択します。マイクを AUDIO IN ポートに接続する場合は、エコー問題を避けるために [自動] を選択することをお勧めします。



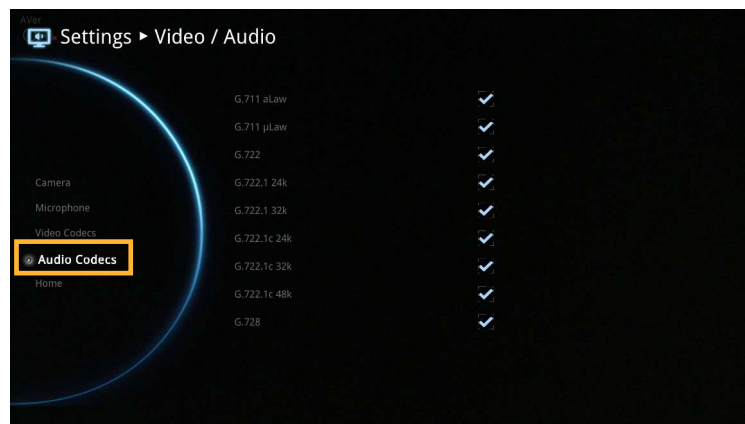
ビデオ/オーディオコーデック

ビデオコーデックおよびオーディオコーデック設定画面で、[ビデオ/オーディオコーデック] を指定できます。

ビデオコーデック設定の場合は [ビデオ/オーディオ] の [ビデオコーデック] を、オーディオコーデック設定の場合は [ビデオ/オーディオ] の [オーディオコーデック] を選択して、 を押します。



[ビデオ/オーディオコーデック] を選択して、サポートするコーデックを指定します。AVer EVC は H. 323 標準コーディングアルゴリズムをサポートしていますが、各コーデックには固有のプロパティがあり、一定の状況において最善のパフォーマンスを発揮します。



ビデオ:H. 264、H. 263+、H. 263

オーディオ:G. 728、G. 722. 1C、G. 722. 1、G. 722、G. 711

☞ これらのコーデックについて質問がある場合は、システム管理者に問い合わせてください。


ネットワーク

ネットワーク設定では、[SIP サーバー]、[ゲートキーパー]、[ファイアウォール]、および [LAN 構成] を設定できます。ネットワークとファイアウォールを設定する前に、69 ページの「LAN 接続のシナリオ」を参照して、実際のネットワーク接続シナリオの説明に従ってください。

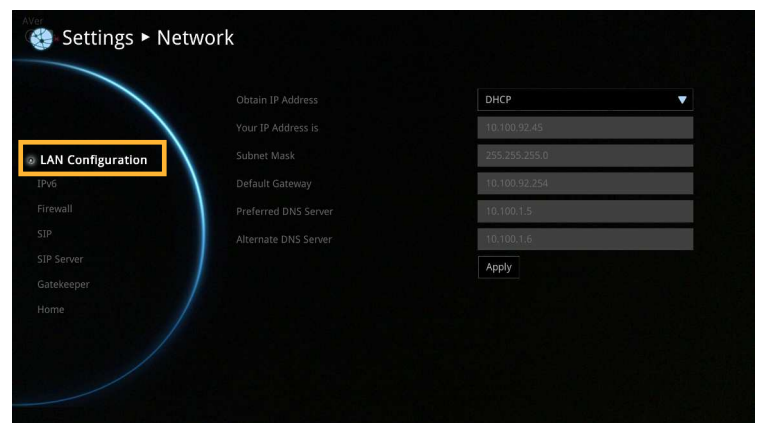


LAN 構成

AVer EVC は、お使いの設定で IPv4 および IPv6 インターネットプロトコルをサポートします。IPv4 は、デバイスをインターネットに接続するために使用される、最も広く普及しているインターネットプロトコルです。IPv4 は、ピリオドで区切られた 4 つの 10 進数の数字で書かれている 32 ビットのアドレススキームを使用します。それぞれの数字は、ゼロから 255 までです。例えば、192.168.0.1 のような IP アドレスになります。

[ネットワーク] の [LAN 構成] を選択して  を押します。

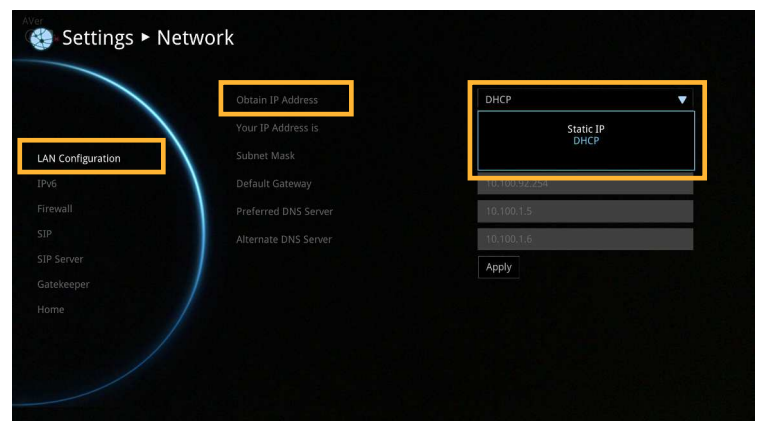
以下の関連項目を設定して、LAN 設定を行います。



IP アドレスの取得

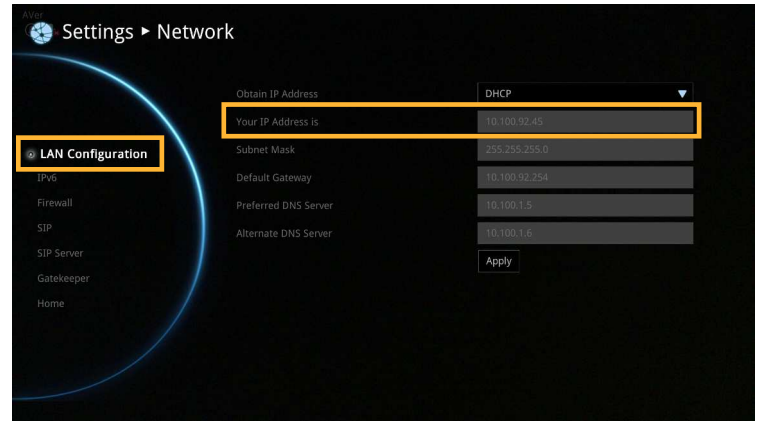
DHCP: DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するようにシステムを設定します。

固定 IP: 割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。



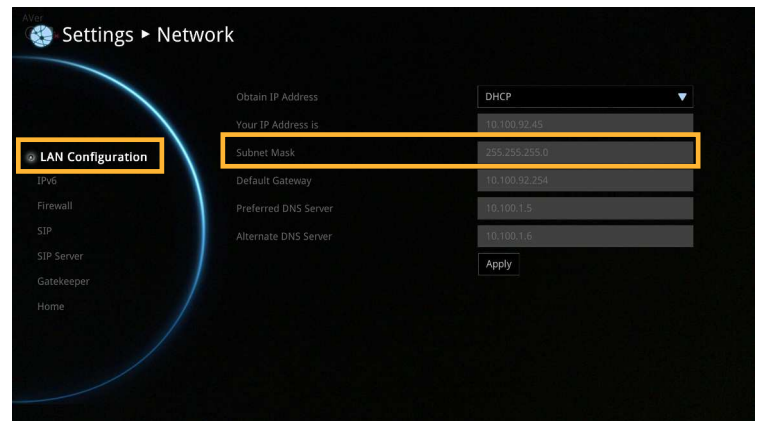
あなたの IP アドレス

現在の IP アドレスを表示します。IP アドレスを手動で設定する必要があるときは入力します。



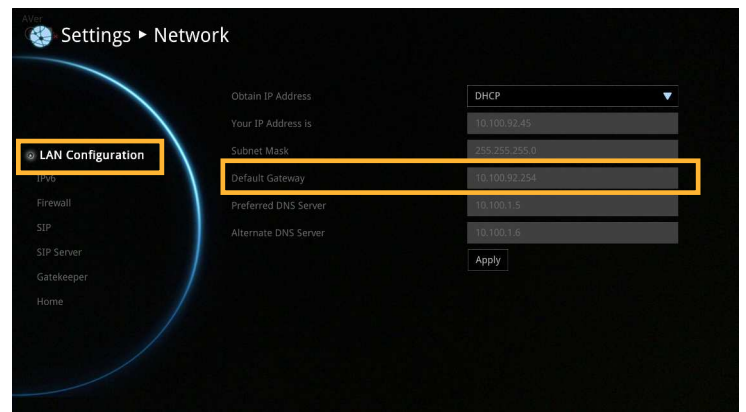
サブネットマスク

指定された IP アドレスルーティングプレフィックスを表示します。システムが自動的にサブネットマスクを取得しない場合は、サブネットマスクアドレスを入力します。



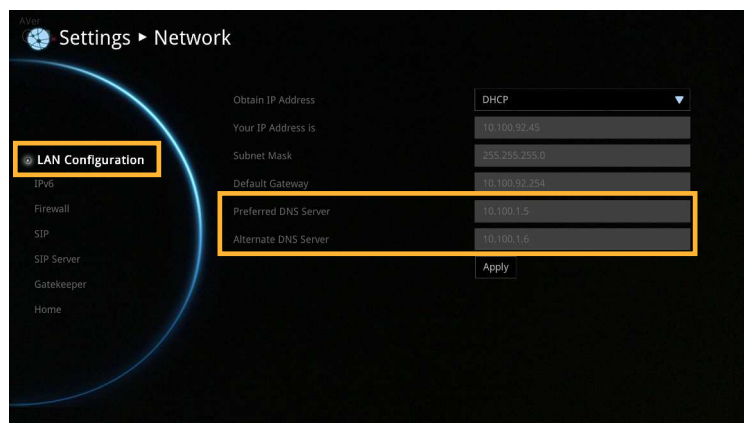
デフォルトのゲートウェイ

ゲートウェイとは、別のネットワークへの入口としての役割を果たすネットワークポイントです。システムが自動的にゲートウェイを取得しない場合は、ゲートウェイアドレスを入力します。

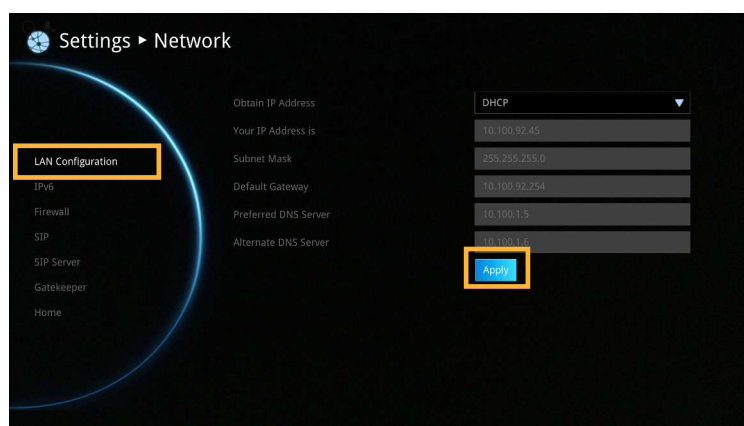


優先/代替 DNS サーバー

ドメインネームシステム (DNS) サーバーは、人間にわかりやすい名前 (例: `www.example.com`) を、ネットワーク上で機器を識別できるようにする IP アドレス (218.77.272.166) に変換します。優先 DNS サーバーは、お使いのコンピューターが最初に問い合わせるサーバーです。代替サーバーはバックアップです。優先および代替 DNS サーバーアドレスを入力します。




すべての設定を終了したら、[適用] を選択して、変更された設定をアクティブにします。

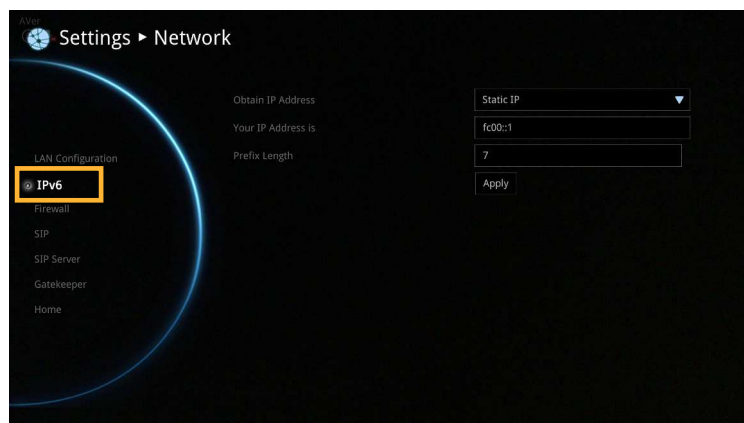


IPv6

IPv6 は、インターネットプロトコルの革命的なアップグレードです。IPv6 はしばらくは以前の IPv4 と共存します。IPv6 アドレスは、コロンで区切られた 16 進表記の 128 ビット IP アドレスです。例えば、IPv6 アドレスは `300E:1389:3030:72EB:1D71:414B:1079:6AF3` のような表記になります。一部の種類のアドレスには、圧縮できる長い連続するゼロが含まれます (アドレス `fc00:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0001` は `fc00::1` に圧縮できます)。

[ネットワーク] の [IPv6] を選択して  を押します。

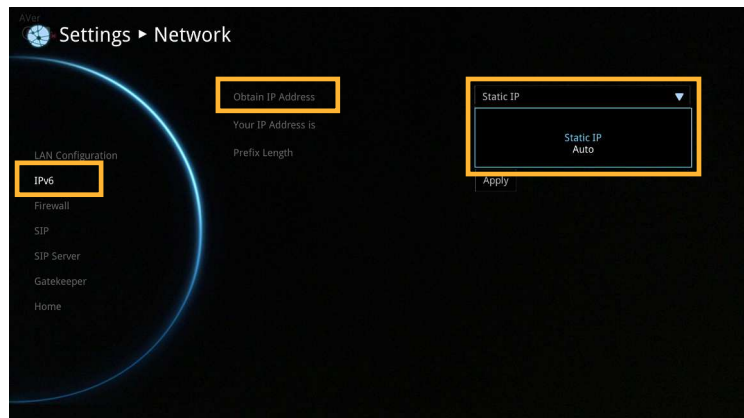
以下の関連項目を設定して、IPv6 の設定を行います。



IP アドレスを取得する

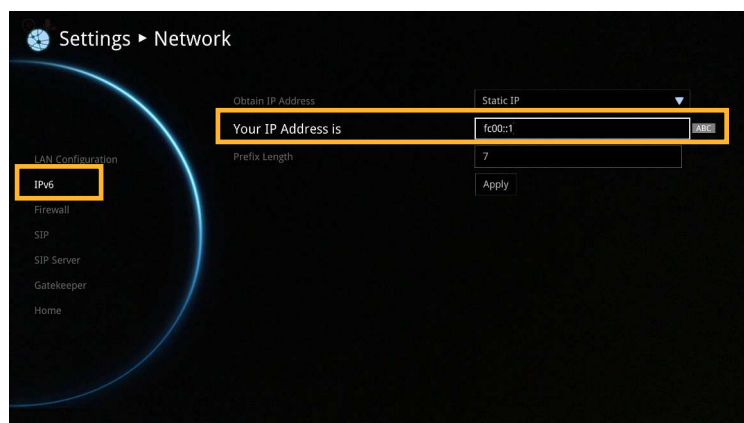
固定 IP:割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。

自動:動的 IP アドレスを自動的に取得します。



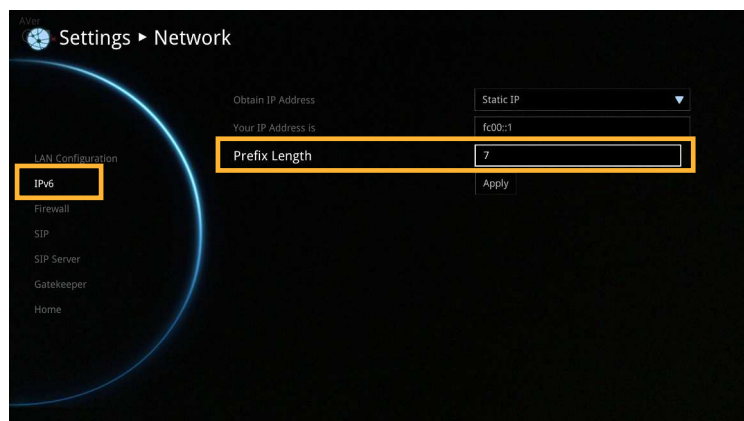
あなたの IP アドレス

現在の IP アドレスを表示します。IP アドレスを手動で設定する必要があるときは入力します。

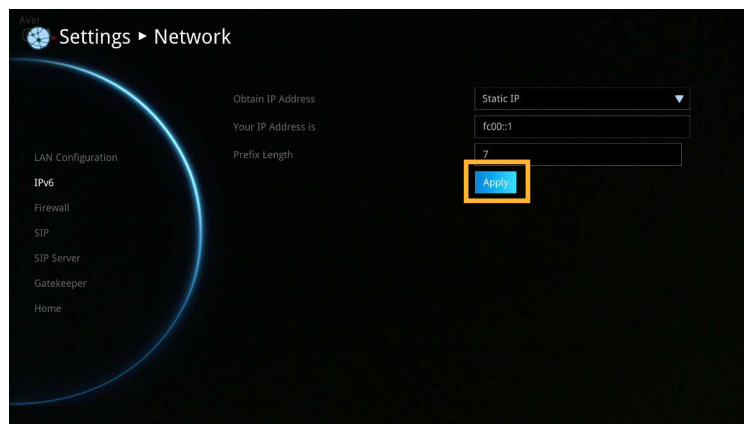


プレフィックス長

プレフィックス長により、基盤のネットワークメディアで許容される限りの IPv6 デバイスを配置できます。




すべての設定を終了したら、[適用] を選択して、変更された設定をアクティブにします。

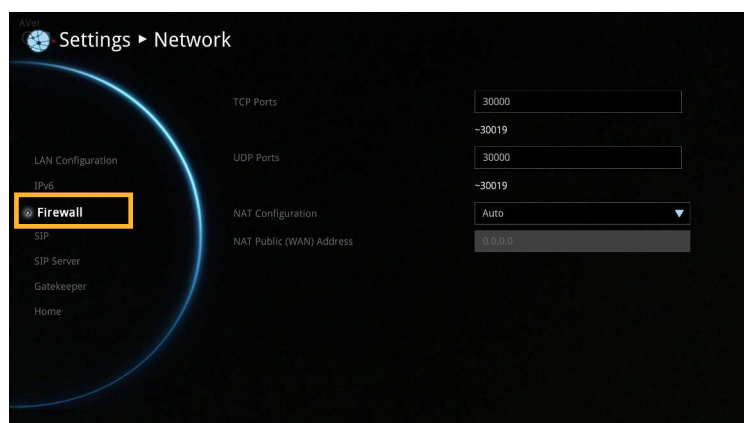


ファイアウォール

以下の項目を設定して、ファイアウォールをセットアップします。

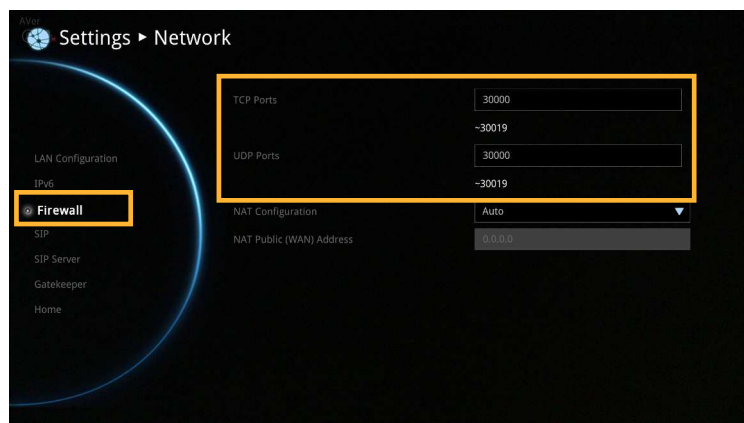
[ネットワーク] の [ファイアウォール] を選択して  を押します。

以下の関連項目を設定して、ファイアウォールをセットアップします。



TCP/UDP ポート

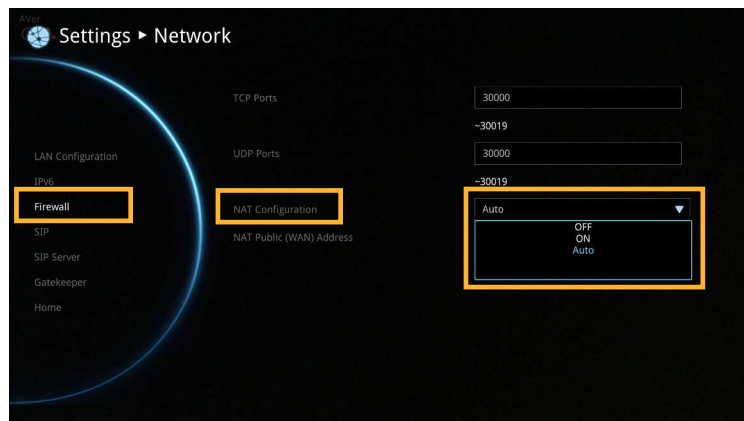
デフォルトで、システムは 30000 から 30299 の範囲で TCP/UDP ポートを通信します。特定のネットワーク環境の範囲を指定できます。



🔗 H. 323 通話セットアップとして、TCP ポート 1720/1719 経由での着信/発信トラフィックが可能になるようにファイアウォールを設定する必要があります。

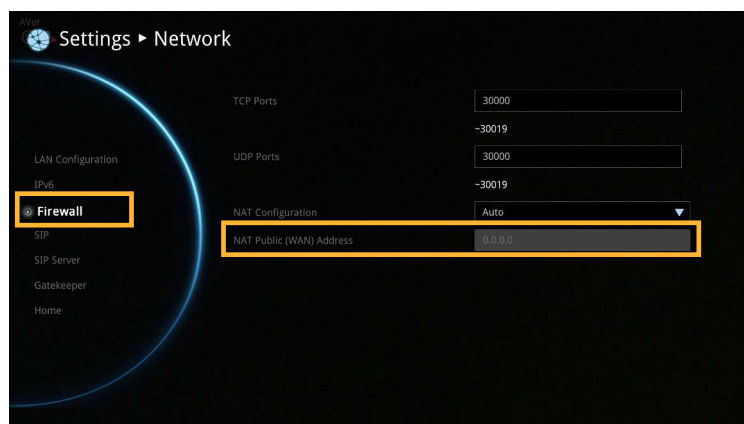
NAT 設定

AVer EVC は、内部 IP アドレスを使用して LAN 外部の他のデバイスと通信する NAT システムをサポートします。




NAT Public (WAN) アドレス

NAT Public アドレスは、NAT 設定でこの機能を有効にする場合に入力する必要があります。

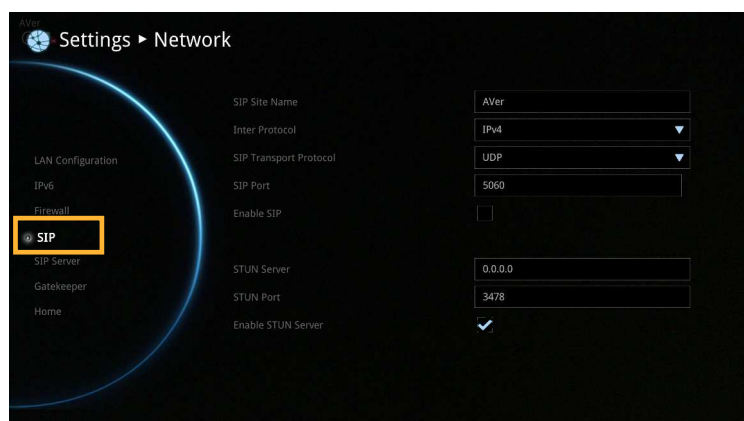


SIP

セッション開始プロトコル (SIP) により、インターネットを介して対応デバイスを使用して世界中で通信を行うことができます。

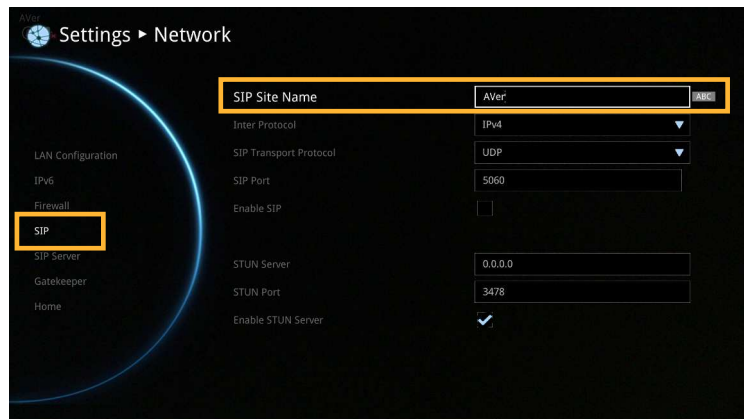
[ネットワーク] の [SIP] を選択して  を押します。

以下の関連項目を設定して、SIP をセットアップします。



SIP サイト名

他のユーザーが識別できるようにするための SIP サイト名を入力します。SIP サイト名はウェブアクティビティのドメインと同じものでも異なるものでも構いません。



Internet Protocol (インターネットプロトコル)

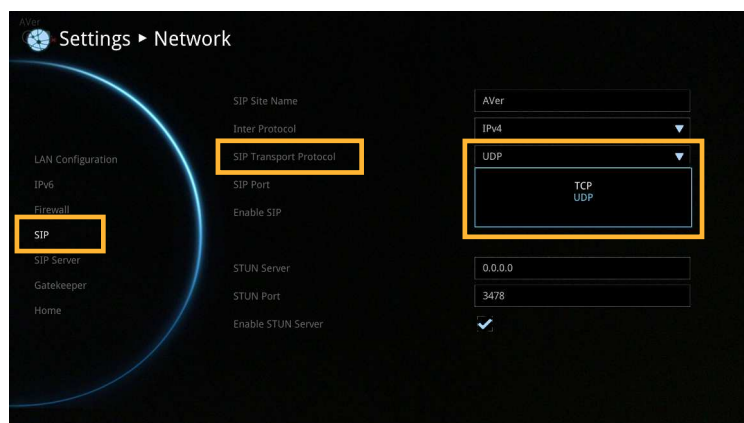
IPv4 または IPv6 プロトコルの使用を有効にするには、インターネットプロトコルのチェックボックスを選択します。

SIP トランスポートプロトコル

ドロップダウンリストから、使用する SIP トランスポートタイプを選択します。インターネットプロトコル (IP) トラフィックには 2 つのタイプがあります。伝送制御プロトコル (TCP) とユーザーデータグラムプロトコル (UDP) です。適切な接続を確保するために、通信を行う両者が同じトランスポートプロトコルを使用しているかどうか確認してください。デフォルトでは UDP に設定されています。

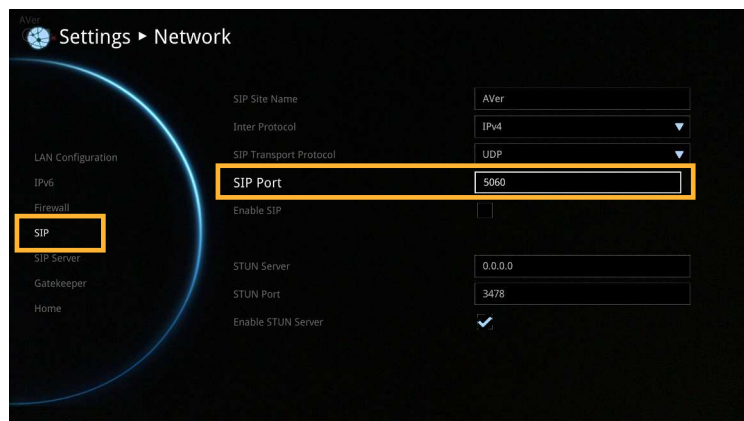
TCP: TCP はコネクション型のプロトコルです。接続が確立されると、データは双方向に送信できます。

UDP: UDP の動作は TCP よりシンプルで、コネクションレス型のインターネットプロトコルです。複数のメッセージが、UDP を使用してパケットとしてまとめられて送信されます。




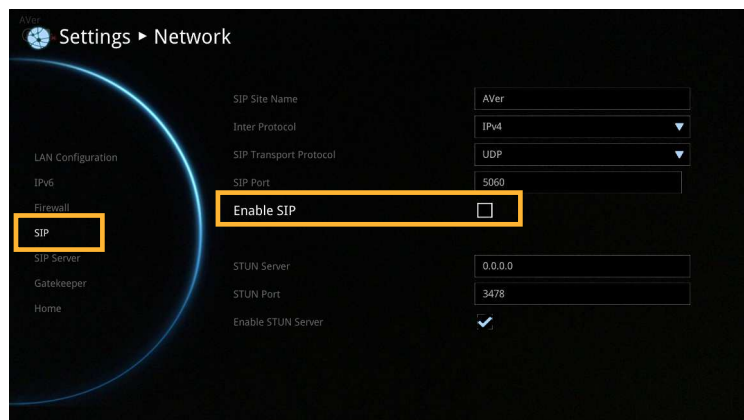
SIP ポート

この値は、お使いのネットワークシステムで特定の設定を使用する場合のみ変更してください。デフォルトでは、SIP ポートは 5060 に設定されます。



SIP を有効にする

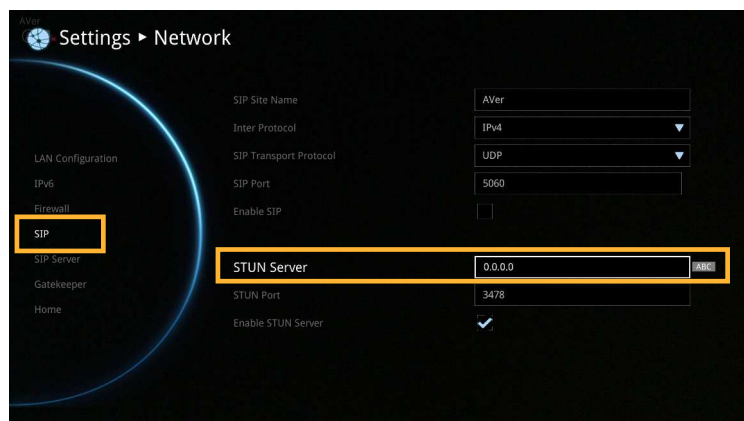
[SIP を有効にする] チェックボックスを選択して、 を押して SIP の使用をアクティブ/非アクティブにします。



STUN Server (STUN サーバー)

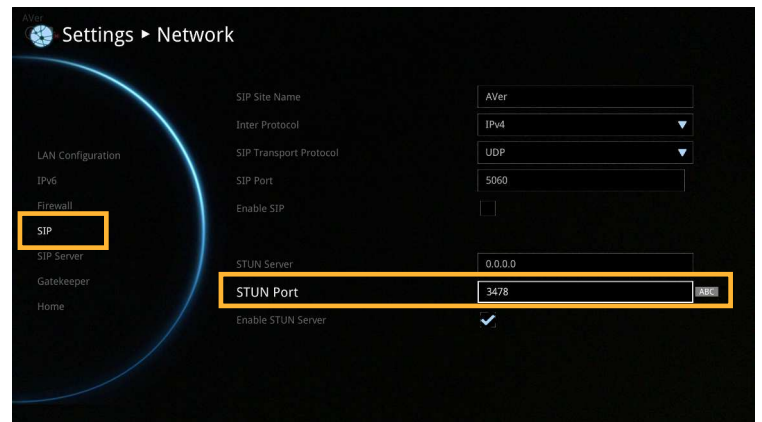
STUN (NAT 向けセッショントラバーサルユーティリティ) は、標準化された一連のメソッドで、エンドホストが NAT の外側にある場合にパブリック IP アドレスを検出できるようにするネットワーク プロトコルです。

SIP NAT トラバーサルサーバーの IP アドレスを入力します。



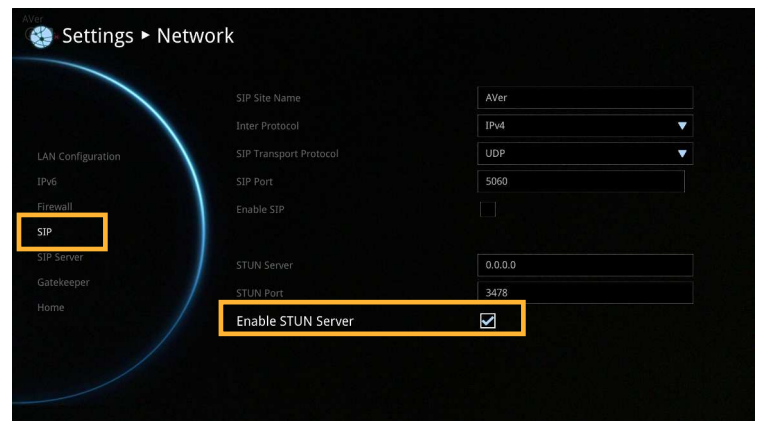
SIP Port (SIP ポート)

STUN サーバーのポート番号を入力します。




Enable STUN Server (STUN サーバーを有効にする)

STUN サーバーの機能を有効にするには、これをオンにします。

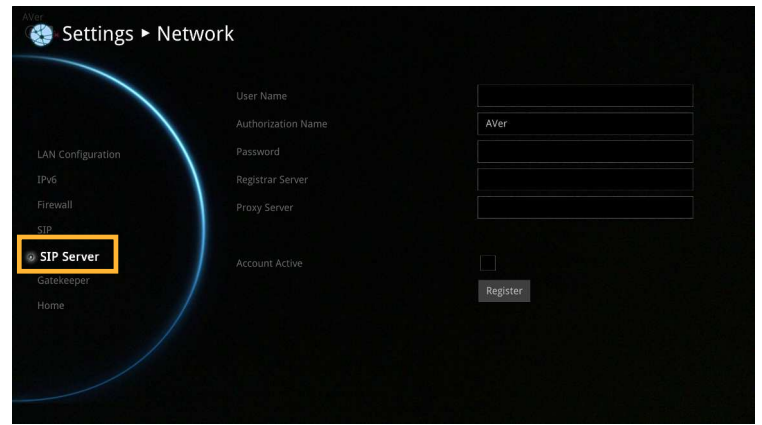


SIP SERVER (SIP サーバー)


通常の SIP セッションでは、クライアントが SIP サーバーに対してセッションをリクエストします。リクエストを受信すると、SIP サーバーはユーザーにレスポンスを返し、セッションが利用可能であるかどうかを示します。

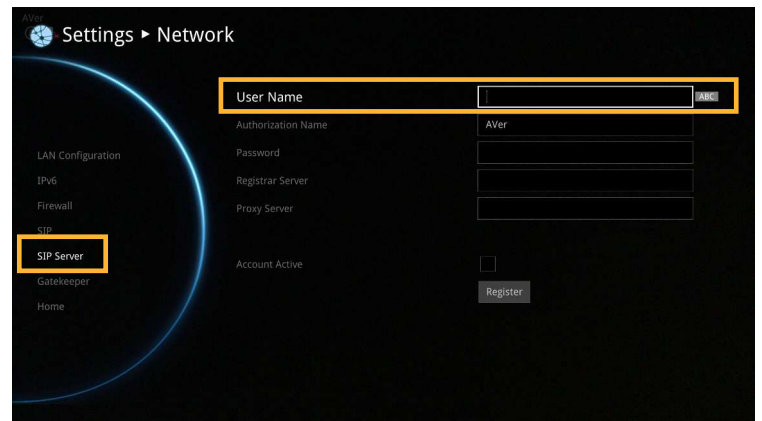
[ネットワーク] の [SIP サーバー] を選択して  を押します。

以下の関連項目を設定して、サーバーをセットアップします。




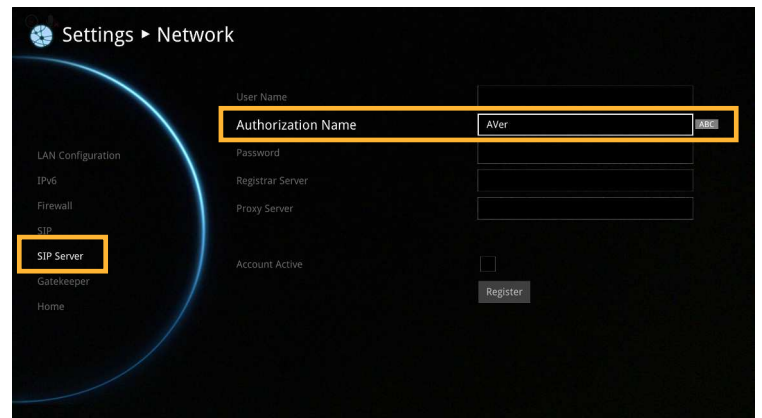
User Name (ユーザー名)

[User Name(ユーザー名)] を選択して  を押し、ユーザー名を入力します。




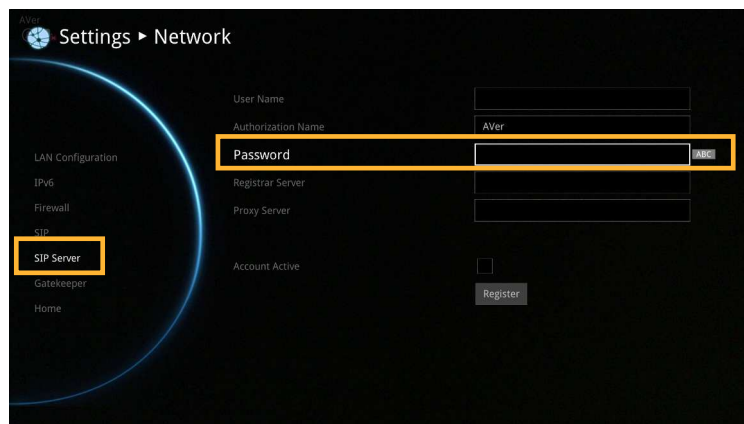
Authorization Name (認証名)

[Authorization Name(認証名)] を選択して  を押し、認証名を入力します。



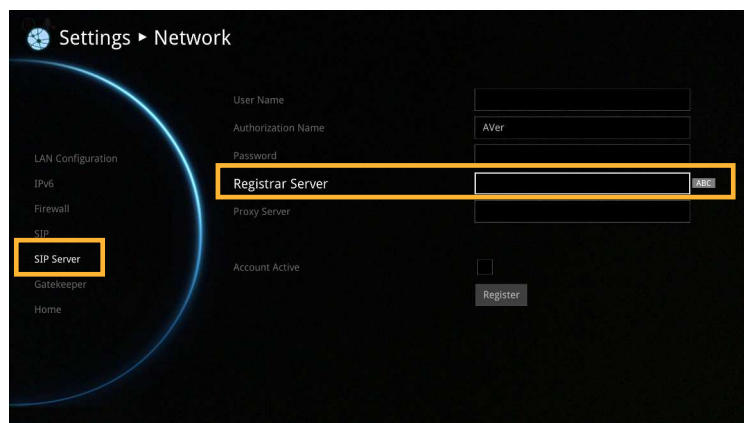
パスワード

[パスワード] を選択して  を押し、使用するパスワードを入力します。



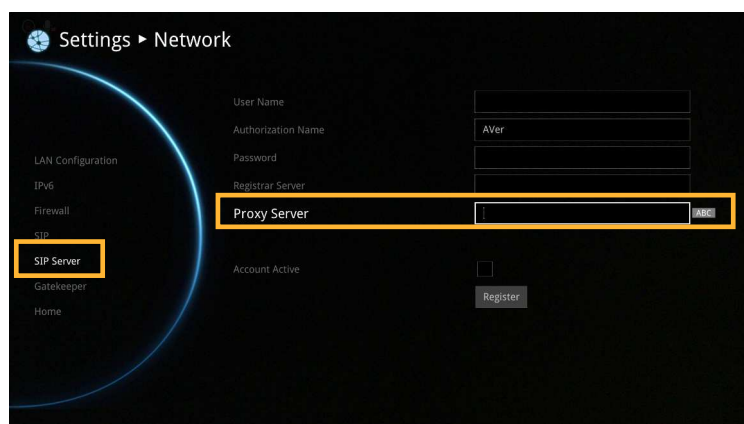
レジストラサーバー

レジストラサーバーはユーザーからの登録を受け取り、ロケーションサービスとして知られるデータベースにこれらの登録情報（基本的にはロケーション情報）を入れます。使用するレジストラサーバー名を入力します。




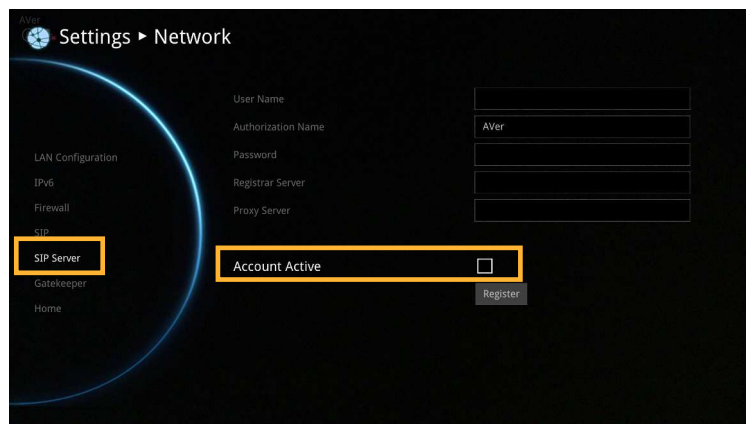
プロキシサーバー

プロキシサーバーは、通信ネットワーク内においてデータ処理デバイスとその他のデバイスとの間のインターフェイスとなるコンピューティングデバイス（通常はサーバー）です。これらのデバイスは同一のローカルエリアネットワーク上または外部ネットワークにあります。プロキシサーバー名を入力します。




Account Active (アカウントアクティブ)

[Account Active (アカウントアクティブ)] チェックボックスを選択して、 を押し、レジストラの使用をアクティブ/非アクティブにします。

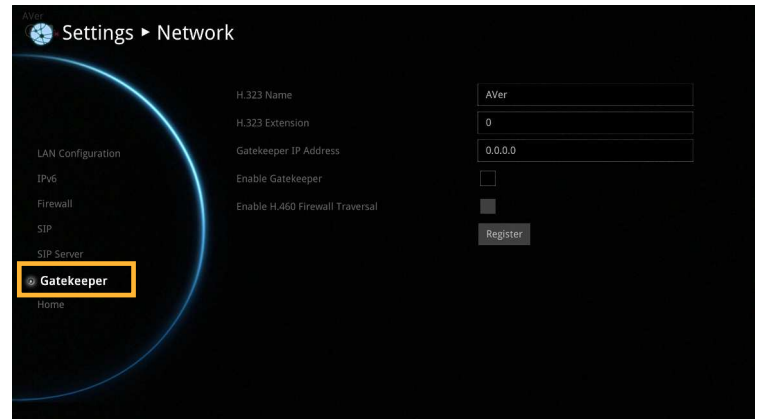


ゲートキーパー

AVer EVC のゲートキーパーは、H. 323 ネットワークで E. 164ID から IP アドレスへの変換を行う役割を果たします。

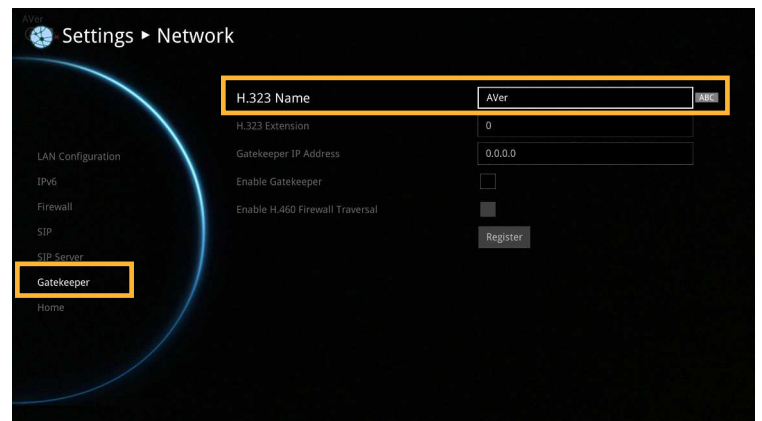
[ネットワーク] の [ゲートキーパー] を選択して  を押します。

以下の関連項目を設定して、ゲートキーパーをセットアップします。



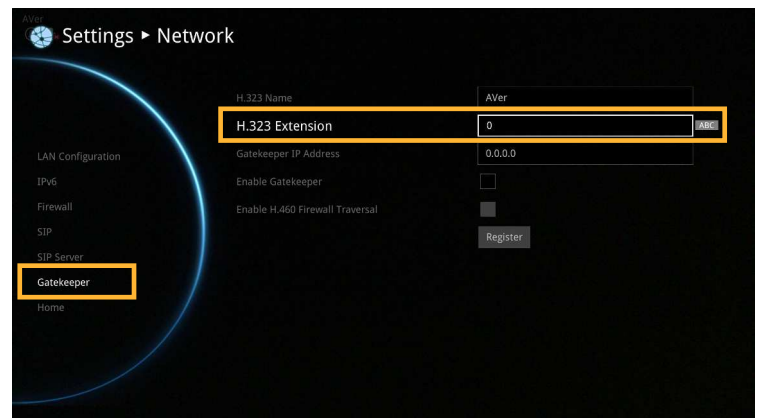
H. 323 名

ゲートキーパーとゲートウェイがこのシステムを識別するために使用できる名前を指定します。名前を入力すると、ゲートキーパーが識別にこの名前を使用します。



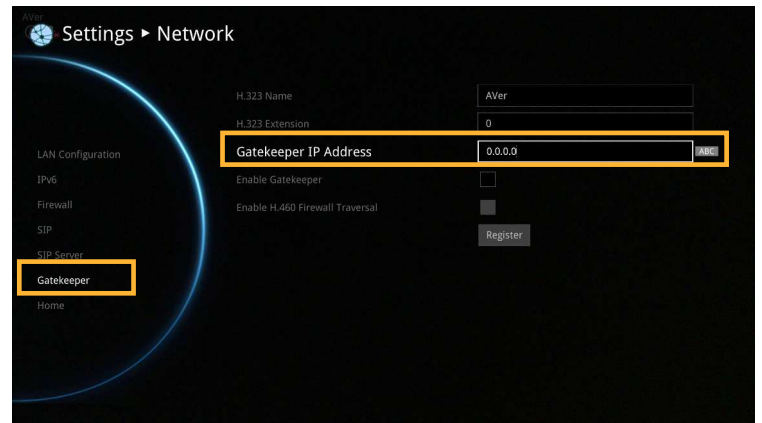
H. 323 拡張子

ゲートキーパーがシステムをさらに詳細に識別できる数値を入力します。



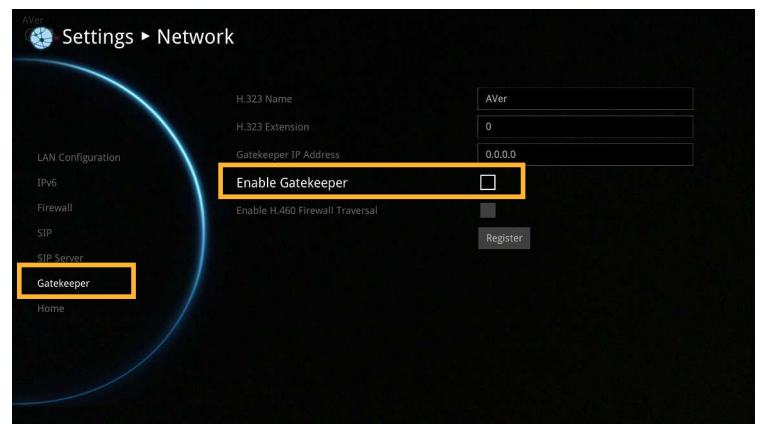
ゲートキーパーの IP アドレス

ゲートキーパーサーバーの IP アドレスを入力します。



ゲートキーパーを使用

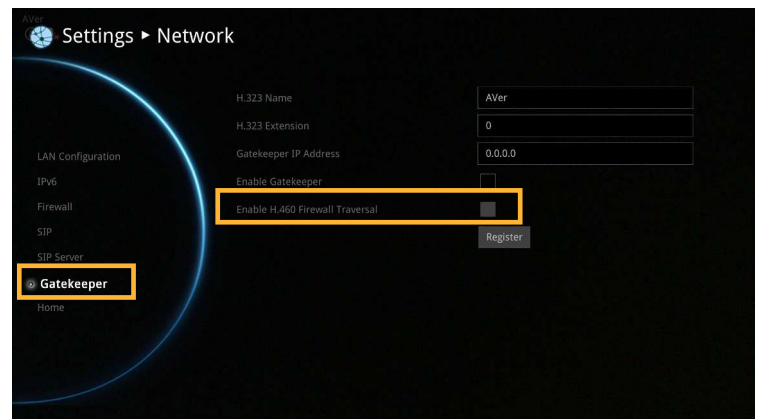
このチェックボックスをオンにして、ゲートキーパーをアクティブ/非アクティブにします。



☞ ファイアウォールをセットアップする前に、必ずゲートキーパーを設定するようにしてください。

H. 460 (ファイアウォール) トラバーサルを有効にする

H. 460 (ファイアウォール) トラバーサルを有効にする場合は、EVC の設置を開始する前に、ファイアウォール内のポート転送のポートを設定してください。



☞ これを有効にする前に、ゲートキーパーが H. 460 ファイアウォールトラバーサルをサポートすることを確認してください。

Web 設定

インターネットブラウザを使用して LAN RJ-45 ケーブルで AVer EVC システムにアクセスし、リモートで AVer EVC システムをセットアップできます。また、電話帳にアクセスして、エントリの追加、編集、削除、通話履歴の表示とダウンロード、システムのアップデート、以前の設定の復元を行うことができます。Web 設定では、AVer EVC システムのデフォルト IP アドレスは 192.168.0.1 です。

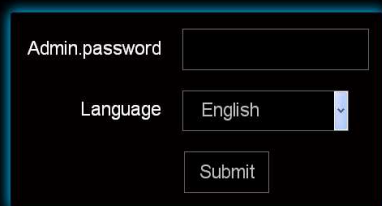
☞ 開始時に EVC の IP アドレスを変更してください。

WebTool の使用

URL フィールドに EVC の IP アドレスを入力します。[Web 管理者を有効にする] 設定をアクティブにし、ログインするための管理者パスワードを入力する必要があります。

Web Tool ログイン画面では、ユーザーは Web Tool の言語を選択し、パスワードを入力し、[Submit (送信)] をクリックしてログインできます。

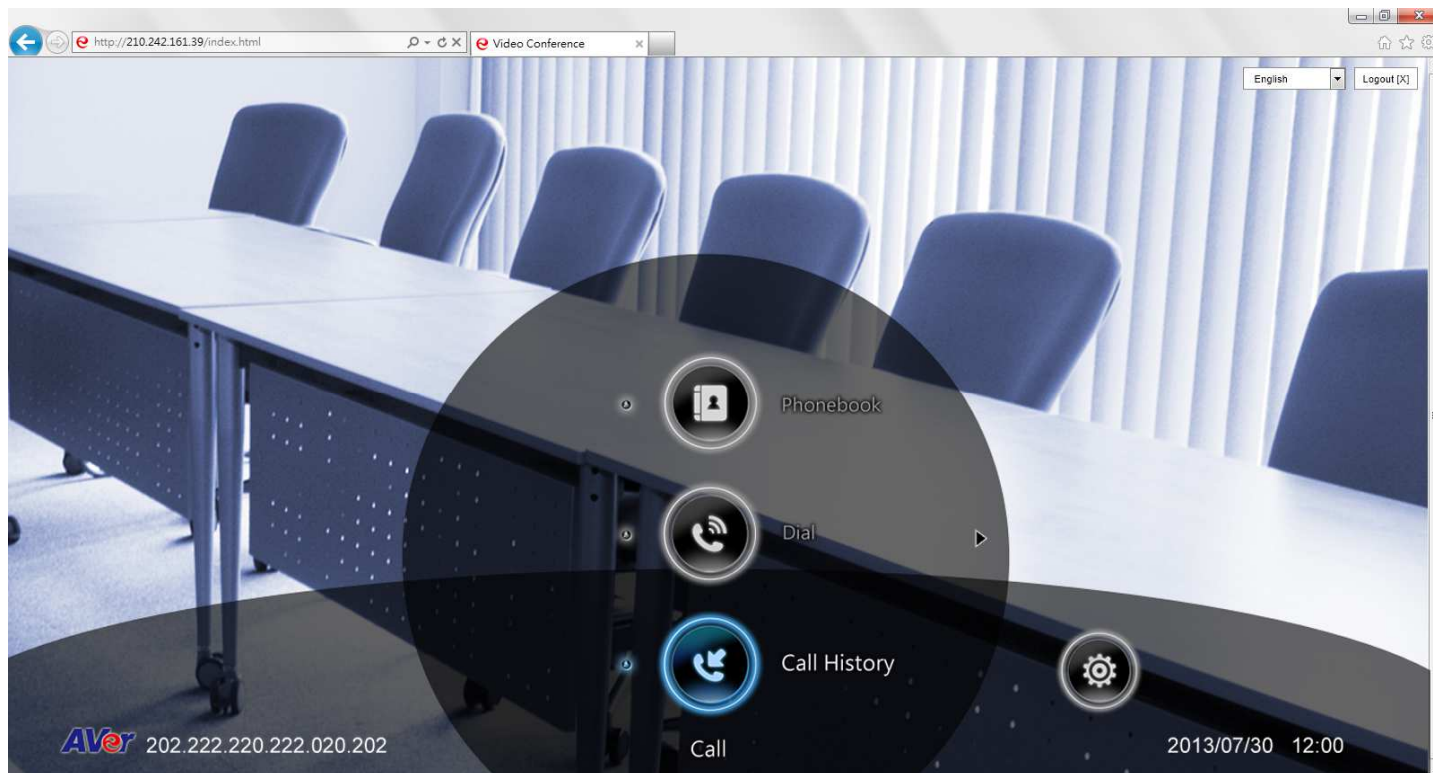
☞ デフォルトのパスワードは 1234 です。



The image shows a login form with the following elements:

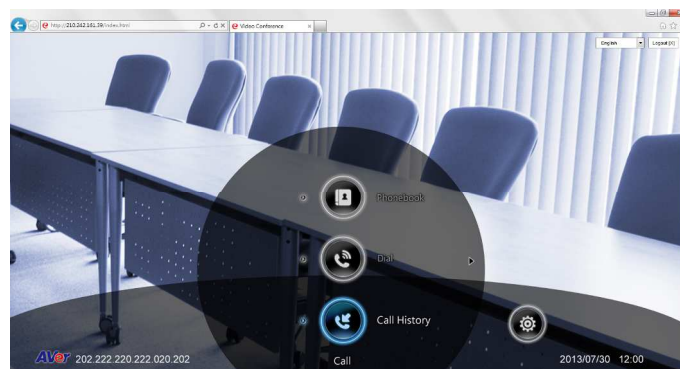
- A text input field labeled "Admin.password".
- A dropdown menu labeled "Language" with "English" selected.
- A "Submit" button.

ログイン後、ローカルサイトのビデオ画面が表示されます。



WebTool ページでは以下にアクセスできます。

1. 電話帳
2. ダイヤル
3. 通話履歴
4. ビデオ/オーディオ
5. 一般設定
6. ネットワーク



☞ 示されたアイコンをマウスでクリックして選択できます。

電話帳の管理

WebTool の電話帳ページでは、すべての機能が AVer EVC の操作画面と同じです。異なるのは、[アップロード/ダウンロード] のみです。

編集と保存

1. MS Excel を使用してファイルを開き、Office XML Handler を選択して、XML ソース データに基づいてスキーマを作成します。

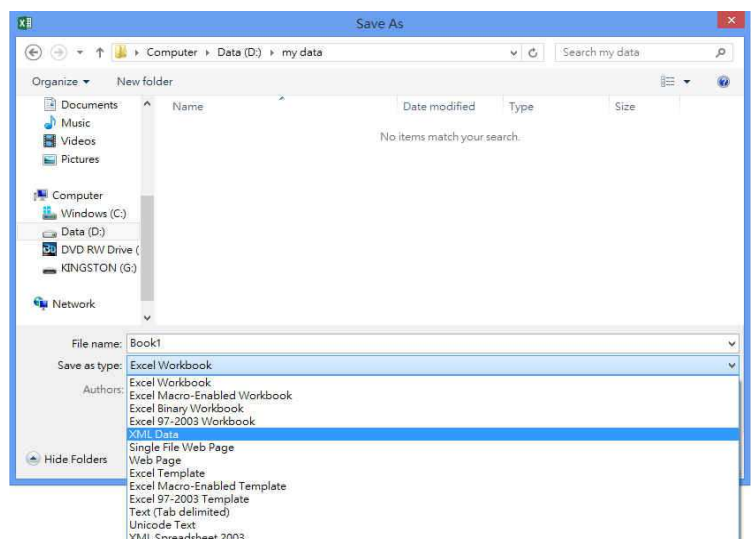


2. ファイルを編集します。

A screenshot of the MS Excel interface showing a table with the following data:

	A	B	C	D
1	site	ip_address	call_quality	group
2	USA	10.1.2.13	AUTO	AVER
3	CHINA	10.1.25.3	AUTO	AVER
4	POLYMAX	192.168.1.135	AUTO	[Not Grouped]
5	LINCHUN	101.133.2.3	AUTO	VENDOR
6	TAIWAN	10.41.36.25	AUTO	AVER
7	GERMANY	10.1.4.26	AUTO	AVER
8				
9				
10				

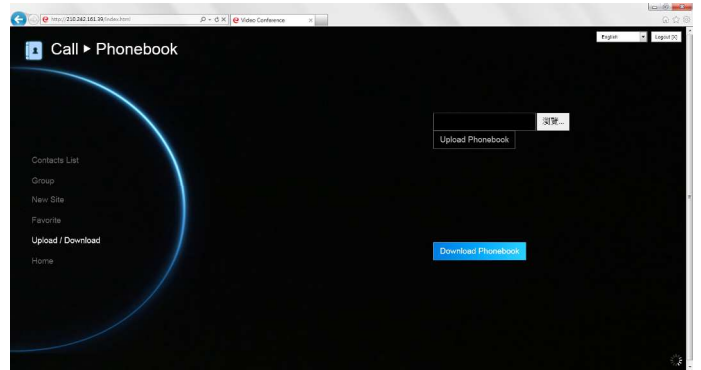
3. システムにアップロードし直せるように、必ずファイルを XML データとして保存してください。



電話帳エントリのダウンロード

ダウンロード機能により、AVer EVC システムから連絡先データをダウンロードできます。

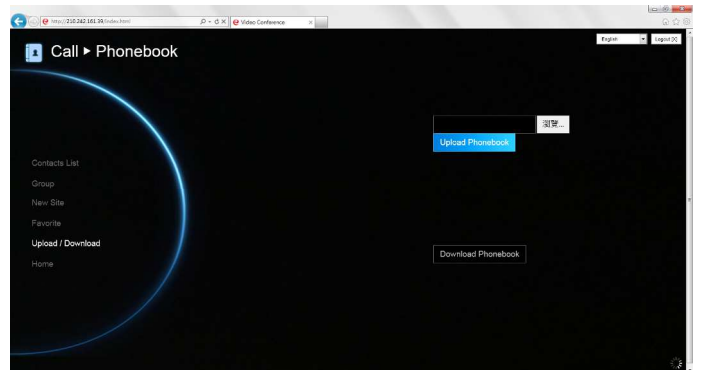
1. [電話帳] の [アップロード/ダウンロード] をクリックします。
2. [Aver EVC システムの電話帳データを保存] ダイアログボックスが表示されます。
3. [保存] をクリックしてファイルを保存します。
4. 保存したら、ブラウザを再配置して WebTool 電話帳を更新し、EVC システムと同じになりますようにします。



電話帳エントリのアップロード

アップロード機能により、編集したデータまたは WebTool から追加したデータを AVer EVC システムにアップロードできます。

1. [電話帳] の [Upload Download(アップロード/ダウンロード)] をクリックします。
2. [連絡先リストをアップロードする] をクリックして、編集または追加された連絡先を AVer EVC システムに直接アップロードします。
3. また、[参照] をクリックして、PC に保存された電話帳ファイル.xml を開き、それを AVer EVC システムにアップロードできます。
4. アップロードが完了すると、Aver EVC システムの電話帳の内容がしばらくすると変更されます。

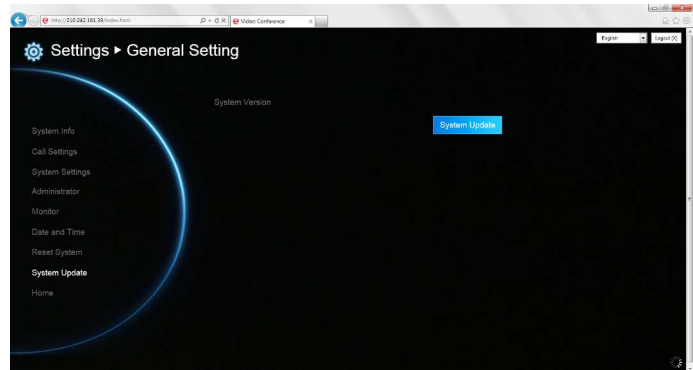


☞ また、電話帳エントリをダウンロードして、別の AVer EVC デバイスにアップロードすることもできます。

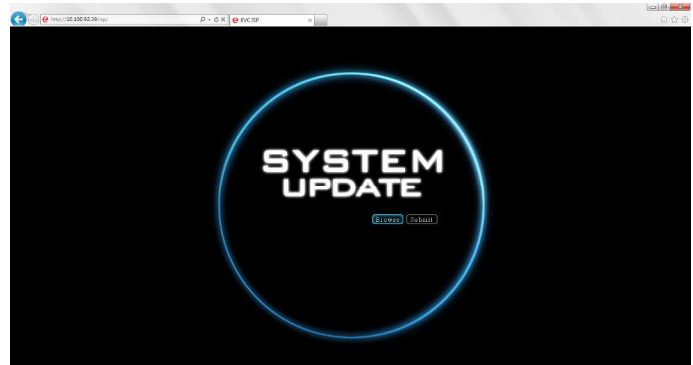
システムのアップデート

AVer EVC WebTool から最新の EVC ファームウェアを AVer EVC システムにアップデートできます。

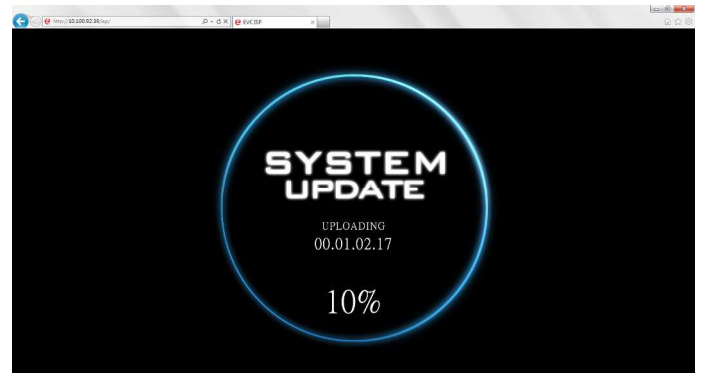
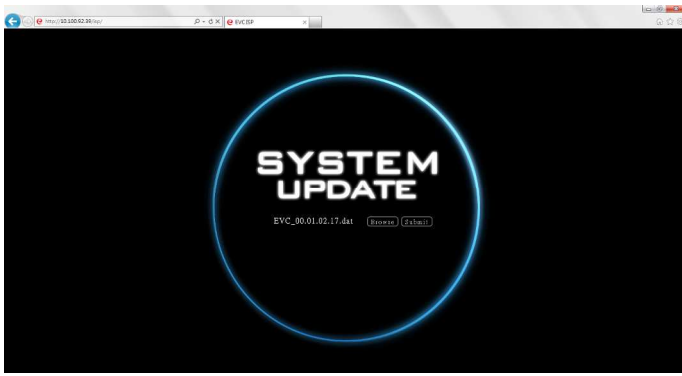
1. [一般設定] の [システムの更新] をクリックします。
2. [システムの更新] をクリックします。



3. [Browse (選択)] をクリックして、ダウンロードされたファームウェア ファイル .dat を指定します。



4. [Submit (送信)] をクリックしてシステムアップデートを開始するか、[キャンセル] をクリックしてこの操作を停止します。



警告!アップデートプロセス中は、何も操作しないでください。

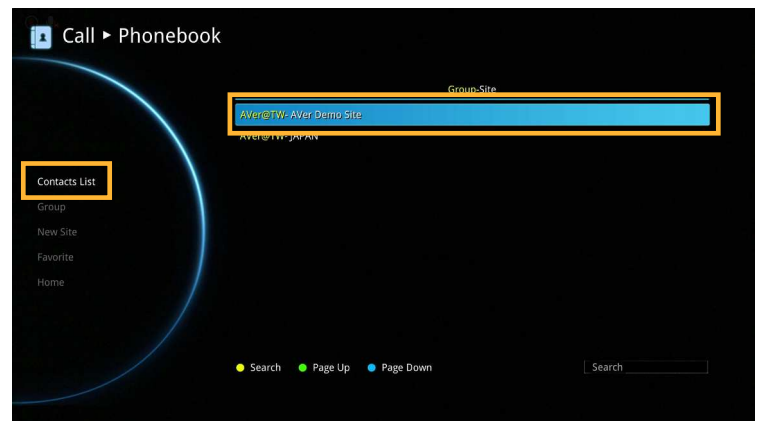
電話をかける

ビデオ電話をかける方法は3つあります。電話帳リストからサイト連絡先を選択して IP アドレスをダイヤルするか、通話履歴リストから前回の通話を選択します。

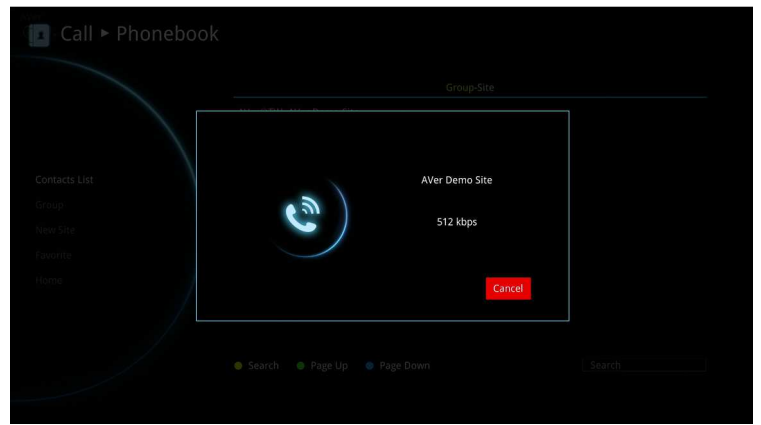
電話帳の使用

[電話帳] の [連絡先リスト] を選択して
⬅ を押します。


グループサイトリストでサイト連絡先を選択
して、⬅ を押して電話をかけます。



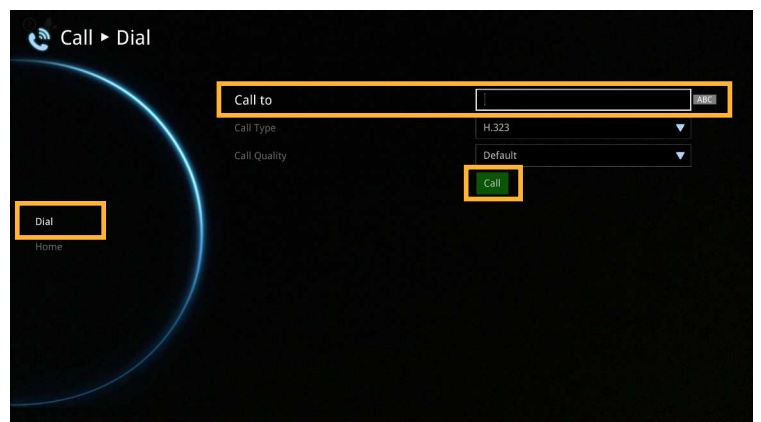
通話が接続されます。



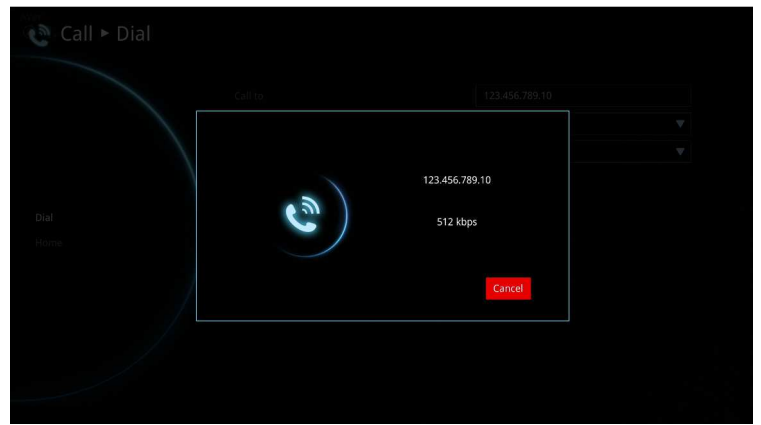
ダイヤルの使用

[ダイヤル] の [ダイヤル] を選択して  を押します。

リモコンを使用して IP アドレスを入力し、[通話] を選択して電話をかけます。



通話が接続されます。



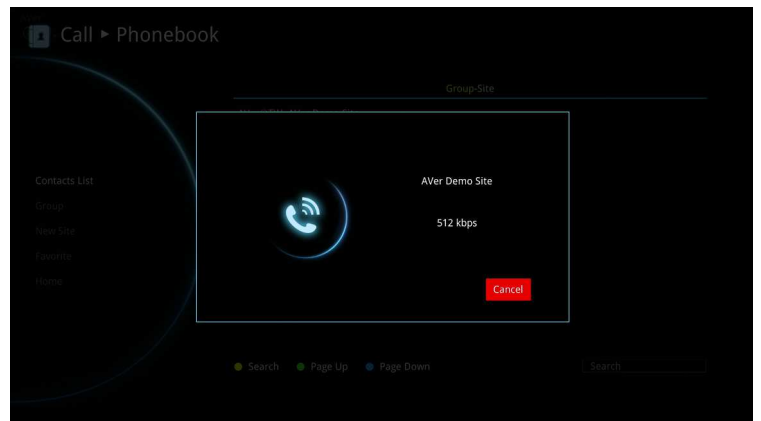
通話履歴の使用

[通話履歴] の [通話履歴] を選択して
を押します。

通話履歴で通話先のサイトを選択して、
を押します。

発信を開始します。

発信が失敗する場合は、IP アドレスが正しく
入力されていないか、相手サイトが [取り込
み中] モードに設定されているか、相手サイ
トが電話を切った可能性があります。



LAN 接続のシナリオ

パブリック IP 設定（ファイアウォール外部）



お使いの EVC システムはインターネットに直接接続されています。





EVC900/EVC300





Internet

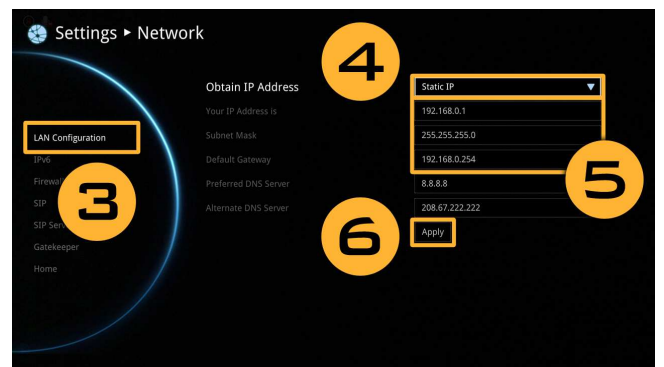
1. リモコンで、[ホーム] ->  ->  [設定] を選択します。



2.  ->  [ネットワーク] を押します。



3. [LAN 構成] を押します。
4. [IP アドレスを取得する] ドロップダウンで [固定 IP] を選択します。
5. [あなたの IP アドレス]、[サブネットマスク]、および [デフォルトのゲートウェイ] を手動で入力します。
6. [適用] を選択して  (確定) を押します。
7. リモコンで [ホーム] を押して、ホームメニューに戻ります。
8. リモコンの  (Call/発信) ボタンを押します。これで最初の電話をかける準備ができました。

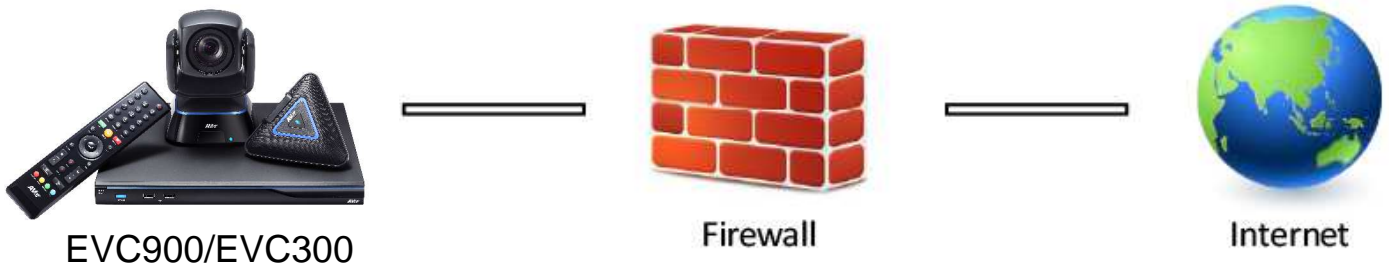




プライベート IP 設定 (ファイアウォール外部とポート転送)

ファイアウォールでのポート転送で以下のポートが設定されていることを確認してください。



ポート	機能	タイプ
1719	ゲートキーパー	UDP
1720	H. 323 通話セットアップ	TCP
30000~30299	オーディオ、通話、ビデオ、データ/FECC 用の信号発信とコントロール	TCP と UDP
80	HTTP インターフェイス (WebTool)	TCP
23	Telnet	TCP
5060	SIP	TCP と UDP

お使いの EVC システムはファイアウォール経由でインターネットに接続されています。







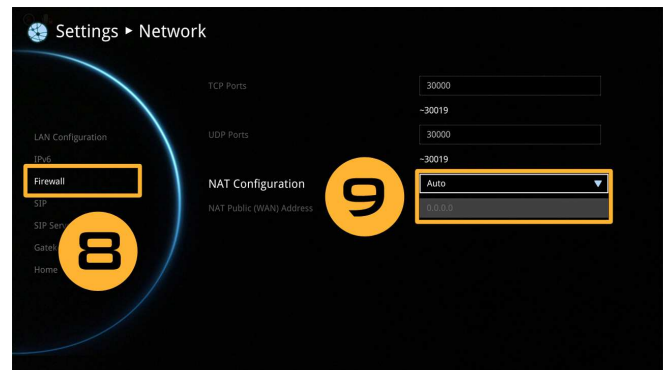
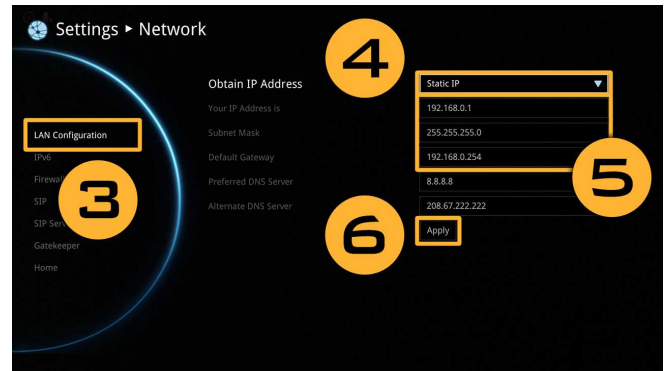
1. リモコンで、[ホーム] →  →  [設定] を選択します。



2.  →  [ネットワーク] を押します。





3. [LAN 構成] を押します。
 4. [IP アドレスを取得する] ドロップダウンで [固定 IP] を選択します。
 5. [あなたの IP アドレス]、[サブネットマスク]、および [デフォルトのゲートウェイ] を手動で入力します。
 6. [適用] を選択して  (確定) を押します。
 7. リモコンで  (戻る) を押して前のメニューに戻ります (H. 323 ALG が有効になっている場合は、手順 10 に進んでください)。
-
8. 同じページで、[ファイアウォール] に移動し、 (確定) を押します。
 9. NAT 構成をオンにして、[NAT Public (WAN) アドレス] フィールドに IP アドレスを入力します。
 10. リモコンで [Home (ホーム)] ボタンを押して、ホームメニューに戻ります。
 11. リモコンの  Call/発信ボタンを押します。これで最初の電話をかける準備ができました。





H. 460 ゲートキーパーとファイアウォールトラバース

EVCシステムはファイアウォール経由でインターネットに接続されていて、ゲートキーパーがファイアウォールの外側にあります。





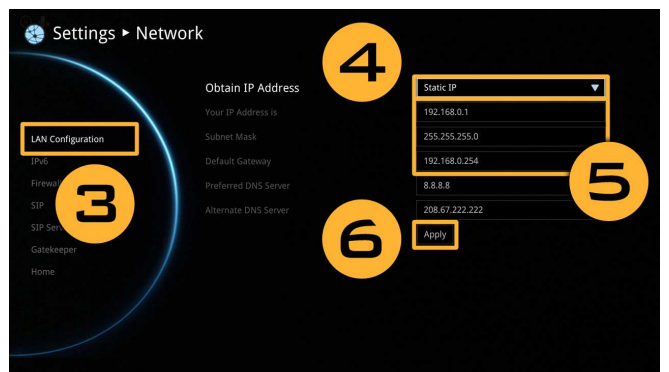
1. リモコンで、[Home (ホーム)] ->  ->  [設定] を選択します。




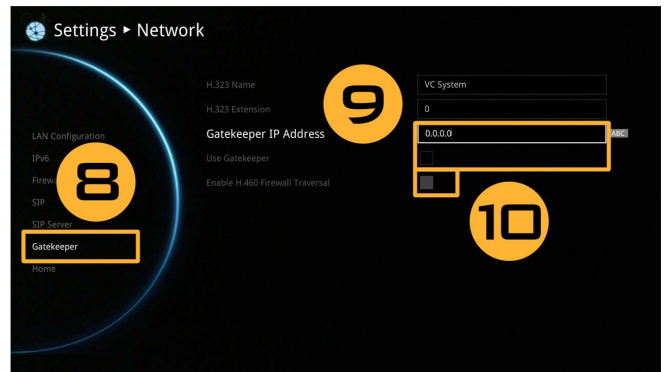
2.  ->  [ネットワーク] を押します。



3. [LAN 構成] を押します。
4. [IP アドレスを取得する] ドロップダウンで [固定 IP] を選択します。
5. [あなたの IP アドレス]、[サブネットマスク]、および [デフォルトのゲートウェイ] を手動で入力します。
6. [適用] を選択して  (確定) を押します。
7. 同じページで、[ゲートキーパー] に移動し、 (確定) を押します。



8. [ゲートキーパーの IP アドレス] フィールドにゲートキーパーの IP アドレスを入力して、[ゲートキーパーを使用] チェック ボックスをオンにします。
9. [H. 460 (ファイアウォール) トラバーサルを有効にする] オプションを有効にします。
10. リモコンで [Home (ホーム)] ボタンを押して、ホームメニューに戻ります。
11. リモコンの  (Call/発信) ボタンを押します。これで最初の電話をかける準備ができました。



仕様

ハードウェア	
入出力ポート	カメラ入力ポート *1
	VGA 出力ポート *1
	VGA 入力ポート *1
	DVI 入力ポート (HDMI 変換アダプター付属) *1
	オーディオ出力ポート *1
	オーディオ入力ポート *1
	マイク入力ポート *1
	HDMI 出力ポート×2 *1
	USB 2.0 ポート *2 (前面パネル)
LAN コネクタ	RJ-45
カメラ (HD 光学ズーム カメラ)	2 メガピクセル CMOS カメラ
	16x 光学 ズーム付きのパン/チルト
	67° FOV (水平視野角 61°)
リモコン	赤外線 (IR)
電源	AC100V ~ 240V、50/60Hz
	消費:EIAJ 12V、4A
筐体	黒のアルミニウム
寸法 (長さ x 幅 x 高さ)	メインシステム (コーデック):320 x 262.7 x 37.2 mm
	カメラ:122.3 x 122.3 x 159.5 mm
	EVC マイクアレイ:131.9 x 118.6 x 25.5 mm
	パッケージ:378 x 297 x224 mm
パッケージ重量	5.98Kg
ビデオ	
ビデオ入力	HD カメラ / DVI (HDMI 変換コネクタ付属) /VGA
ビデオ出力	HDMI×2 / VGA
解像度 (メイン)	HD1080p (1920 x 1080)
	HD720p (1280 x 720)
	480p (848 x 480)
	4SIF (704) x 480)、4CIF (704 x576)
	WCIF (512 x 288)
	SIF (352 x 240)、CIF (352 x 288)
	30fps で全解像度

ビデオ	
解像度 (コンテンツ)	サポート:
	WSXGA (1440 x 900)
	HD1080p (1920 x 1080)
	HD (1360 x 768)
	SXGA (1280 x 800)
	WXGA (1280 x 800)
	HD720p (1280 x 720)
	XGA (1024 x 768)
	SVGA (800 x 600)
	VGA (640 x 480)
	出力:
	30fps まで HD1080p (1920 x 1080)
オーディオ	
オーディオ入力	EVC マイクアレイ
	ラインイン (3.5mm)
オーディオ出力	HDMI ケーブルでのデジタルオーディオ
	ラインアウト (3.5mm)
サポートコーデック	
ビデオ	H. 264、H. 263、H. 263+、H. 261
	H. 239 デュアル ビデオ ストリーム
オーディオ	G. 711、G. 722、G. 722. 1、G. 728、G. 722. 1C
その他	H. 224 / H. 281 / H. 225 / H. 245 / H. 323 Annex Q
コントロール情報	
プログラムコントロール	Web サーバー / ユーザー インターフェイス
リモートコントロール	リモコン
イーサネットプロトコル	HTTP、DHCP、TCP/IP、ICMP (ping)
Web サーバー	LAN、RJ-45 (10/100/1000)
環境	
動作	温度:0 ~ 40°C
	湿度:20% ~ 80%
ストレージ	温度:-20 ~ 60°C
	湿度:20% ~ 80%
保証	
3年間製品保証 (付属品 1年間)	

トラブルシューティング

オーディオ


1. 通話中に音声がかえらない
 - マイクがミュートになっていないか確認してください。
 - マニュアルで説明されているようにマイクが正しく接続されているかを確認してください。
 - システムが適切な音量になっているか確認してください。
2. 音声の質が悪い
 - マイクが壊れていないか確認してください。
 - [マイクゲインレベル] を調節してみてください。
 - エコーを避けるためにマイクが出力スピーカーの方向を向いていないことを確認してください。

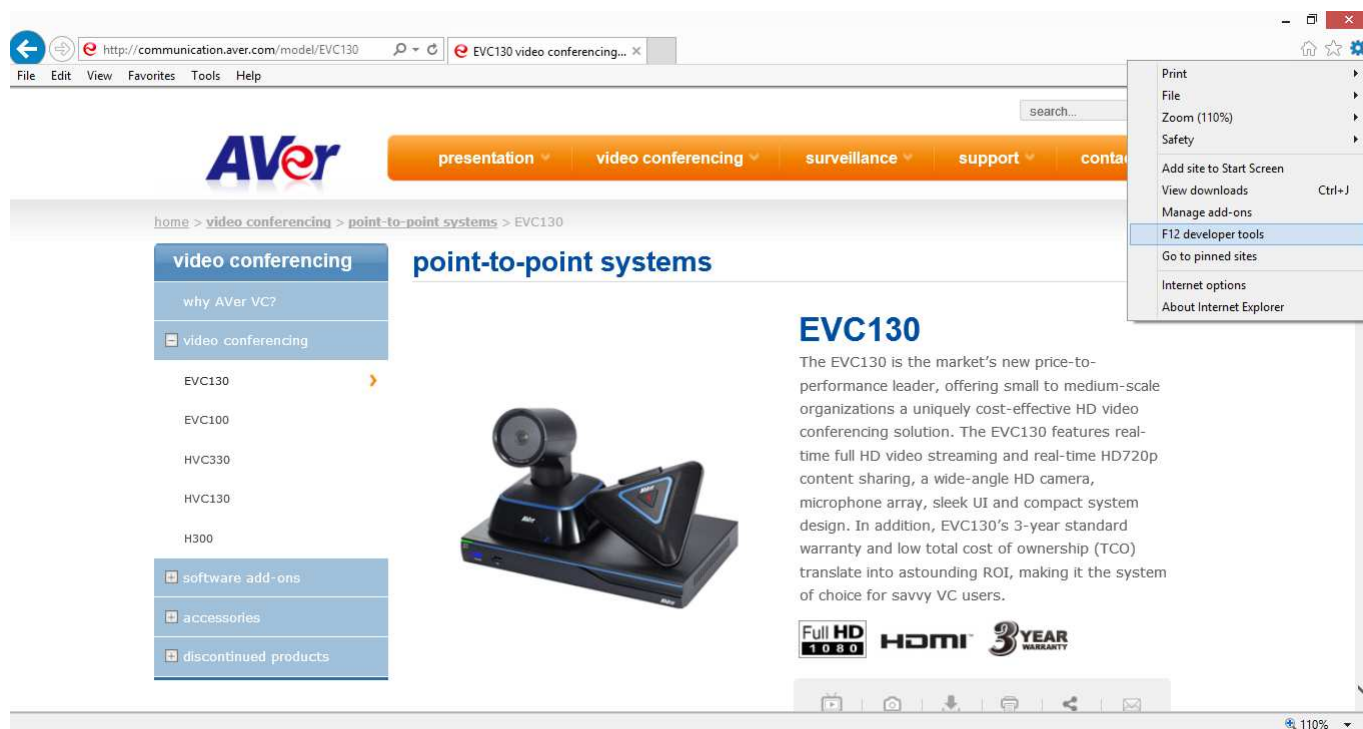
ビデオ/表示

1. ビデオ会議通話が確立されていますが、ビデオも音声もありません。
 - ファイアウォールで AVer EVC に接続している場合は、ポート転送が正しく行われていることを確認してください。H.323 ALG 以外のファイアウォールの場合は、NAT 設定を行って、AVer EVC システム上の WAN IP アドレスを入力します。
 - AVer EVC システムには固定パブリック IP アドレスを使用することをお勧めします。ダイナミックパブリック IP アドレスは、ローカル ISP によっては一定期間が経過すると変更されます。
 - 1 つのパブリック IP アドレスを共有する 2 つの AVer EVC システムをインストールしている場合は、ルーティングに問題が発生します。
2. 他のビデオ会議システムに接続できない
 - 正しい IP アドレスをダイヤルしたか確認してください。
 - 相手サイトのデバイスの電源ステータスがオンになっていることを確認してください。
 - 相手サイトからの着信トラフィックをファイアウォールがブロックしていないか確認してください。
 - 相手サイトがこちらのビデオ会議通話を拒否していないか確認してください。
3. OSD が見えない
 - ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
 - システムとディスプレイが正しく接続されているかどうかを確認して、システムをリブートしてください。(システムをリブートする前にディスプレイの電源を入れる必要があります。)
4. ソースが 720p なのにコンテンツ共有が 720p ではないのはなぜですか？
 - AVer EVC システムは最大 10800p のコンテンツ共有をサポートし、デフォルト値は XGA です。16:9(1080P) ビデオディスプレイの場合、手動で設定する必要があります。

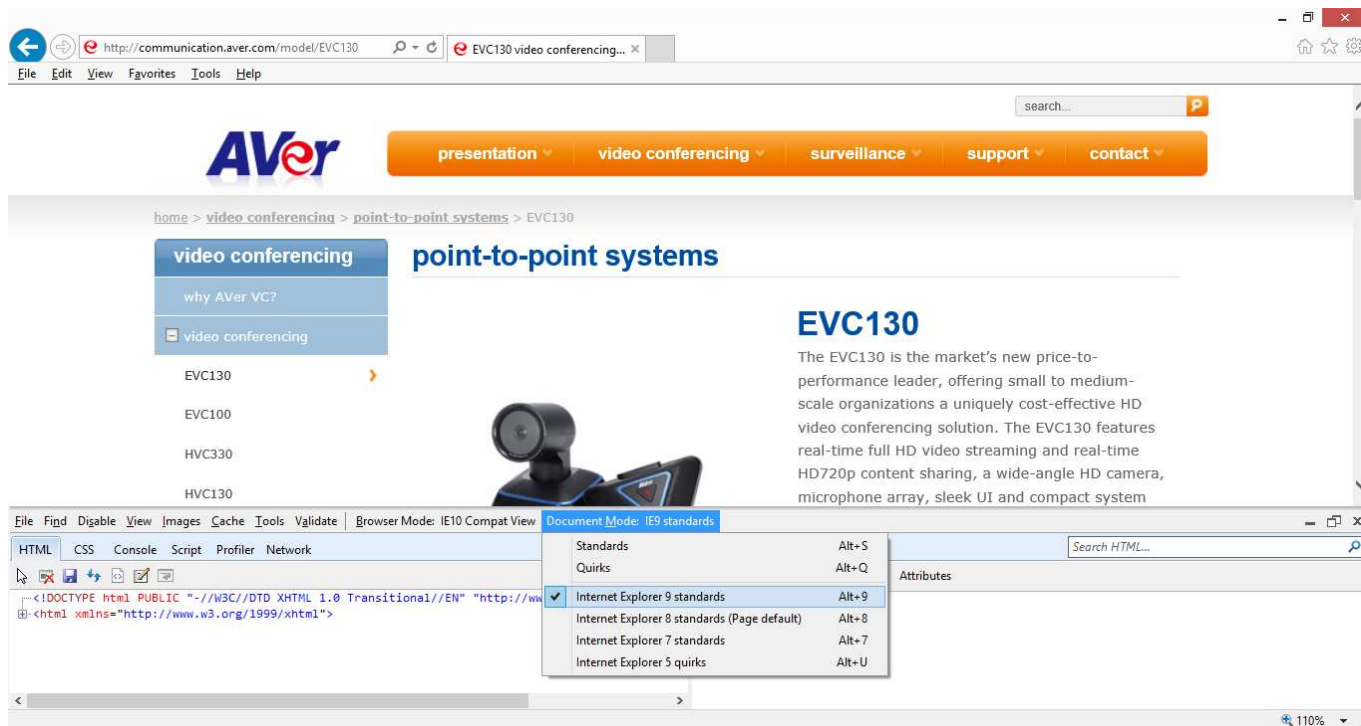
5. VGA ケーブルを接続して AVer EVC システムの電源を入れた後、スクリーンセーバーモードではなぜ UI 設定画面が表示されないのですか?
 - VGA コネクタを接続してもう一度取り外し、VGA ケーブルを再接続してください。

ネットワーク

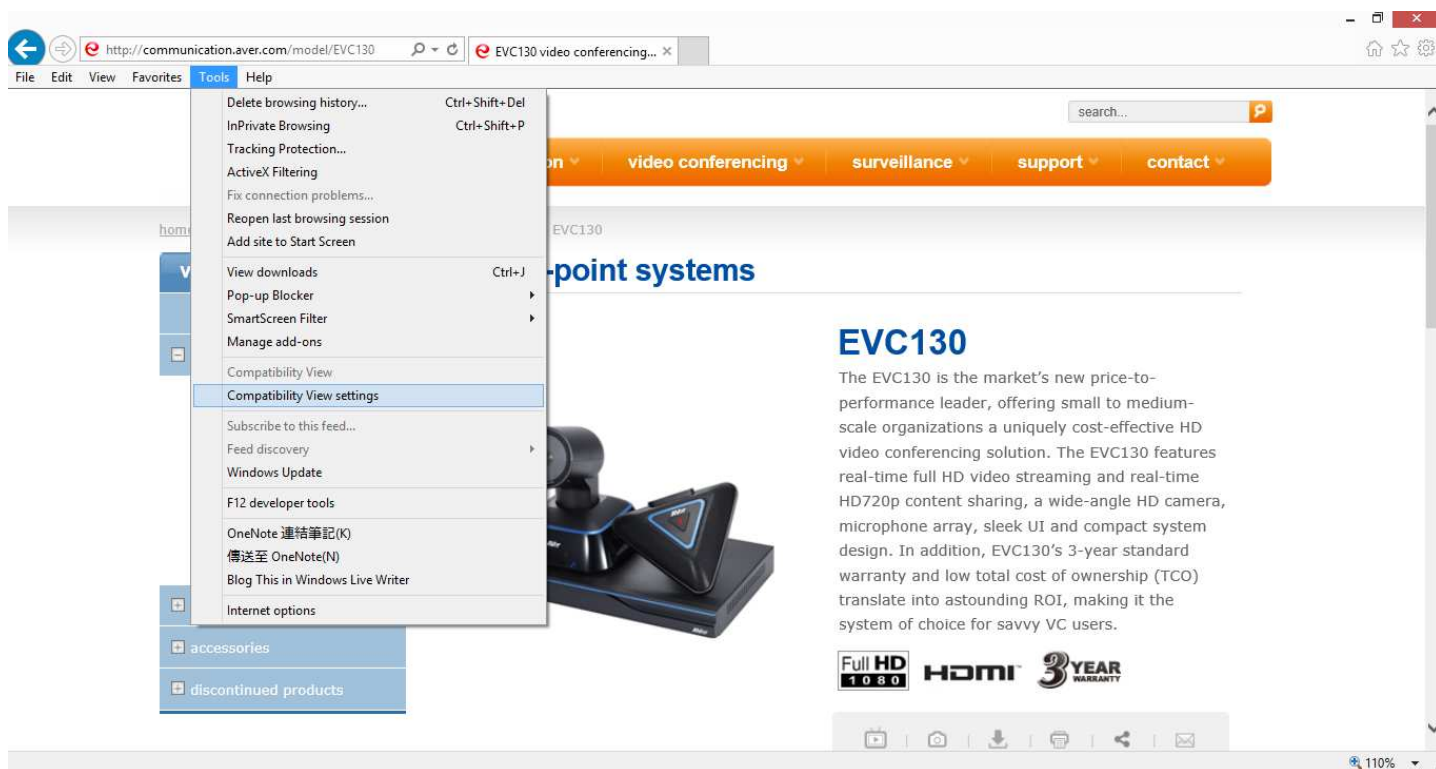
1. LAN 接続が失敗する
 - デフォルトの IP アドレスを変更したことを確認してください。デフォルト IP アドレスは 192.168.0.1 です。同じ LAN で他のデバイスと競合しないようにするために、開始時に IP アドレスを変更してください。
2. IE9 と IE10 で WebTool を開けない
3. IE で  (一般設定アイコン) をクリックします。
4. [F12 開発者ツール] を選択します。



5. [ドキュメントモード] を [Internet Explorer9 標準] に変更します。



6. 互換表示でイントラネットサイトを無効にします。[ツール] の [互換表示設定] を選択します。



7. [イントラネットサイトを互換表示で表示する] チェックボックスをオフにして、[閉じる] をクリックします。

Compatibility View Settings



You can add and remove websites to be displayed in Compatibility View.

Add this website:

Add

Websites you've added to Compatibility View:

aver.com




Remove

- Display all websites in Compatibility View
- Display intranet sites in Compatibility View
- Download updated compatibility lists from Microsoft

Learn more by reading the [Internet Explorer privacy statement](#)

Close

その他

1. 発信を開始できず、「通話が失敗しました」というメッセージが画面に表示される
 - 通話用の IP アドレスが正しいことを確認してください。
 - 通話相手がシステムを [取り込み中] モードに設定していないかどうか、通話を切っていないかどうか確認してください。
 - 最大通話制限にすでに達しているシステムに発信していないことを確認してください。
2. 管理者パスワードを忘れた
 - AVer 担当窓口にご連絡してください。
3. 遠距離カメラをコントロールできない
 - カメラコントロール  アイコンが、コントロール対象の画面上にあることを確認してください。リモコンの [遠距離/近距離]  ボタンを押して、目的の画面に切り替えてください。
 - 相手サイトが [近距離カメラの遠方コントロール] 設定を有効にしていることを確認してください。この設定を有効にするには、[ホーム]  ボタンを押して [設定] の [システム] 設定に移動し、[近距離カメラの遠方コントロール] を選択します。
4. AVer EVC が USB デバイスを検出しない
 - USB メモリーを取り外してもう一度挿入し、システムが新しい USB デバイスをもう一度検出するまで 10 ~ 15 秒間待ってください。
 - 外部 HDD の使用はお勧めしません。システムエラーが発生するか、録画が失敗することがあります。